

令和 6 年度実施

**西条市の教育に関するアンケート調査
報告書（中学校教職員向け調査）**

令和 6 年 8 月

西条市経営戦略部政策企画課

目 次

1 本調査の概要	1
2 基本情報	2
(1) 男女別	2
(2) 年齢	2
(3) 所属する中学校の地区別	3
3 学校現場について	4
(1) 学校施設や設備に対する満足度	4
(2) 学校施設や設備のどのようなところに満足しているか（3つまで選択可）	5
(3) 学校施設や設備のどのようなところに不満を感じているか（3つまで選択可）	5
(4) 個々の学習指導や学校の取組に対する満足度	6
(5) 個々の学習指導や学校の取組のどのようなところに満足しているか（3つまで選択可） ...	6
(6) 個々の学習指導や学校の取組のどのようなところに不満を感じているか（3つまで選択可）	7
4 学校教育について	8
(1) 中学校がどのようなところであるべきか	8
(2) 中学校で身に付けることが大切だと思う能力や態度	10
(3) (2) で選択した能力や態度を育むため、今後期待する施策	13
(4) 中学校での学習環境を考える上で重視する点	15
5 図書館について	18
(1) 中学校教職員における図書館の利用状況	18
(2) 中学校教職員における図書館の利用環境に対する満足度	20
(3) 中学校教職員が主に利用している図書館	22
(4) 中学校教職員が図書館を利用した主な目的	24
(5) 図書館の利用が役立っていると感じる点	26
(6) 図書館に関連して今後期待する点	29
6 公民館について	32
(1) 中学校教職員における公民館の利用状況	32
(2) 中学校教職員における公民館の利用環境に対する満足度	34
(3) 中学校教職員が公民館活動を通じて身に付けた知識・技術	36
(4) 中学校教職員が公民館に期待する事業	39
7 生涯学習・文化芸術・歴史文化について	42
(1) 中学校教職員が取り組んでいる生涯学習の内容（3つまで選択可）	42
(2) 中学校教職員が今後取り組みたい生涯学習の内容（3つまで選択可）	42
(3) 中学校教職員が生涯学習を盛んにするために力を入れたらいいと思うこと（3つまで選択可）	43
(4) 中学校教職員の文化芸術に触れる機会の充実度	44

（５）中学校教職員におけるふるさとの歴史文化に対する誇りや愛着度	46
（６）中学校教職員におけるふるさとの先人の教えに学ぶ機会の充実度	48
８ 参考資料（アンケート用紙）	50

1 本調査の概要

（１）調査の目的

本調査は、令和６年度が本市の教育行政における根本的な方針となる「西条市教育大綱」を改訂する年度にあたるため、中学校教職員の方々のご意見を将来の西条市の教育行政の方向性に反映させることを目的として実施しました。

（２）調査対象者

市内 10 の市立中学校に勤務されている教職員 260 人（令和 6 年 4 月 1 日現在）を対象に実施しました。

（３）調査期間

令和 6 年 6 月 19 日（水）から令和 6 年 7 月 5 日（金）まで

（４）調査方法

インターネットによる調査

（各中学校に勤務されている教職員に回答フォームをメール送信し回答を依頼）

（５）調査票の回収状況

調査票回収数 128 通（回収率 49.2%）

（６）調査票の内容

送付した調査票は文末に掲載しています。

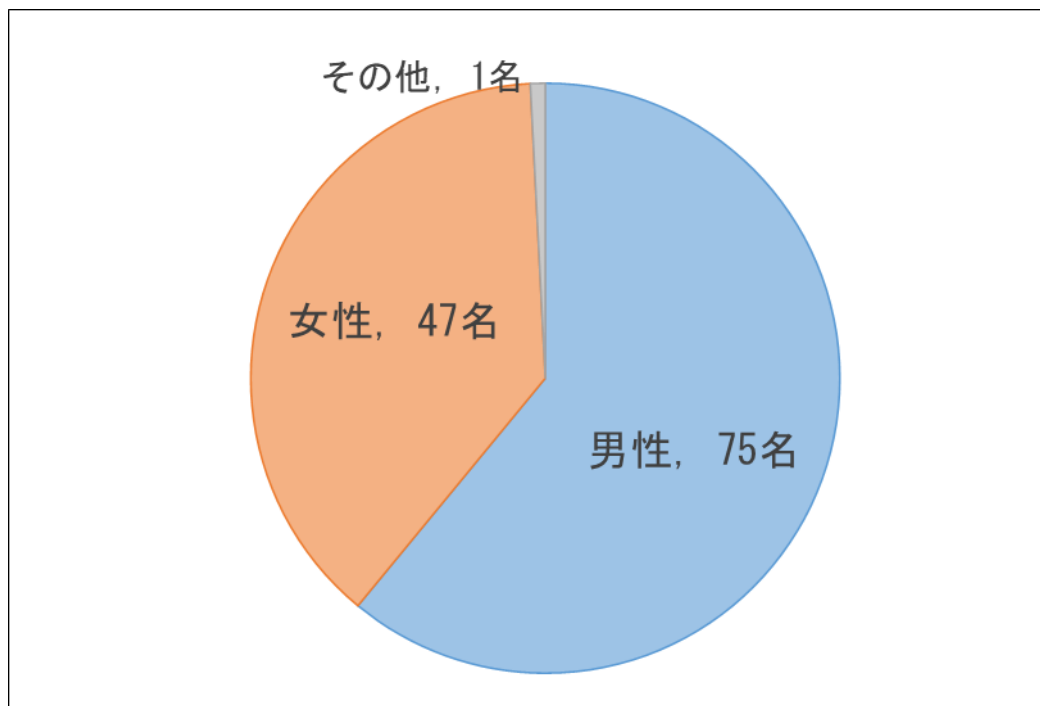
（７）その他

各図表のデータ処理にあたりましては、当該質問項目に対して無回答であった方を除いて処理を行っていますので、必ずしも合計値と回収した調査票数が一致するとは限りません。また、構成比率につきましても、それぞれの項目ごとの構成比を小数点以下第 2 位で四捨五入していますので、必ずしも構成比の合計値が 100%になるとは限りません。

2 基本情報

(1) 男女別

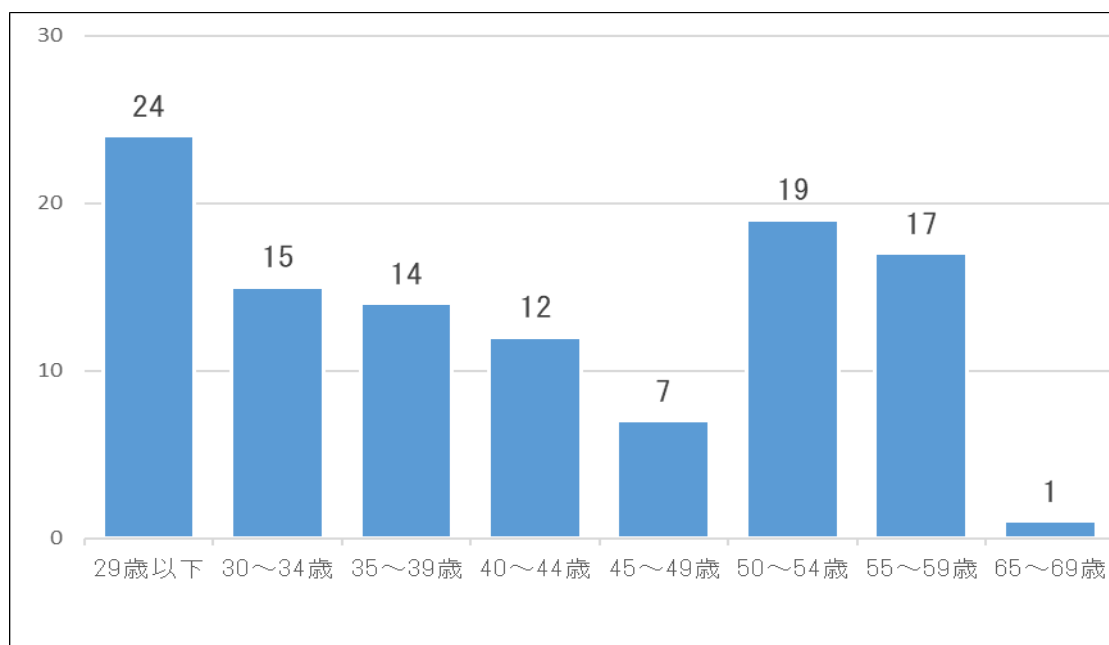
図表 2-1 によると、回答者のうち男性は 75 名、女性は 47 名、その他が 1 名となりました。



図表 2 - 1 回答者の男女別 (N = 1 2 3)

(2) 年齢

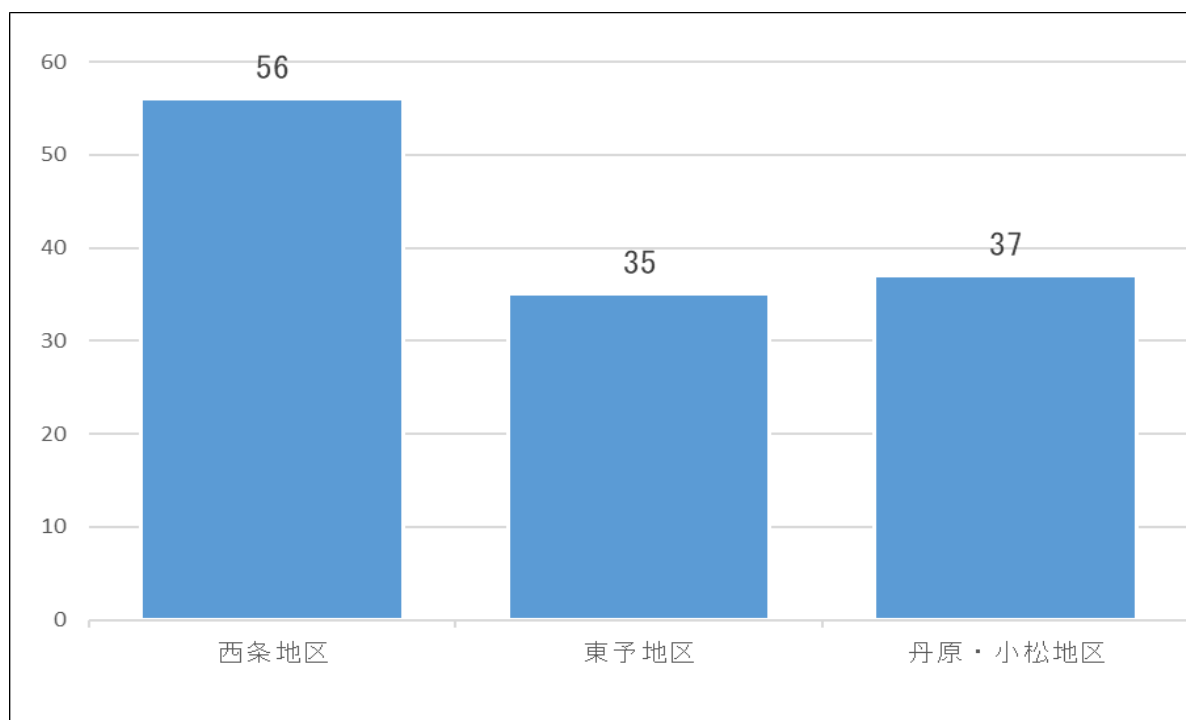
図表 2-2 によると、29 歳以下の教職員からの回答が最も多くなりました。



図表 2 - 2 回答者の年齢 (N = 1 0 9)

(3) 所属する中学校の地区別

図表 2-3 によると、回答者は西条地区の中学校に勤務する教職員が最も多く、次いで丹原・小松地区、東予地区となりました。地区ごとに違いがありますが、本調査は概ね市内 10 の市立中学校に勤務されている教職員の意見がバランスよく反映されています。



図表 2－3 所属する中学校の地区別（N＝128）

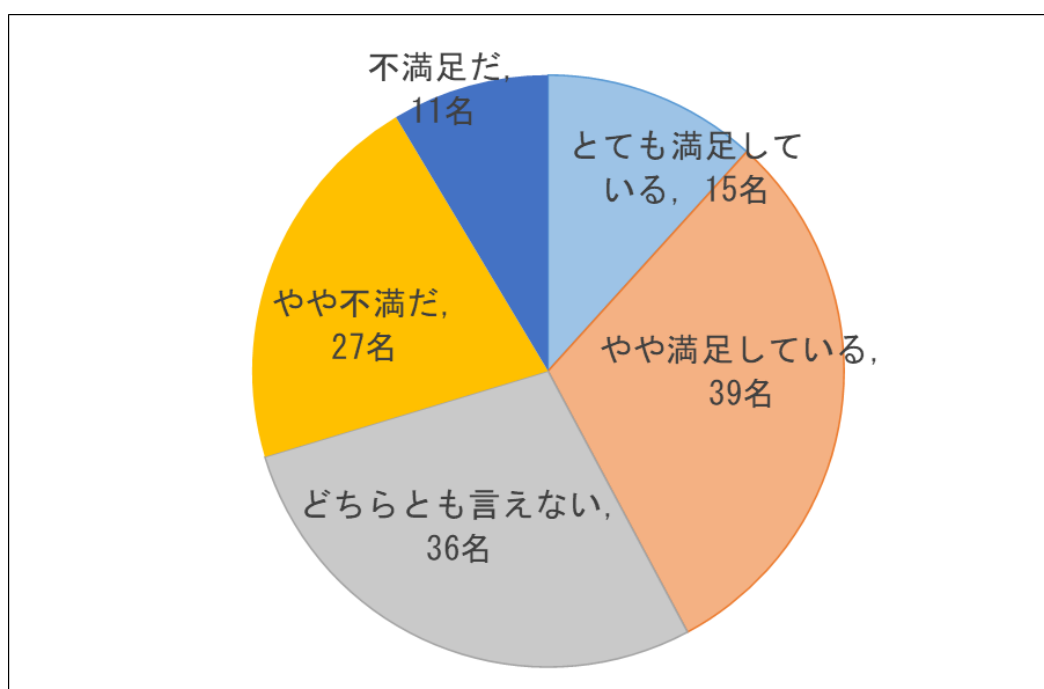
3 学校現場について

【結果概要】

- 学校施設や設備に対して、「とても満足している」「やや満足している」と回答する教職員が多く、「やや不満だ」「不満足だ」の回答を上回る結果となりました。教科の基礎的な指導内容や学校の施設や設備の充実などに満足している方が多い一方で、学校の施設や設備の充実に不満を感じている方も一定数みられました。（図表 3-1、3-2、3-3 参照）
- 個々の学習指導や学校の取組に対して、「とても満足している」「やや満足している」と回答する教職員が 6 割以上を占めました。（図表 3-4 参照）

（1）学校施設や設備に対する満足度

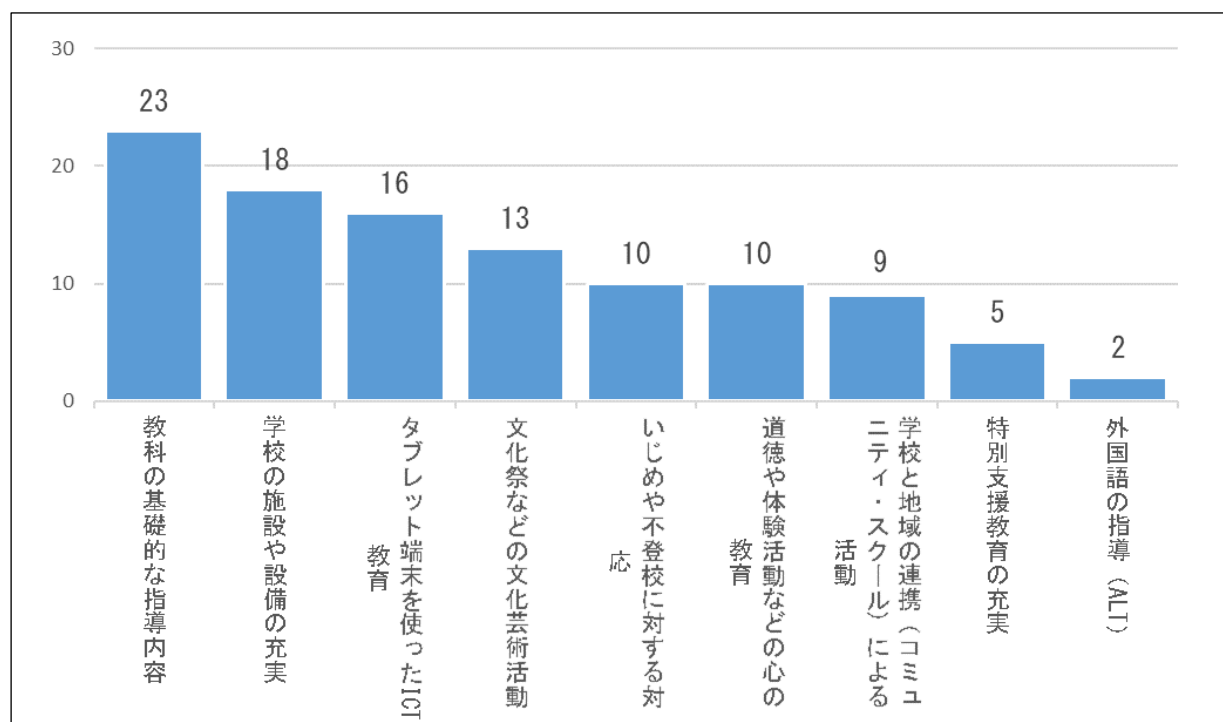
図表 3-1 によると、学校施設や設備に対して、「とても満足している」「やや満足している」と回答した方が多く、「やや不満だ」「不満足だ」の回答を上回りました。



図表 3 - 1 学校施設や設備に対する満足度（単純集計）（N = 128）

(2) 学校施設や設備のどのようなところに満足しているか (3つまで選択可)

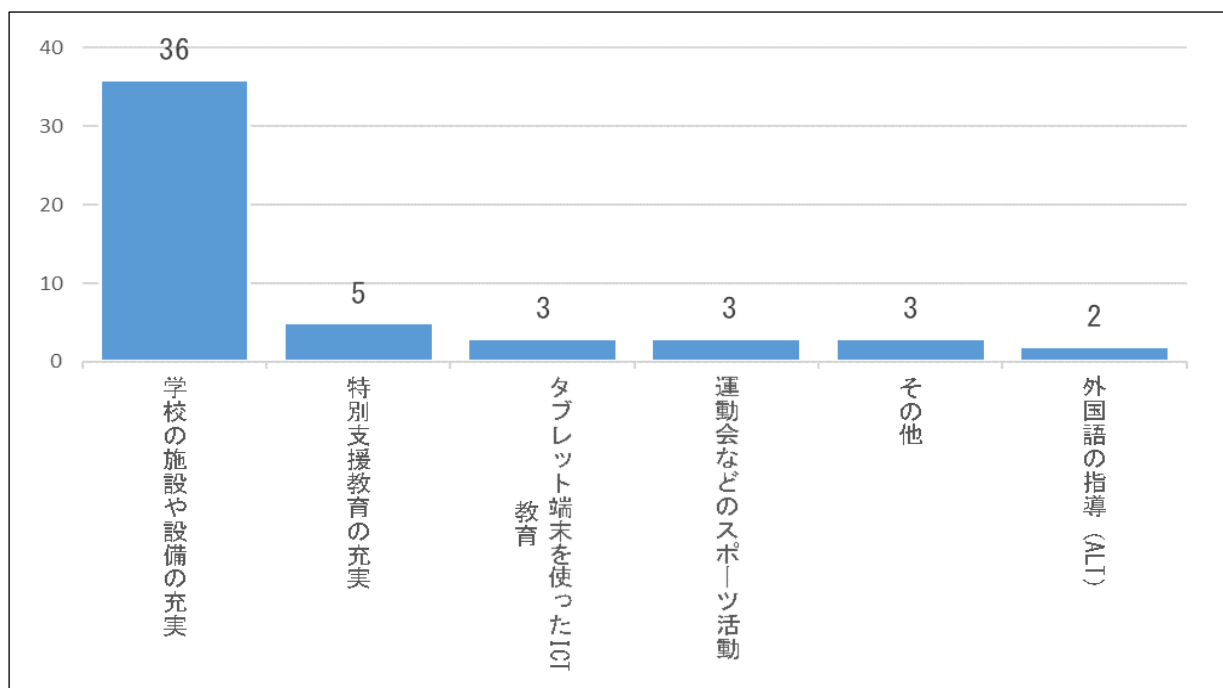
図表 3-2 によると、「教科の基礎的な指導内容」と回答した方が最も多く、次いで「学校の施設や設備の充実」「タブレット端末を使った ICT 教育」の回答が多くなりました。



図表 3-2 学校施設や設備のどのようなところに満足しているか (N = 54)

(3) 学校施設や設備のどのようなところに不満を感じているか (3つまで選択可)

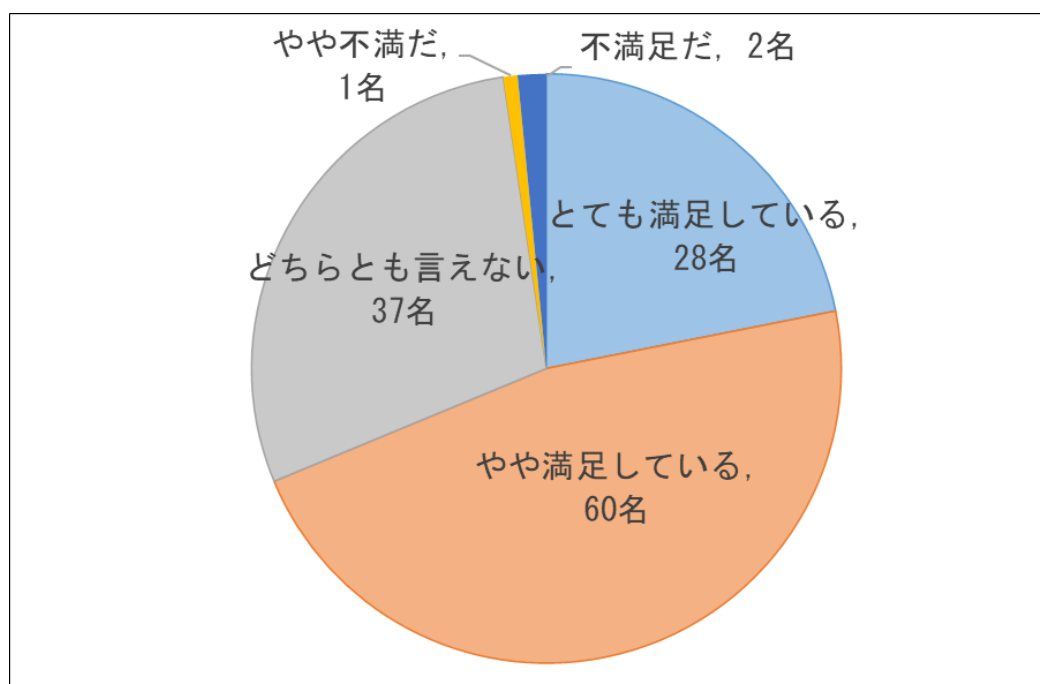
図表 3-3 によると、「学校の施設や設備の充実」と回答した方が全体の大半を占めました。



図表 3-3 学校施設や設備のどのようなところが不満か (N = 38)

（４）個々の学習指導や学校の取組に対する満足度

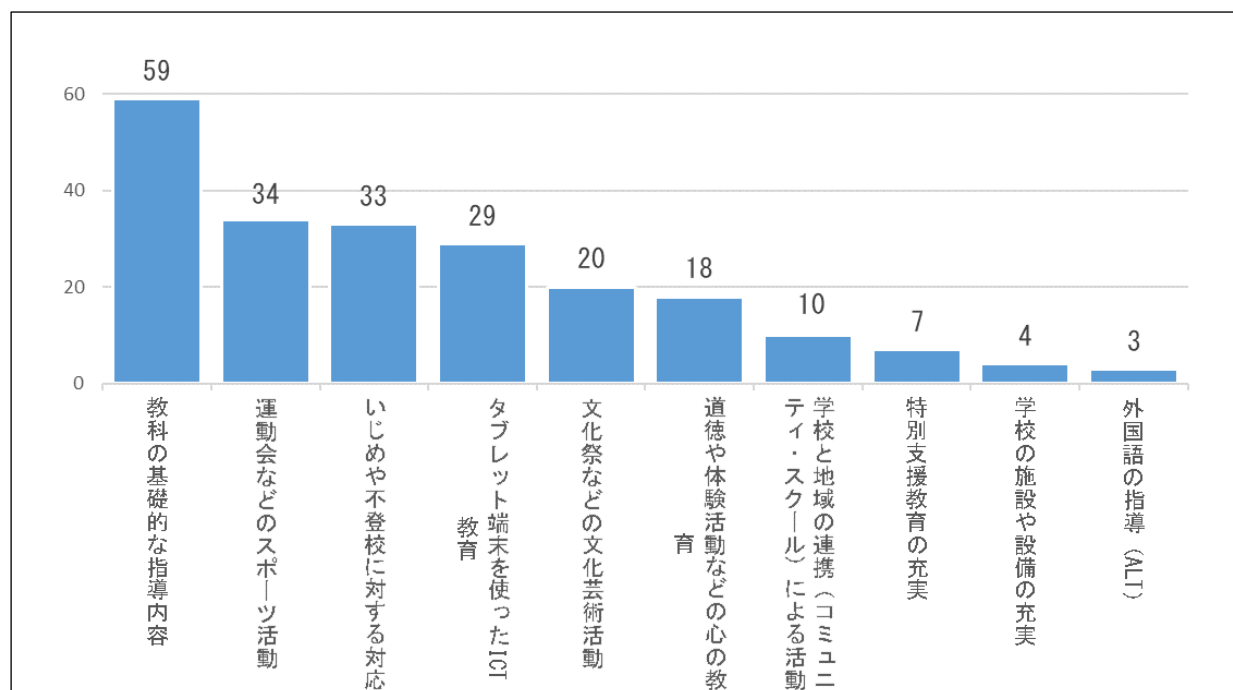
図表 3-4 によると、学校施設や設備に対して、「とても満足している」「やや満足している」と回答した方が 6 割以上を占めました。



図表 3-4 個々の学習指導や学校の取組に対する満足度（単純集計）（N=128）

（５）個々の学習指導や学校の取組のどのようなところに満足しているか（3つまで選択可）

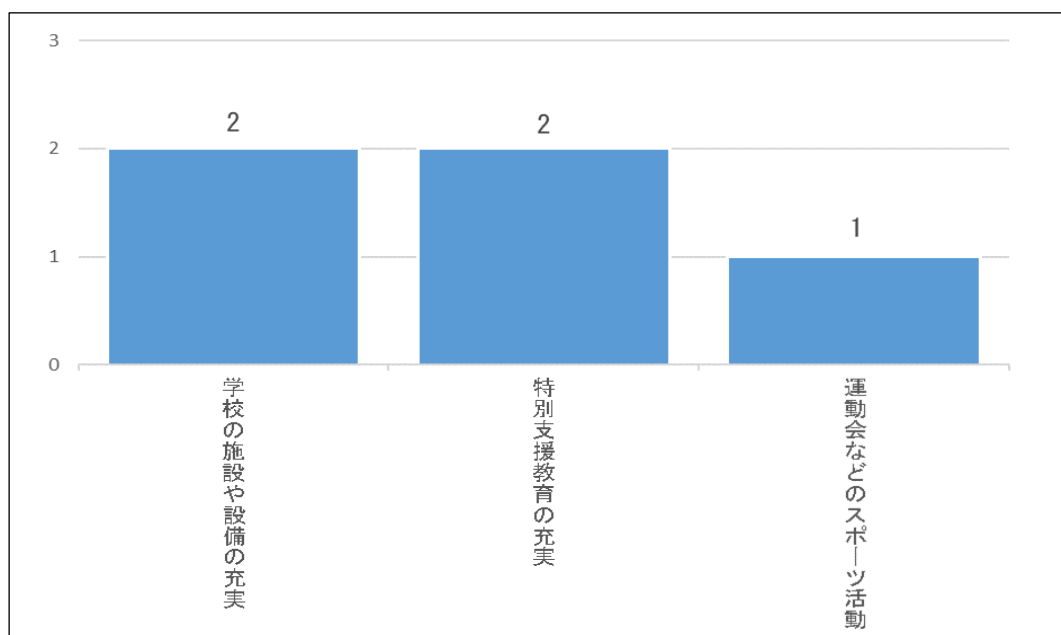
図表 3-5 によると、「教科の基礎的な指導内容」「運動会などのスポーツ活動」と回答した方が多くなりました。



図表 3-5 個々の学習指導や学校の取組のどのようなところに満足しているか（N=86）

(6) 個々の学習指導や学校の取組のどのようなところに不満を感じているか(3つまで選択可)

図表 3-6 によると、「学校の施設や設備の充実」「特別支援教育の充実」「運動会などのスポーツ活動」に不満を感じているとの回答がありました。



図表 3-6 個々の学習指導や学校の取組のどのようなところが不満か (N=3)

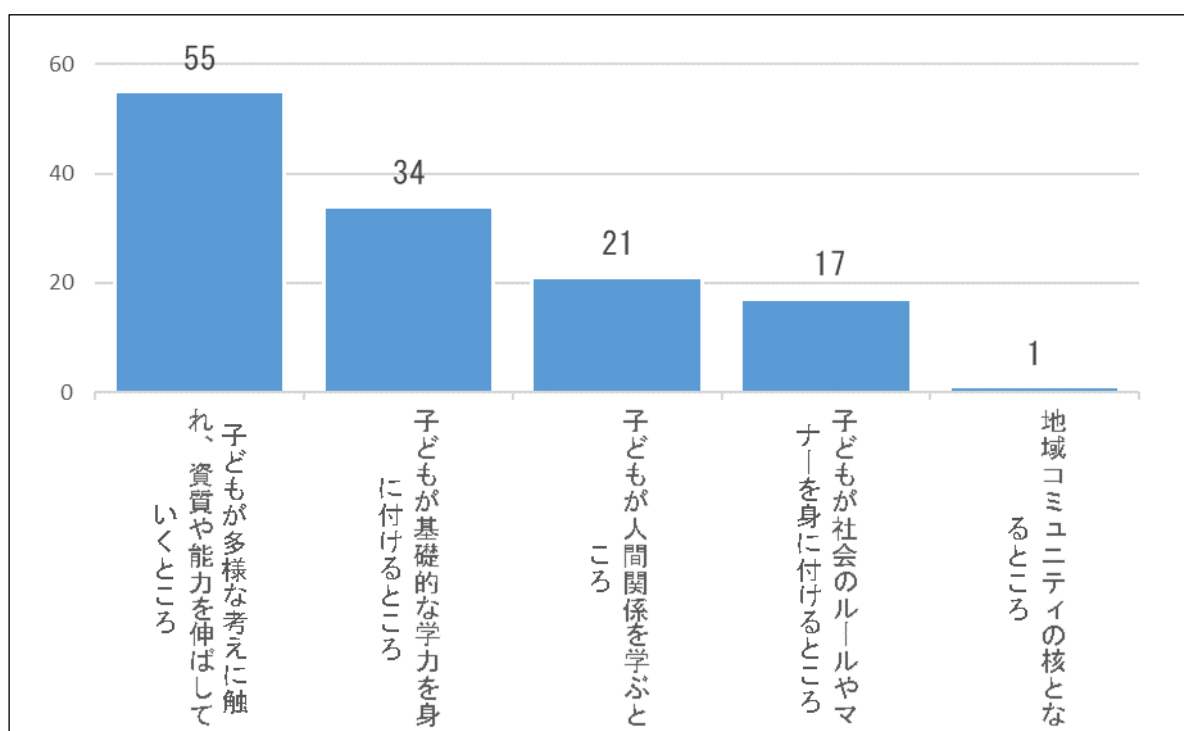
4 学校教育について

(1) 中学校がどのようなところであるべきか

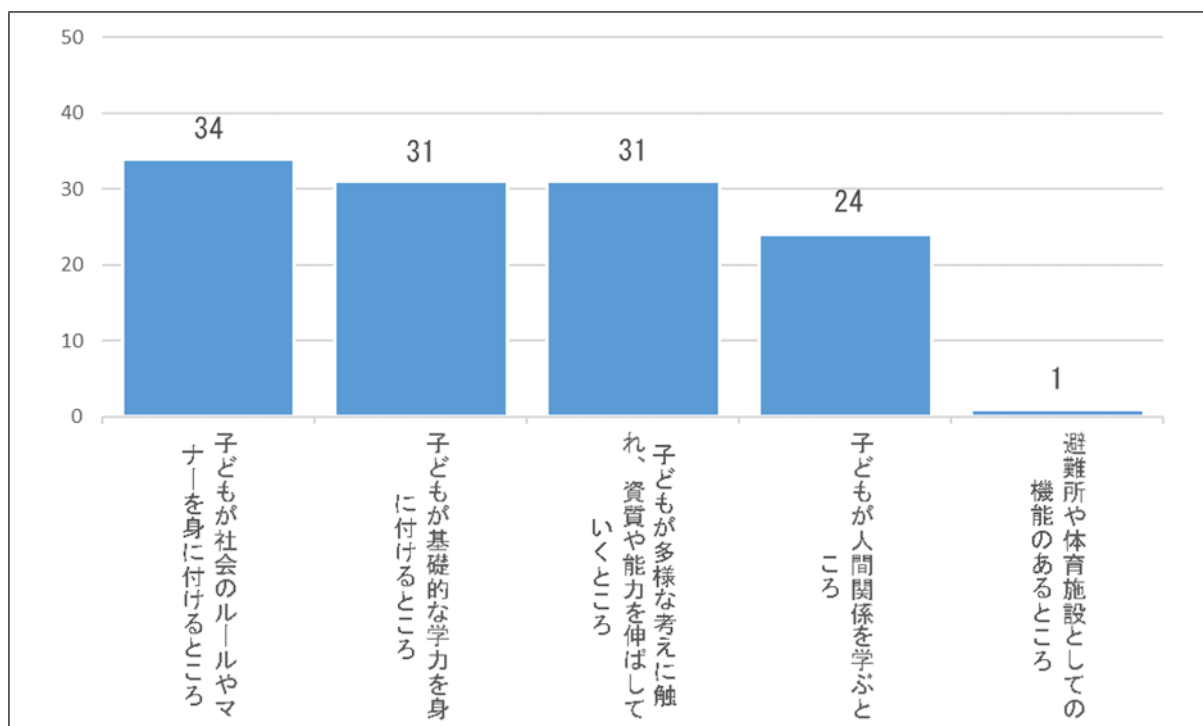
【結果概要】

- 中学校が子どもの人間関係形成能力、基礎学力、社会ルールなどを学ぶ場としてあるべきと感じている方が多い一方で、地域コミュニティや避難所など、中学校としての副次的機能を期待する方が少ない傾向がみられました。(図表 4-1、4-2 参照)
- 所属する中学校の地区別及び規模別で大きな差異はなく、子どもが多様な考えに触れ、資質や能力を伸ばしていくことを重視する傾向がみられました。(図表 4-3、4-4 参照)

図表 4-1 によると、第1選択では「子どもが多様な考えに触れ、資質や能力を伸ばしていくところ」と回答した方が最も多く、次いで「子どもが基礎的な学力を身に付けるところ」と回答した方が多くなりました。また、図表 4-2 によると、第2選択では「子どもが社会のルールやマナーを身に付けるところ」と回答した方が多くなりました。

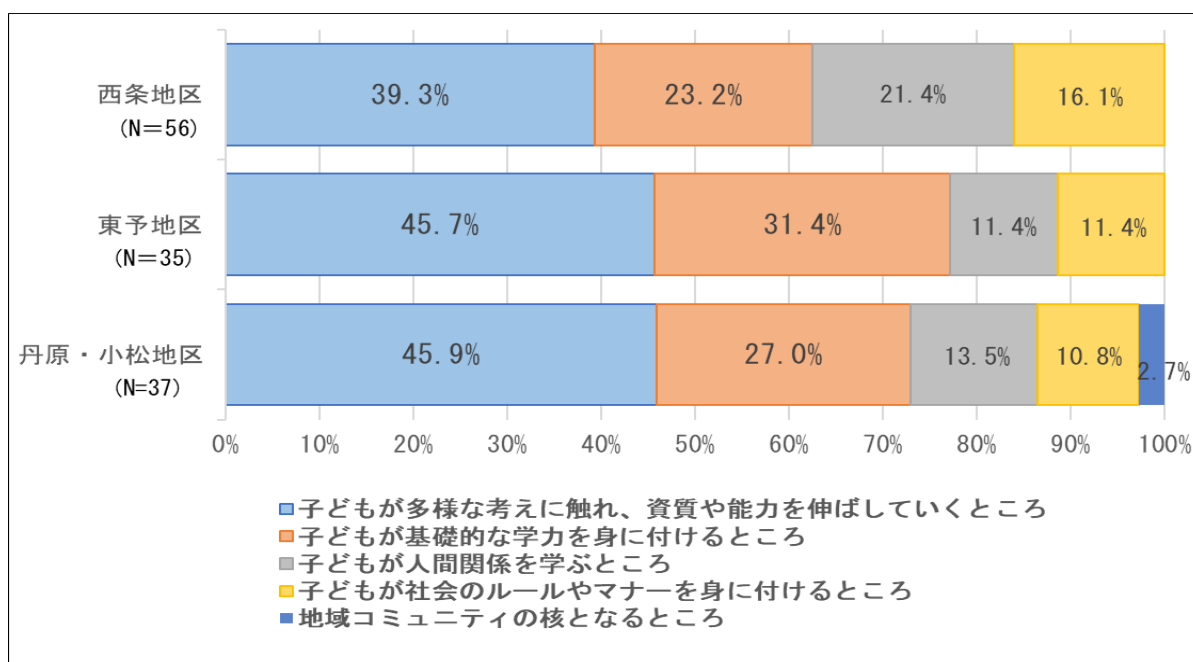


図表 4-1 中学校がどのようなところであるべきか（第1選択・単純集計）（N = 128）



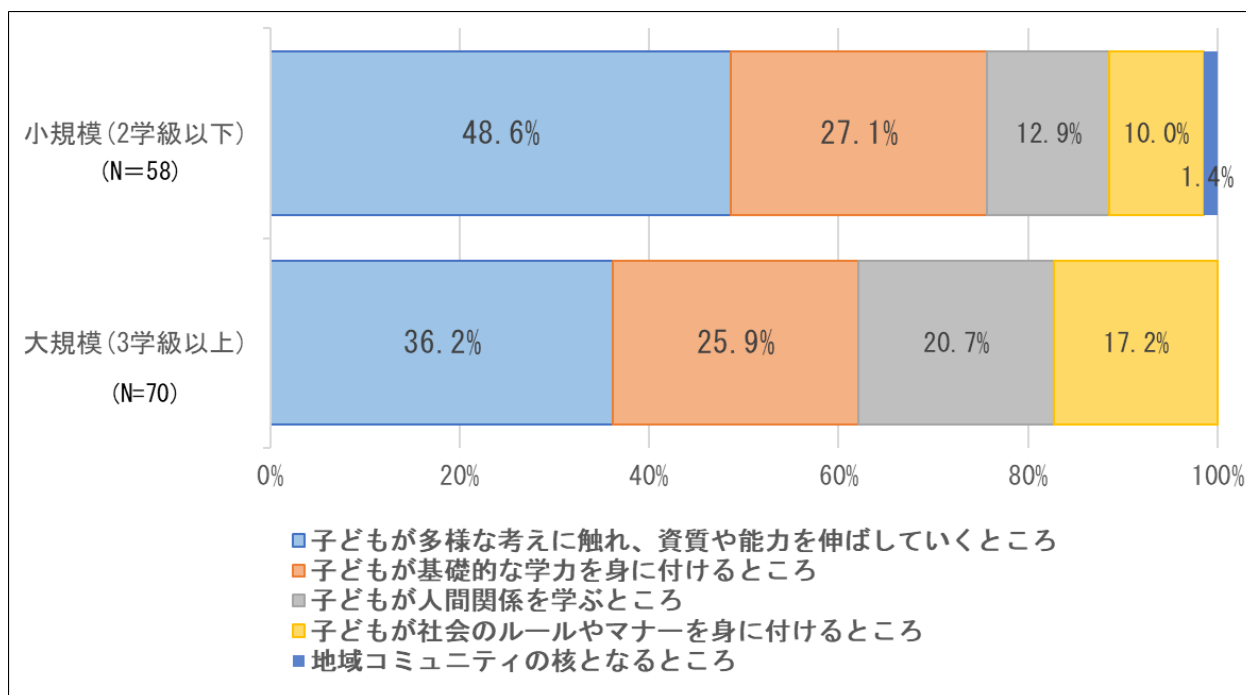
図表 4－2 中学校がどのようなところであるべきか（第2選択・単純集計）（N＝121）

図表 4-3 によると、すべての地区において「子どもが多様な考えに触れ、資質や能力を伸ばしていくところ」と回答した比率が最も高くなりました。また、西条地区では「子どもが人間関係を学ぶところ」と回答した比率が他の地区と比べて高くなる傾向がみられました。



図表 4－3 中学校がどのようなところであるべきか（所属する中学校の地区別）

図表 4-4 によると、小規模な中学校、大規模な中学校のいずれも「子どもが多様な考えに触れ、資質や能力を伸ばしていくところ」と回答した比率が最も高く、次いで「子どもが基礎的な学力を身に付けるところ」と回答した比率が高くなりました。



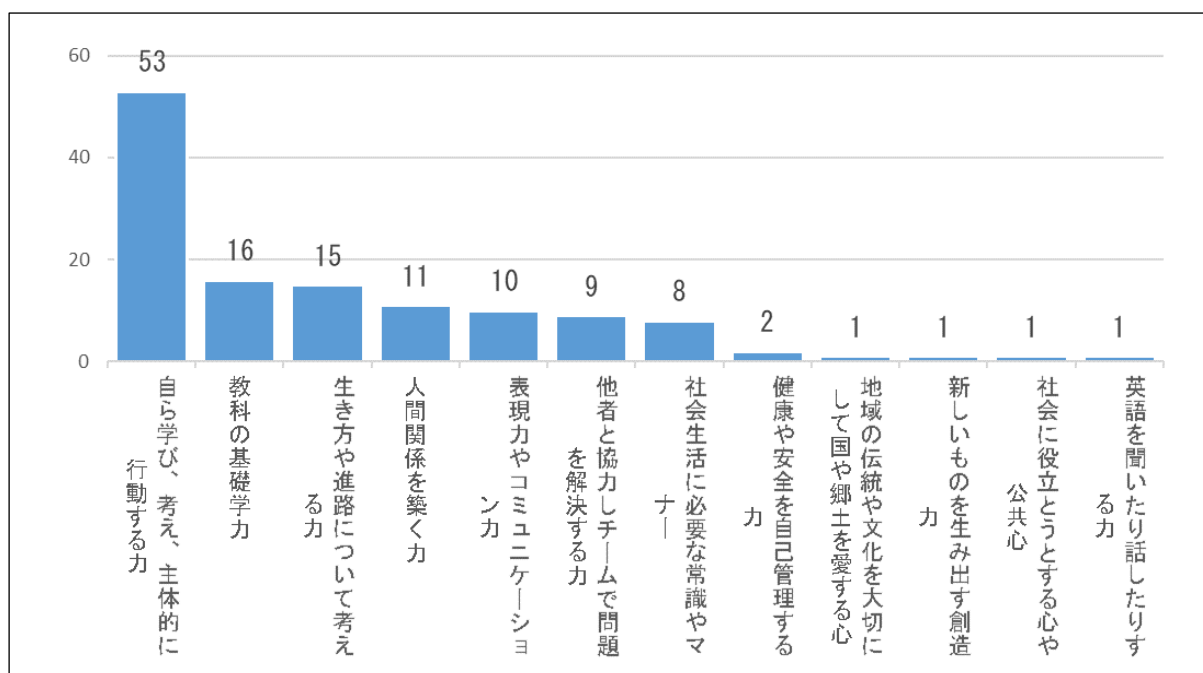
図表 4-4 中学校がどのようなところであるべきか（所属する中学校の3年生規模別）

（2）中学校で身に付けることが大切だと思う能力や態度

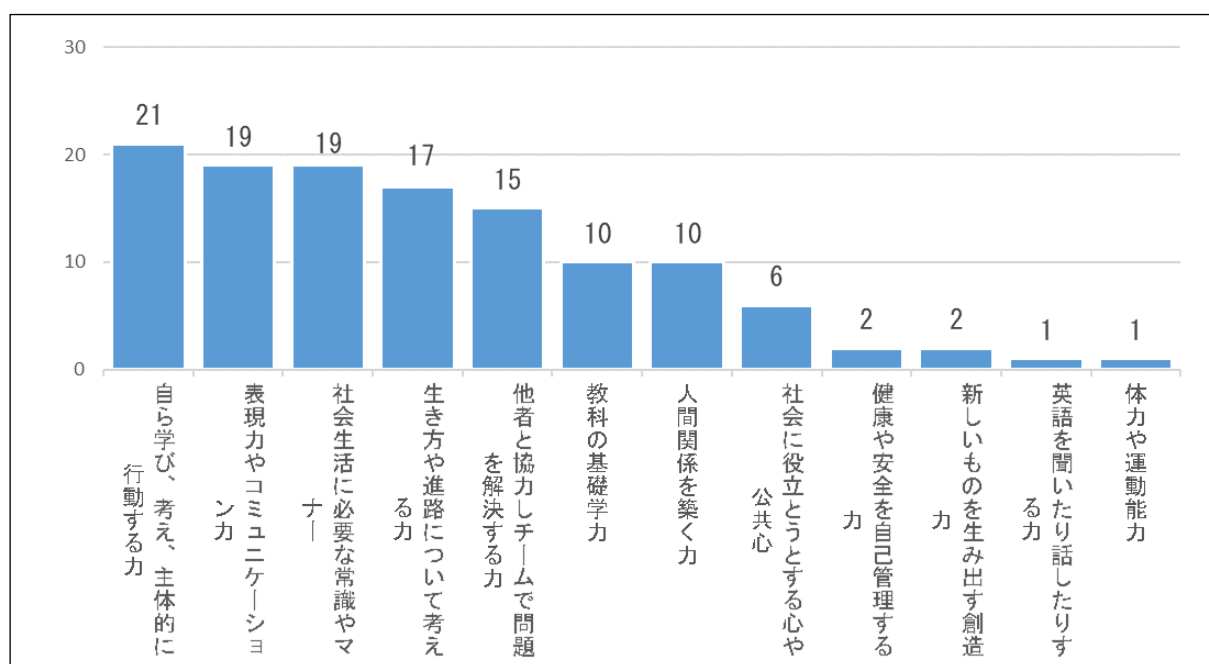
【結果概要】

- 子どもが自ら考え、主体的に行動する力を身に付けることを最も大切にしつつ、子どもの基礎学力や表現力を身に付けることも大切だとする傾向がみられました。（図表 4-5、4-6 参照）
- 所属する中学校の地区別、規模別にみると、大切だと思う能力や態度に違いがみられました。（図表 4-7、4-8）

図表 4-5 によると、「自ら学び、考え、主体的に行動する力」「教科の基礎学力」と回答した方が多くなりました。また、図表 4-6 によると、第2選択では「自ら学び、考え、主体的に行動する力」や「表現力やコミュニケーション力」「社会生活に必要な常識やマナー」と回答した方が多くなりました。

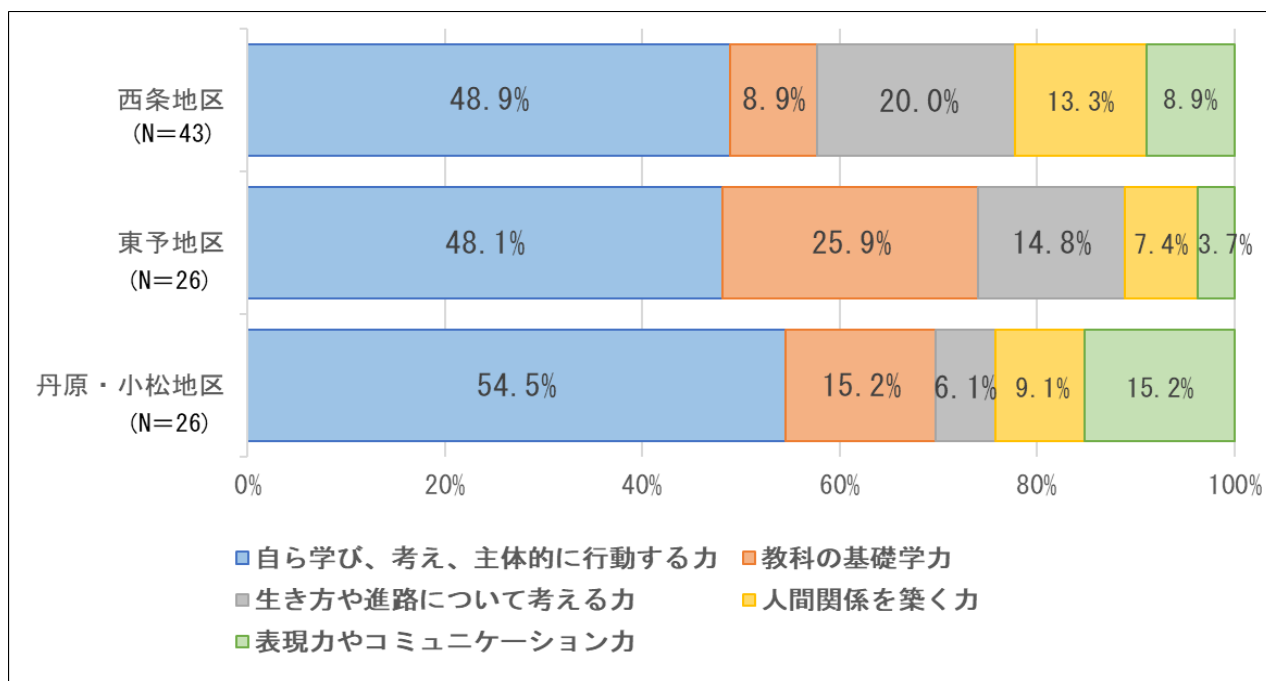


図表 4－5 中学校で身に付けることが大切だと思う能力や態度（第1選択・単純集計）
(N = 1 2 8)



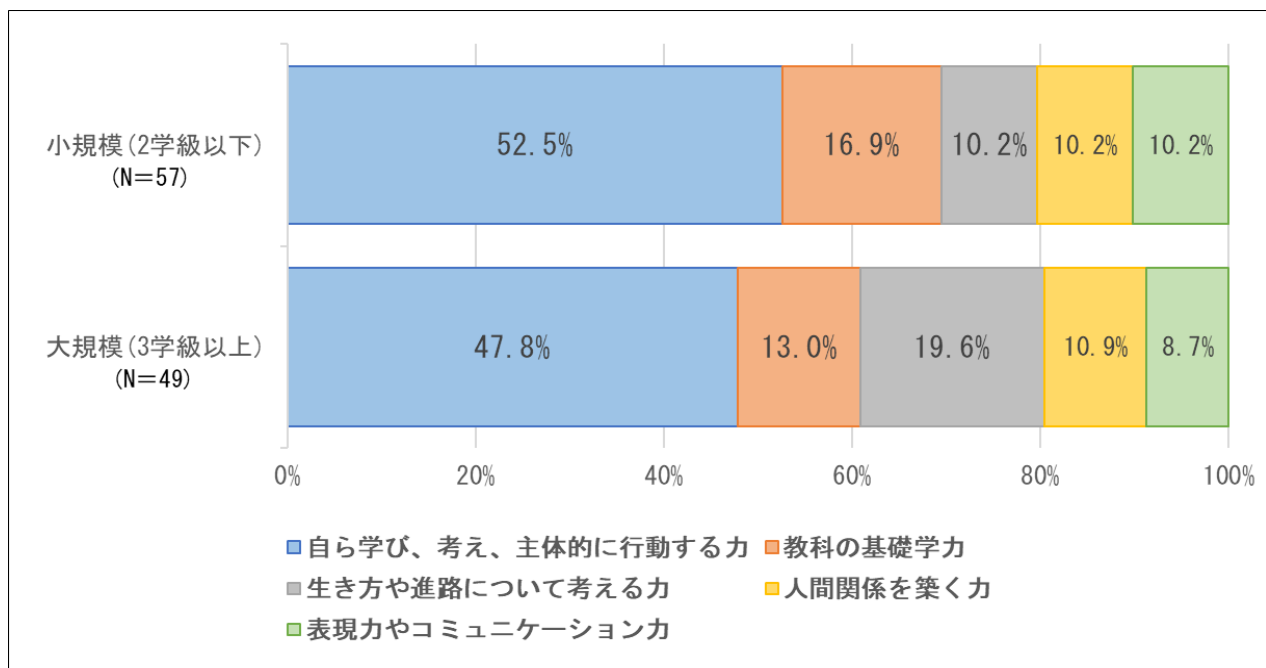
図表 4－6 中学校で身に付けることが大切だと思う能力や態度（第2選択・単純集計）
(N = 1 2 3)

図表 4-7 によると、すべての地区で「自ら学び、考え、主体的に行動する力」と回答した比率が最も高くなる一方で、地区によって回答の傾向に差がみられました。



図表 4-7 中学校で身に付けることが大切だと思う能力や態度
(第1選択上位5項目・所属する中学校の地区別)

図表 4-8 によると、中学校の規模にかかわらず「自ら学び、考え、主体的に行動する力」と回答した比率が最も高くなり、次いで小規模は「教科の基礎学力」と回答した比率が高くなり、大規模は「生き方や進路について考える力」と回答する比率が高くなりました。



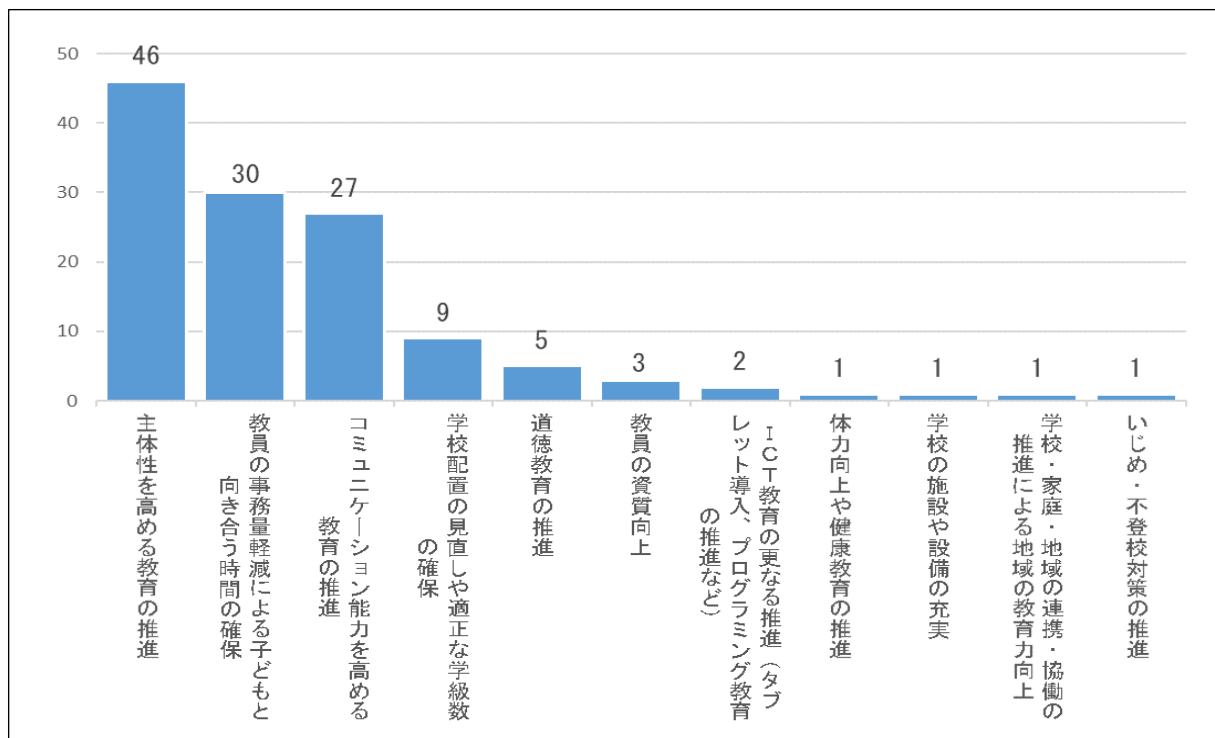
図表 4-8 中学校で身に付けることが大切だと思う能力や態度
(第1選択上位5項目・所属する中学校の3年生規模別)

(3)(2) で選択した能力や態度を育むため、今後期待する施策

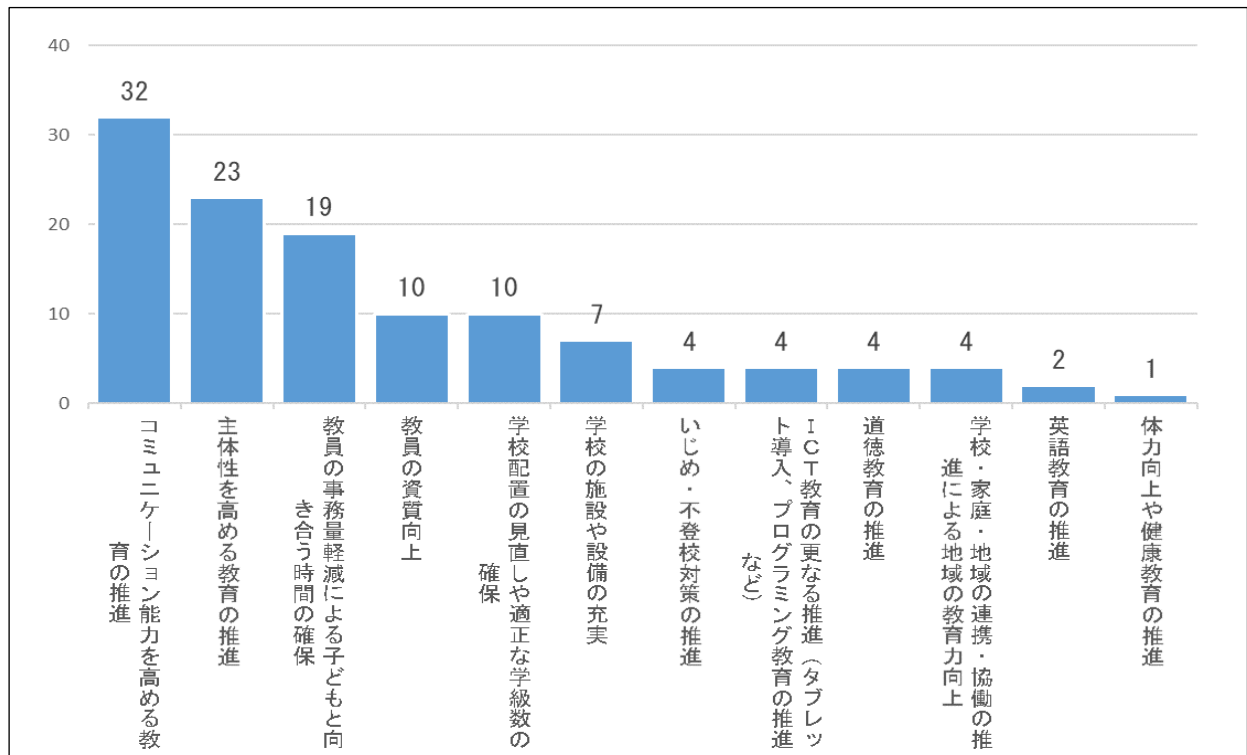
【結果概要】

- 全体を通じて、子どもの主体性やコミュニケーション能力を高める教育、教員の事務量軽減による子どもと向き合う時間の確保を求める声が多くみられました。(図表 4-9、4-10 参照)
- 中学校の地区別では、いずれの地区においても、主体性を高める教育を最も大切にする傾向がみられました。他方、西条地区と東予地区では、教員の事務量軽減による子どもと向き合う時間の確保を求める声が多く、丹原・小松地区では、コミュニケーション能力を高める教育を求める傾向がみられました。(図表 4-11 参照)
- 中学校の規模別では、大規模で「教員の事務量軽減による子どもと向き合う時間の確保」と回答した比率が高くなるなど違いがみられました。

図表 4-9 によると、「主体性を高める教育の推進」と回答した方が最も多く、次いで「教員の事務量軽減による子どもと向き合う時間の確保」と回答した方が多くなりました。また、図表 4-10 によると、第 2 選択においては「コミュニケーション能力を高める教育の推進」と回答した方が最も多く、次いで「主体性を高める教育の推進」と回答した方が多くなりました。

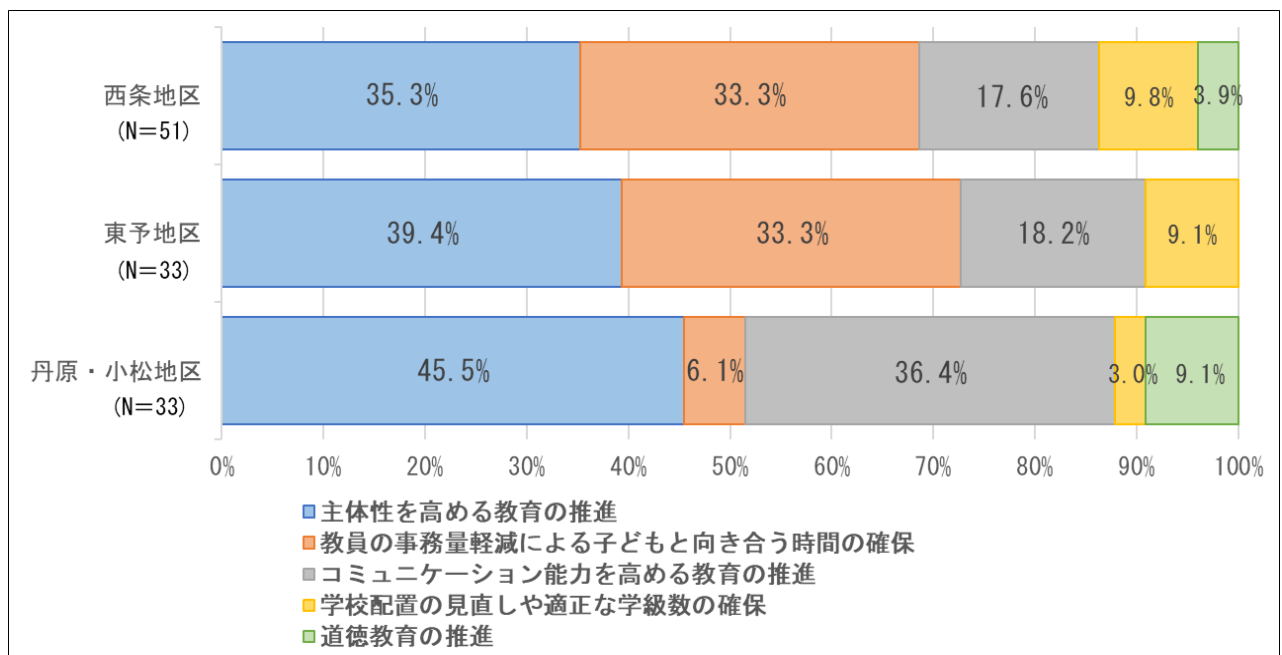


図表 4-9 (2) で選択した能力や態度を育むため、今後期待する施策
(第 1 選択・単純集計) (N = 126)



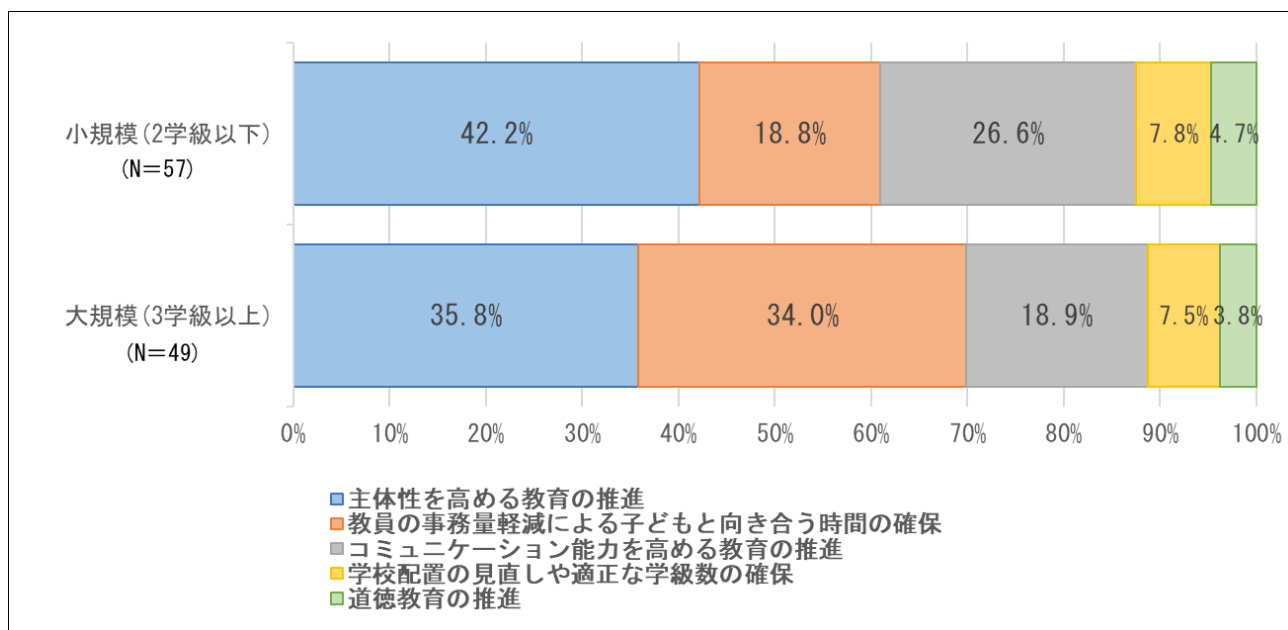
図表 4－10 （2）で選択した能力や態度を育むため、今後期待する施策
（第2選択・単純集計）（N＝120）

図表 4-11 によると、すべての地区で「主体性を高める教育の推進」と回答した比率が最も高くなりました。また、西条地区、東予地区では「教員の事務量軽減による子どもと向き合う時間の確保」と回答した比率が高くなる傾向がある一方で、丹原・小松地区では、「コミュニケーション能力を高める教育の推進」と回答した比率が高くなりました。



図表 4－11 （2）で選択した能力や態度を育むため、今後期待する施策
（第1選択上位5項目・所属する中学校の地区別）

図表 4-12 によると、中学校の規模にかかわらず「主体性を高める教育の推進」と回答した比率が高くなりました。小規模と比較して、大規模では「教員の事務量軽減による子どもと向き合う時間の確保」と回答した比率が高くなりました。



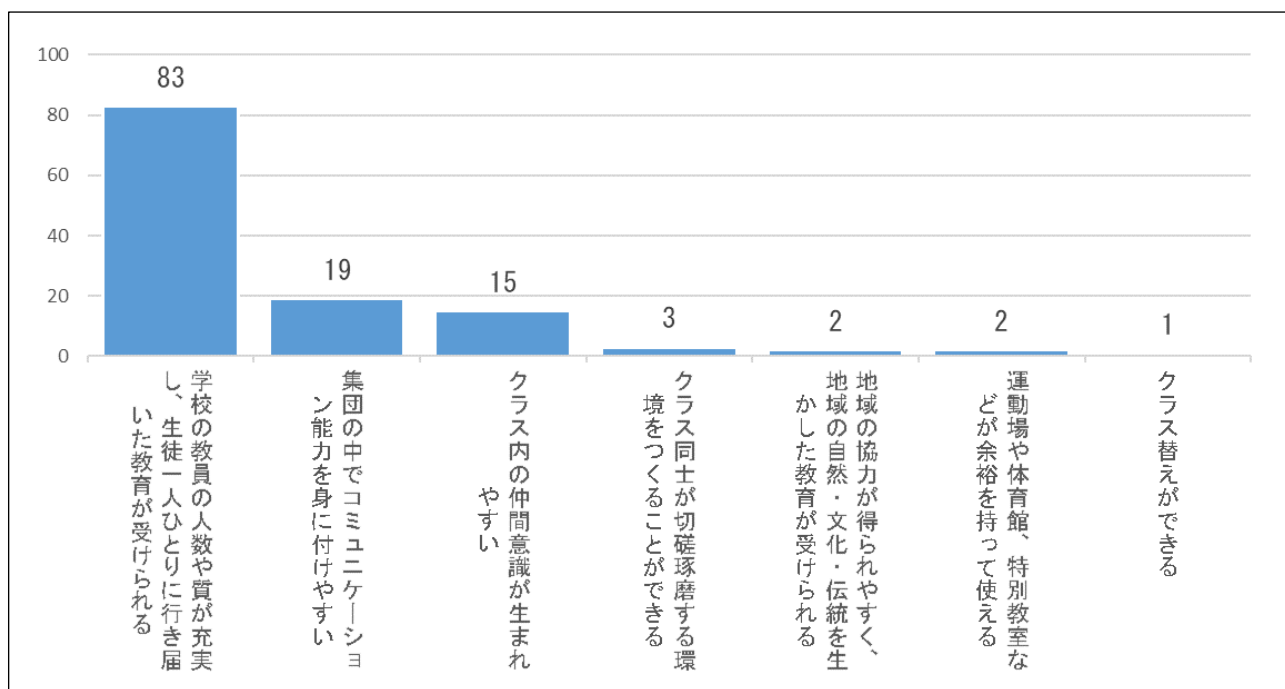
図表 4-12 (2) で選択した能力や態度を育むため、今後期待する施策
(第1選択上位5項目・所属する中学校の3年生規模別)

(4) 中学校での学習環境を考える上で重視する点

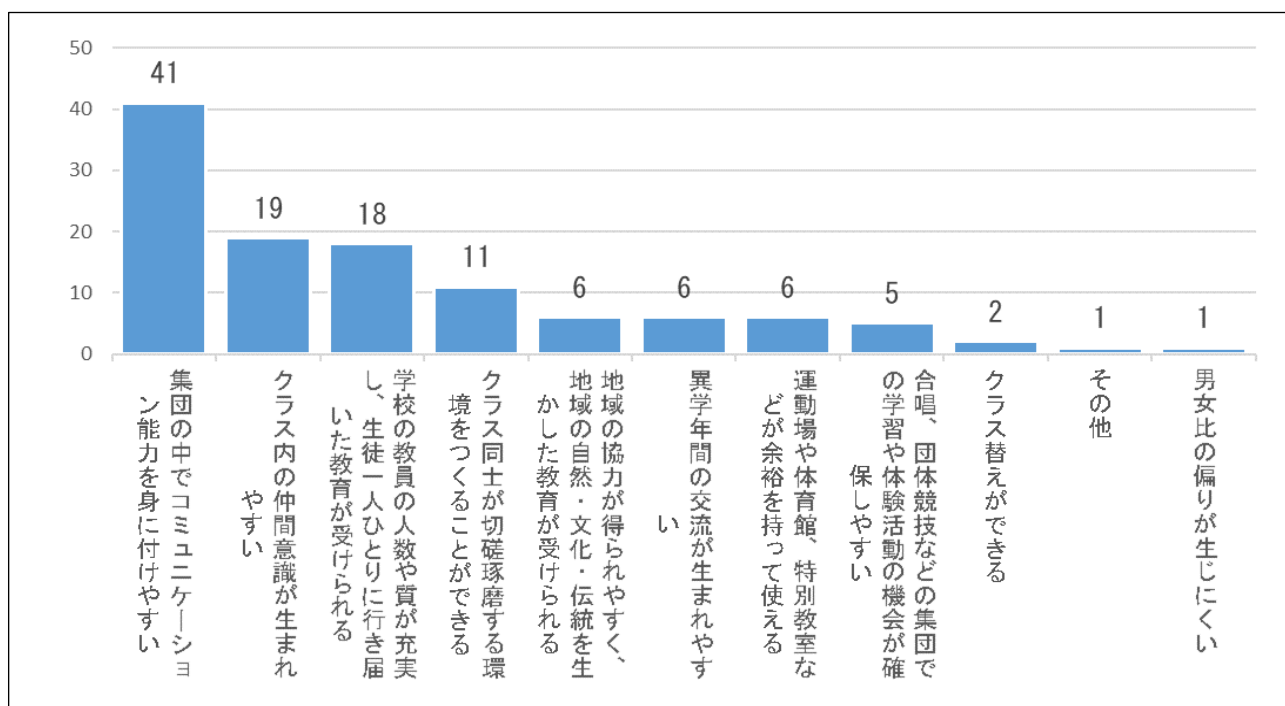
【結果概要】

- 教員の人数や質が充実することに伴う生徒一人ひとりに行き届いた教育が受けられる環境を望む声が最も多くなり、一方で、集団の中でコミュニケーション能力を身に付ける環境やクラス内の仲間意識が生まれやすい環境など、集団の中で学び合うことの重要性を意識した回答も多くなりました。(図表 4-13、4-14 参照)
- 所属する中学校の地区別及び規模別にみると、いずれも学校の教員の人数や質が充実し生徒一人ひとりに行き届いた教育が受けられる環境を重視する傾向がみられ、その他は地区や規模により違いがみられました(図表 4-15、4-16 参照)

図表 4-13 によると、「学校の教員の人数や質が充実し生徒一人ひとりに行き届いた教育が受けられる」と回答した方が最も多くなり、次いで「集団の中でコミュニケーション能力を身に付けやすい」と回答した方が多くなりました。また、図表 4-14 によると、第2選択では「集団の中でコミュニケーション能力を身に付けやすい」と回答した方が最も多くなり、次いで「クラス内の仲間意識が生まれやすい」と回答した方が多くなりました。



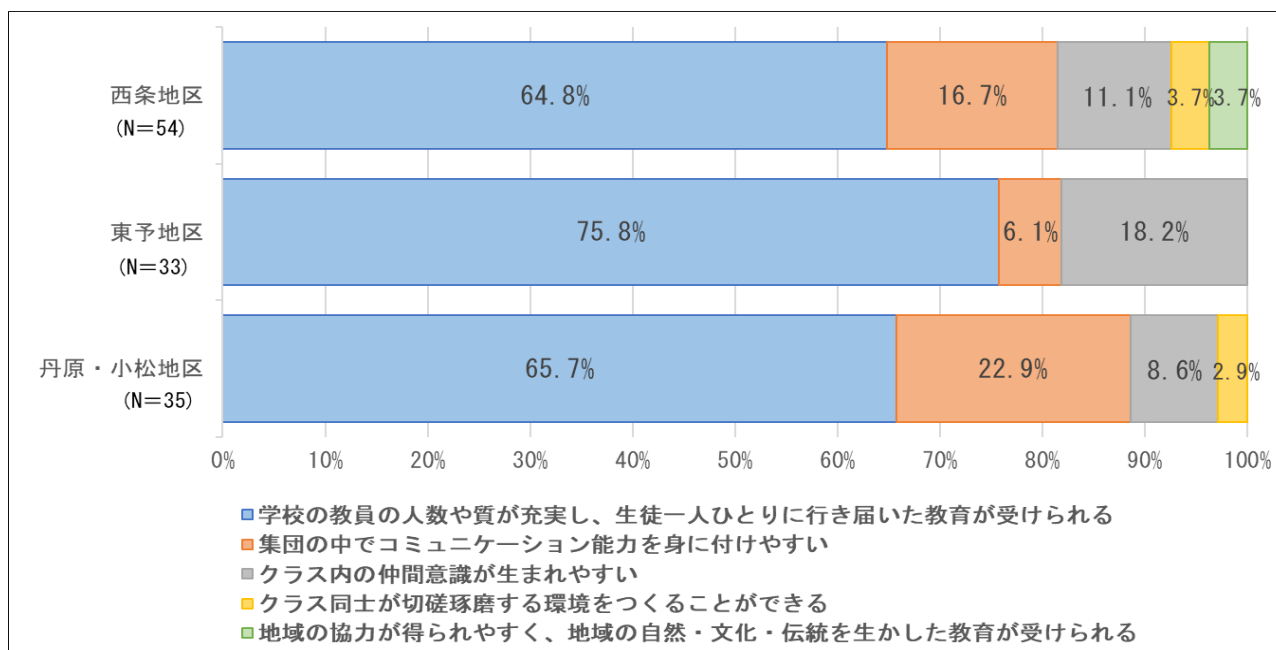
図表 4－13 中学校での学習環境を考える上で重視する点（第1選択・単純集計）
(N=125)



図表 4－14 中学校での学習環境を考える上で重視する点（第2選択・単純集計）
(N=116)

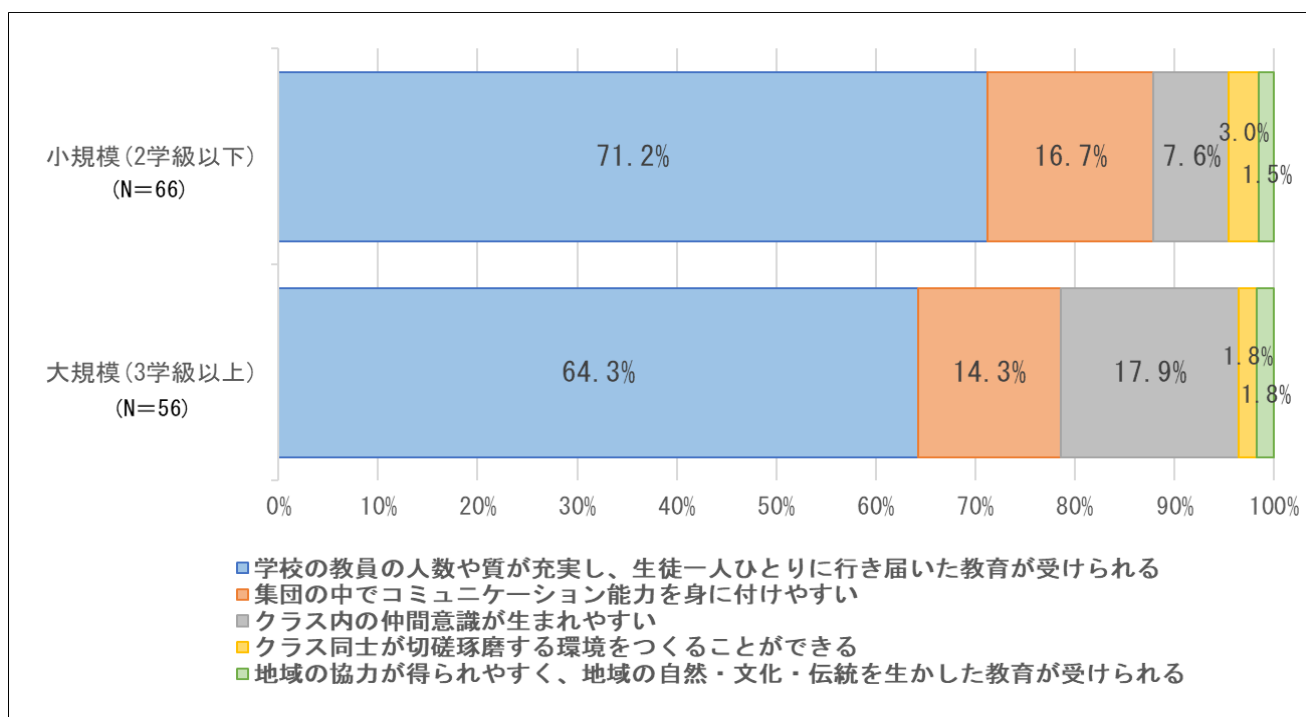
図表 4-15 によると、すべての地区で「学校の教員の人数や質が充実し生徒一人ひとりに行き届いた教育が受けられる」と回答した比率が最も高くなりました。次いで、西条地区、丹原・小松地区では「集団の中でコミュニケーション能力を身に付けやすい」との回答が多くなりましたが、東予地区で

は「クラス内の仲間意識が生まれやすい」との回答が多くなりました。



図表 4-15 中学校での学習環境を考える上で重視する点
(第1選択上位5項目・所属する中学校の地区別)

図表 4-16 によると、すべての中学校規模で「学校の教員の人数や質が充実し生徒一人ひとりに行き届いた教育が受けられる」と回答した比率が最も高くなりました。次いで、小規模では「集団の中でコミュニケーション能力を身に付けやすい」と回答した比率が高くなり、大規模では「クラス内の仲間意識が生まれやすい」と回答した比率が高くなりました。



図表 4-16 中学校での学習環境を考える上で重視する点
(第1選択上位5項目・所属する中学校の3年生規模別)

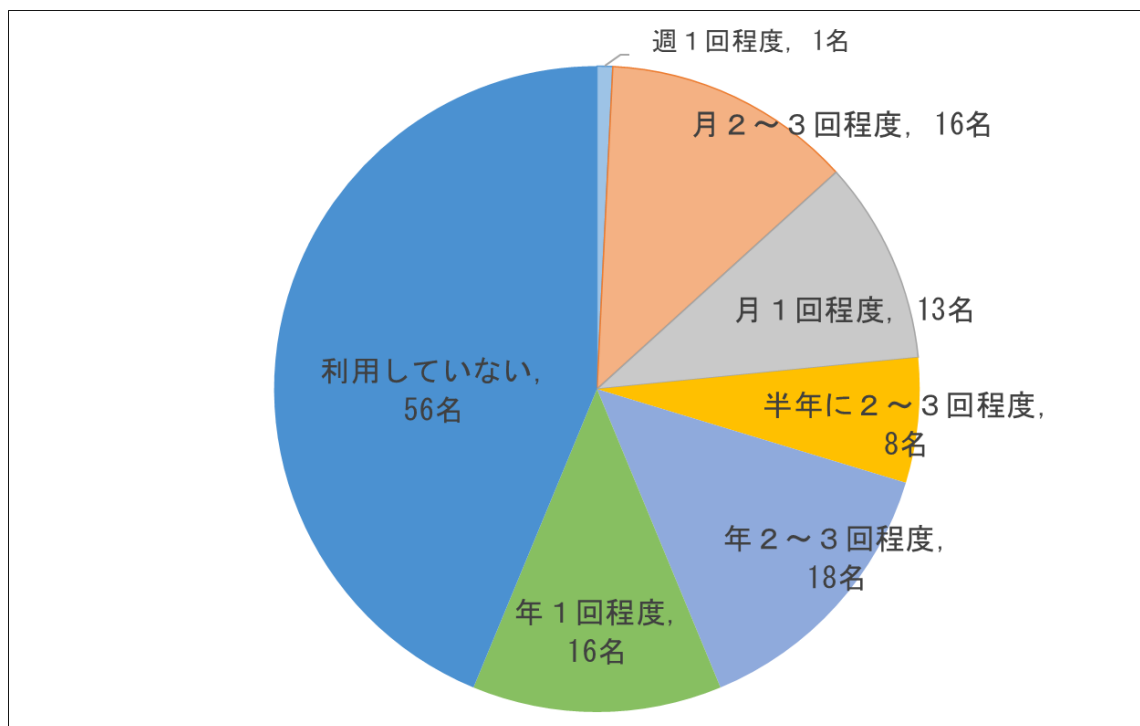
5 図書館について

(1) 中学校教職員における図書館の利用状況

【結果概要】

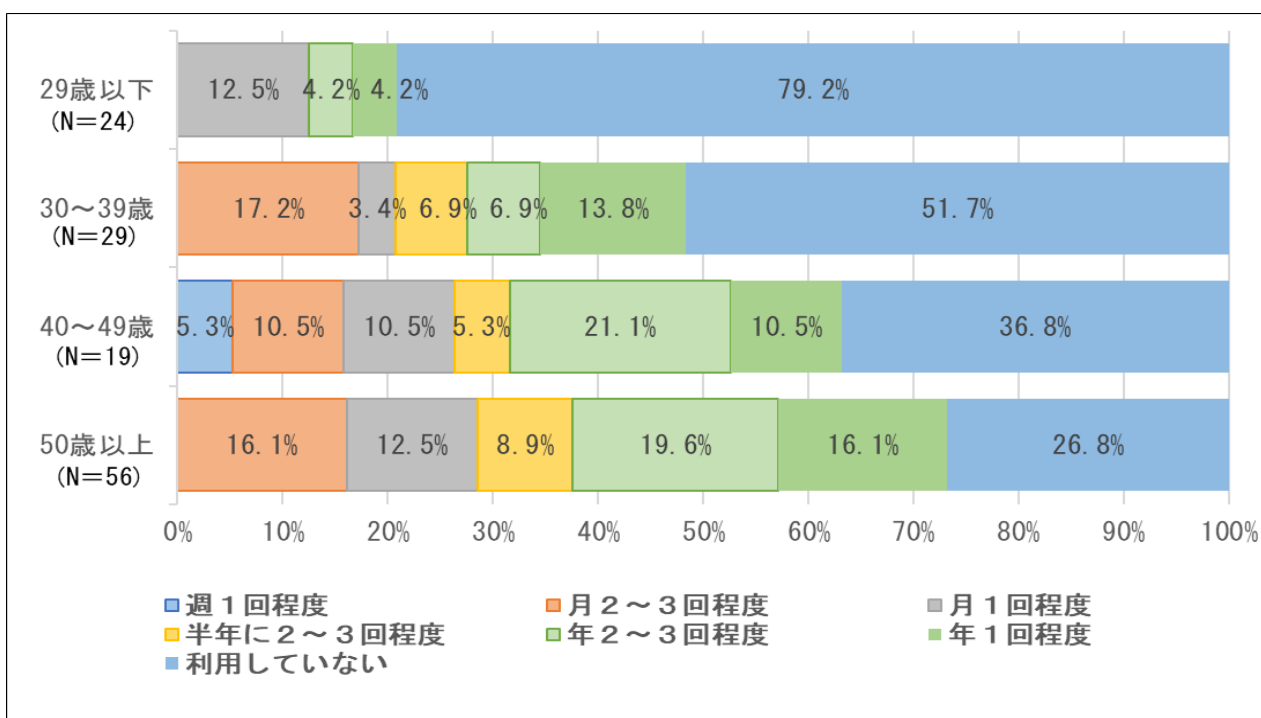
- 月1回以上図書館を利用していると回答した方が約4人に1人となる一方で、約4割の方が図書館を利用していないと回答しました。(図表5-1 参照)
- 他の年齢と比較し、29歳以下で図書館の利用頻度が低い傾向がみられました。(図表5-2)
- 所属する中学校の地区別では、丹原・小松地区の利用頻度が高い傾向がみられました。(図表5-3)

図表5-1によると、「利用していない」が最も多く、次いで「年2～3回程度」図書館を利用すると回答した方が多くなりました。



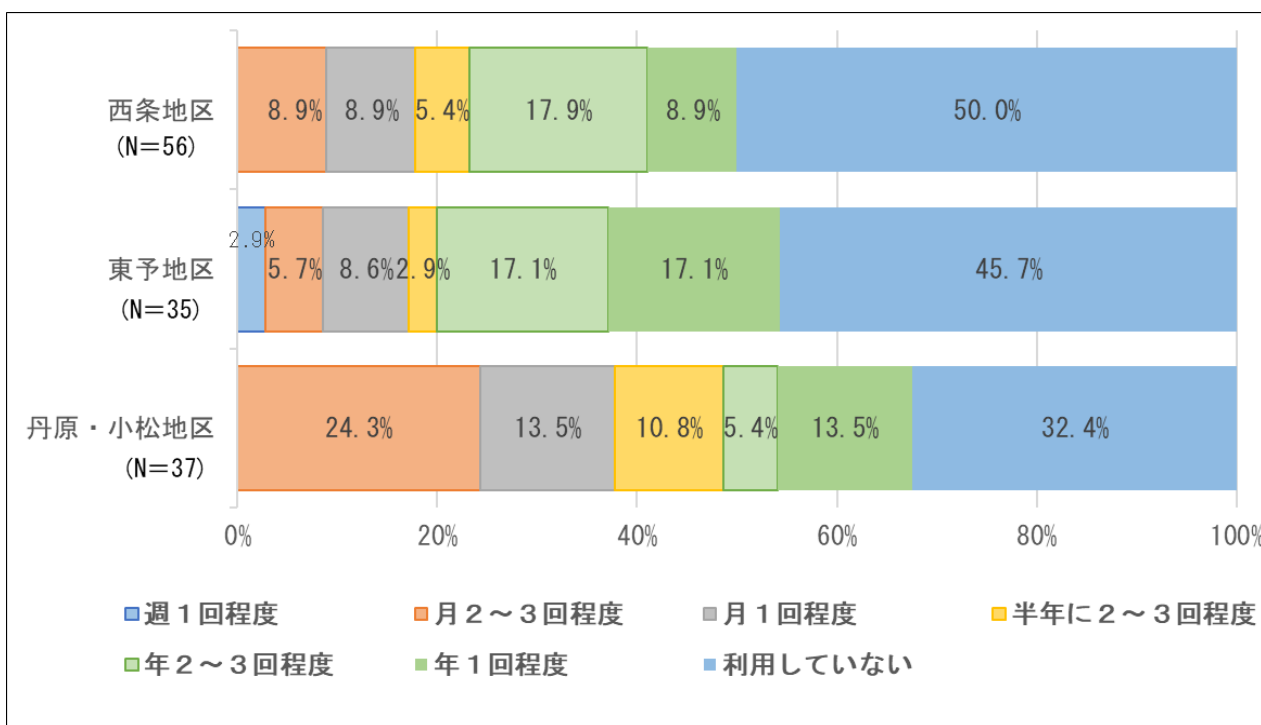
図表5－1 図書館の利用状況（単純集計）（N＝128）

図表 5-2 によると、40～49 歳、50 歳以上で図書館を利用していると回答した比率が高くなる一方で、29 歳以下においては、図書館を利用していると回答した比率が最も低くなりました。



図表 5-2 図書館の利用状況（年齢別）

図表 5-3 によると、所属する中学校の地区によって図書館を利用する頻度に違いがみられました。特に、丹原・小松地区では図書館を利用する頻度が高くなる傾向がみられました。



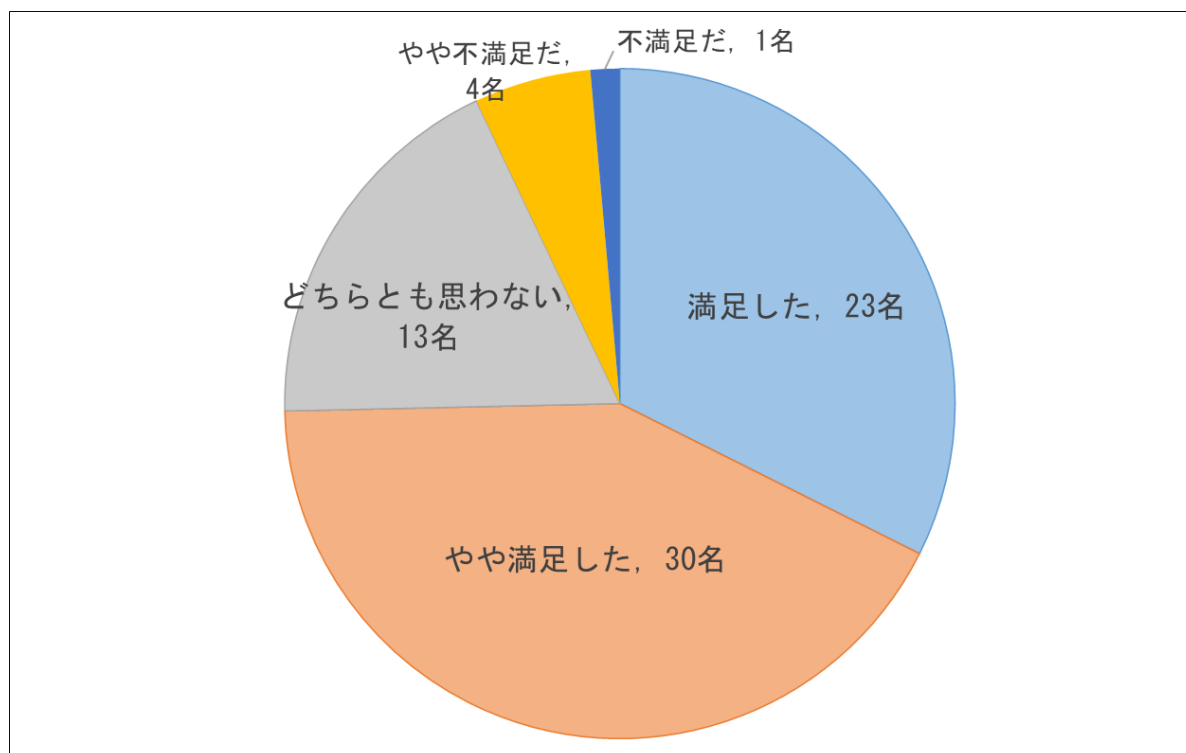
図表 5-3 図書館の利用状況（所属する中学校の3年生規模別）

（２）中学校教職員における図書館の利用環境に対する満足度

【結果概要】

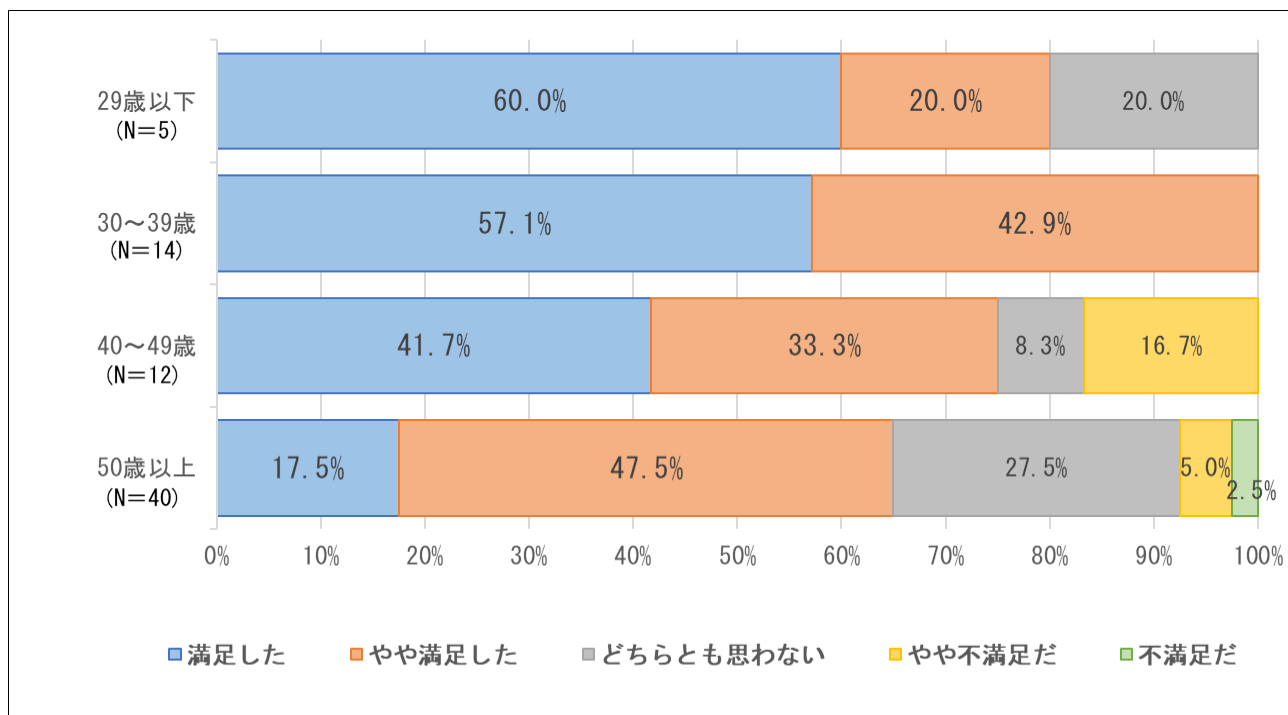
- 全体を通じ、図書館の利用環境に比較的満足している傾向がみられました。（図表 5-4 参照）
- 年齢別にみると、30～39 歳の満足度が高い一方、年齢が上がるにつれて満足度が低くなる傾向がみられました。（図表 5-5 参照）
- 主に利用する図書館別にみると、図書館によって満足度が異なる結果となりました。何が要因であるか分析する必要があると考えられます。（図表 5-6 参照）

図表 5-4 によると、図書館を利用したと回答した方のうち、図書館の利用環境に「満足した」「やや満足した」と回答した方が多くなり、「やや不満足だ」「不満足だ」と回答した方を大きく上回る結果となりました。



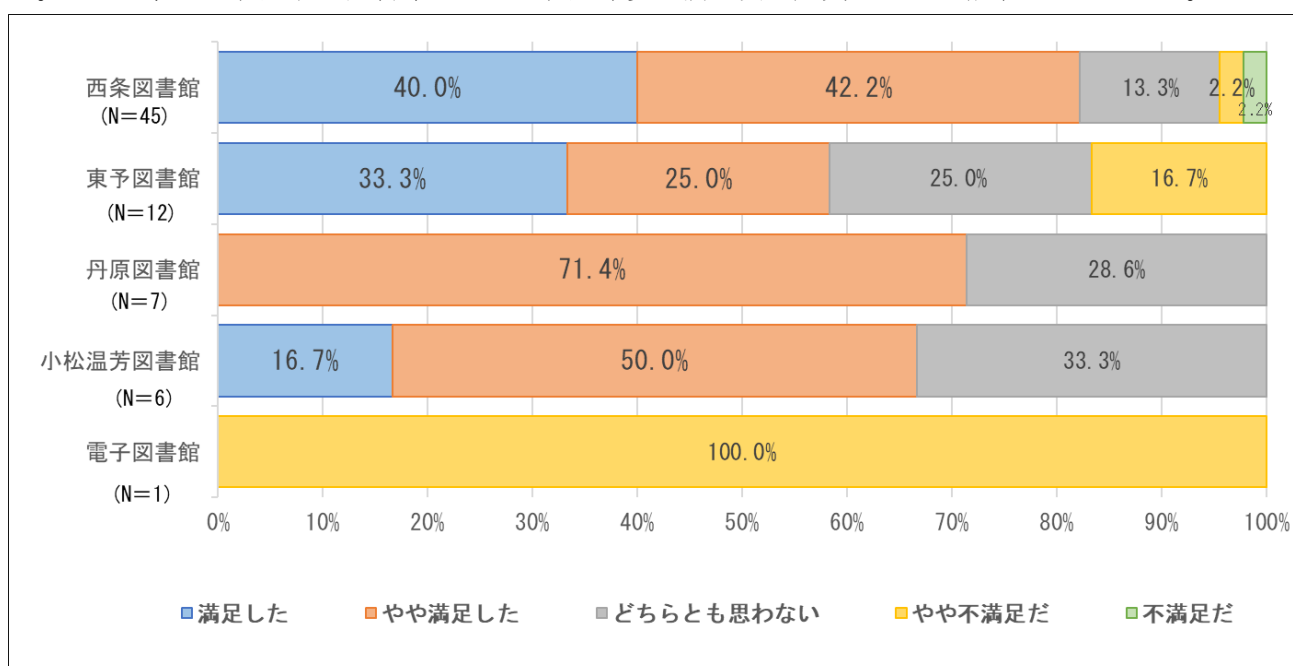
図表 5－4 図書館の利用環境に対する満足度（単純集計）（N＝71）

図表 5-5 によると、図書館を利用したと回答した中学校教職員のうち、すべての年齢を通じて「満足した」「やや満足した」と回答した比率が高くなりました。30～39 歳は特に満足度が高くなる一方、40～49 歳、50 歳以上と年齢が上がるほど満足度が低くなる傾向がみられました。



図表 5-5 図書館の利用環境に対する満足度（年齢別）

図表 5-6 によると、図書館を利用したと回答した中学校教職員のうち、電子図書館を除き、西条図書館を主に利用している方が、図書館の利用環境に「満足している」と回答した比率が高くなりました。一方で、主に利用する図書館によって利用環境の満足度に差異が生じる結果となりました。



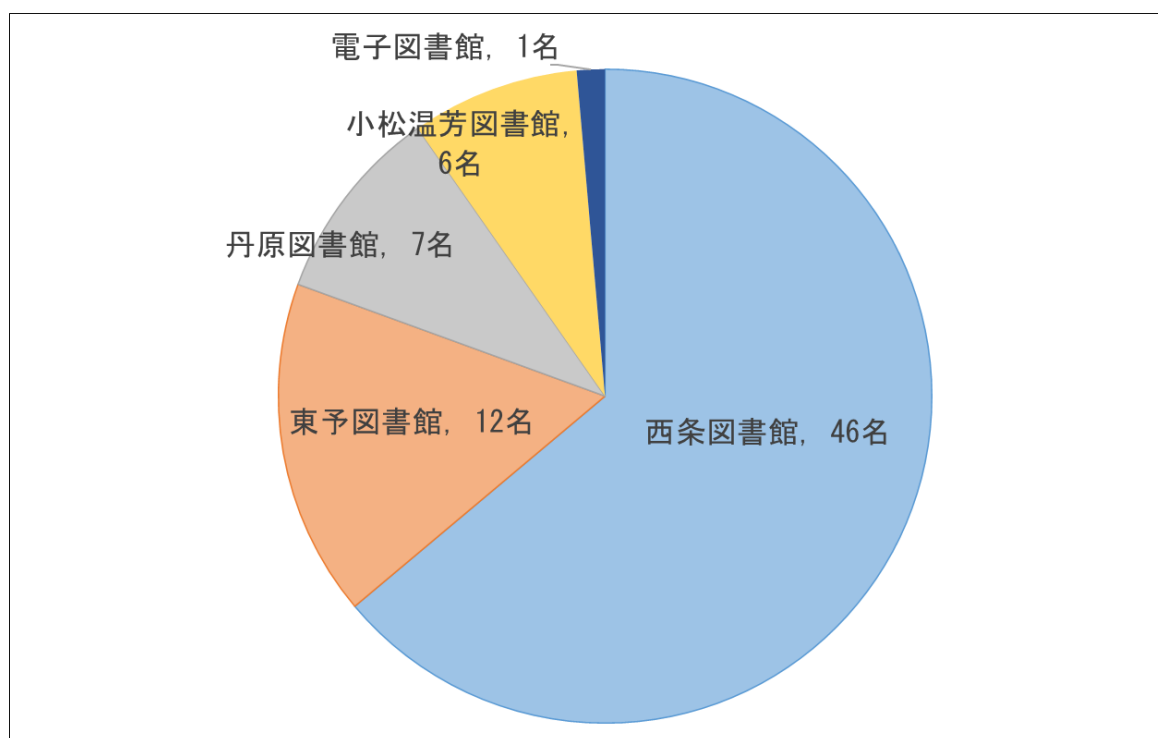
図表 5-6 図書館の利用環境に対する満足度（主に利用した図書館別）

（３）中学校教職員が主に利用している図書館

【結果概要】

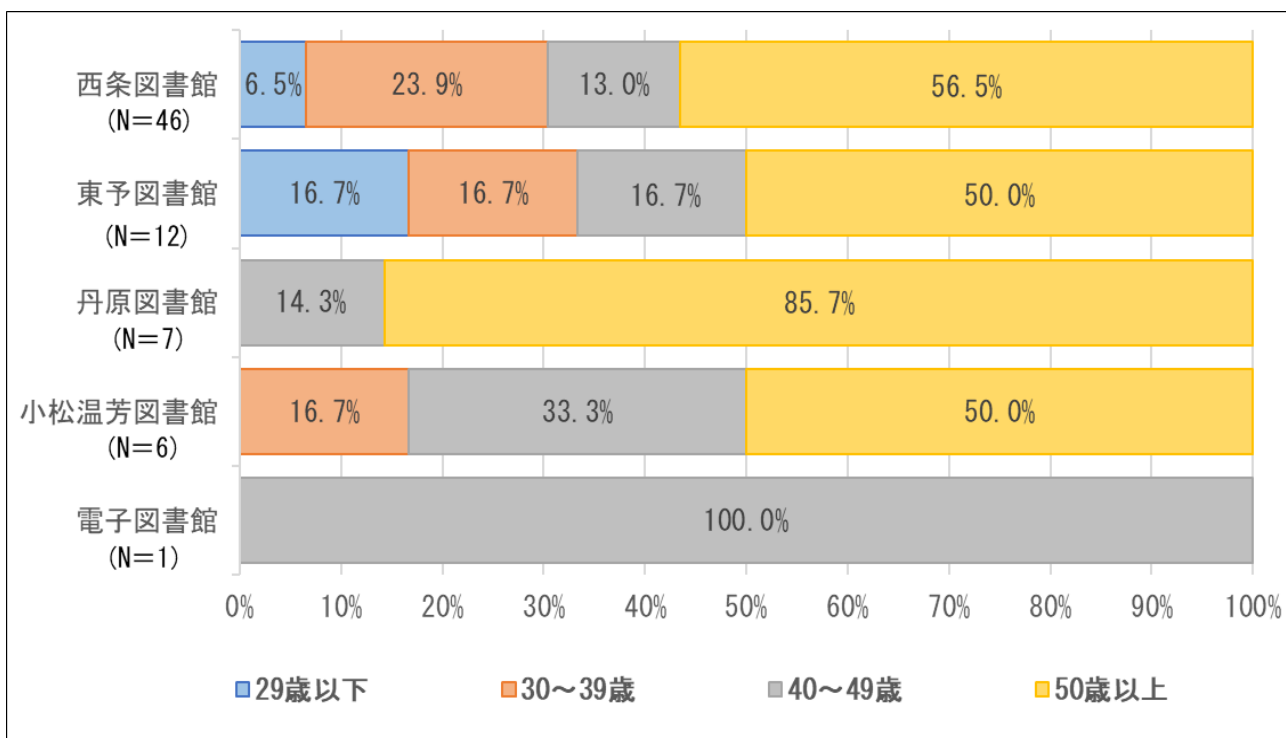
- 各地区における人口構成と比較し、西条図書館を利用していると回答した比率が高くなる一方で、東予図書館を利用していると回答した比率が低くなりました。（図表 5-7 参照）
- 年齢によって主に利用している図書館の傾向に違いがみられました。特に、西条図書館は比較的若い年齢の方が利用している傾向がみられました。（図表 5-8 参照）

図表 5-7 によると、図書館を利用したと回答した中学校教職員のうち、西条図書館を主に利用していると回答した比率が高くなりました。なお、移動図書館を利用していると回答した方はいませんでした。



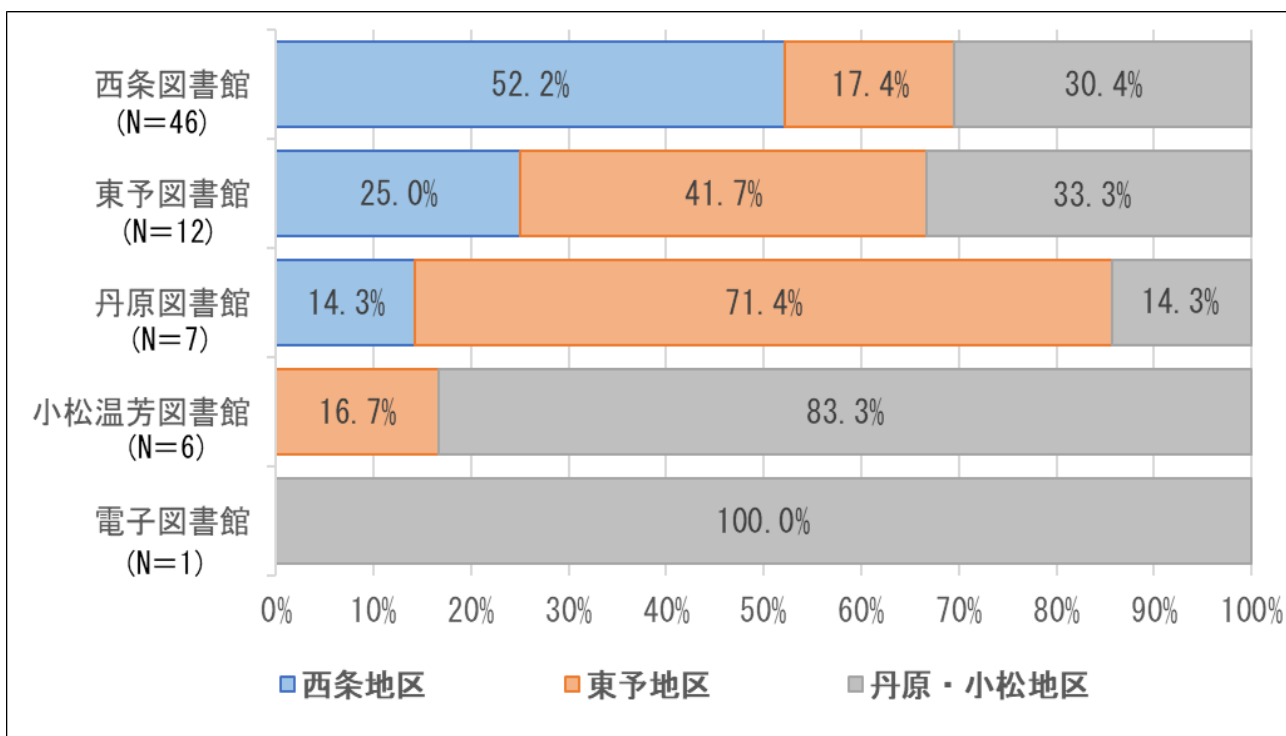
図表 5-7 主に利用している図書館（単純集計）（N＝72）

図表 5-8 によると、図書館を利用したと回答した中学校教職員のうち、西条図書館と東予図書館は若い年齢の方の利用が多くなる傾向がみられる一方で、丹原図書館では主な利用者の 8 割以上が 50 歳以上という結果になりました。



図表 5－8 主に利用している図書館別の年齢構成

図表 5-9 によると、図書館を利用したと回答した中学校教職員のうち、西条図書館、東予図書館、小松温芳図書館は図書館が立地する地区の中学校に所属する方が最も利用している傾向がみられますが、丹原図書館は図書館が立地する地区ではない中学校の方の利用が多い傾向がみられました。



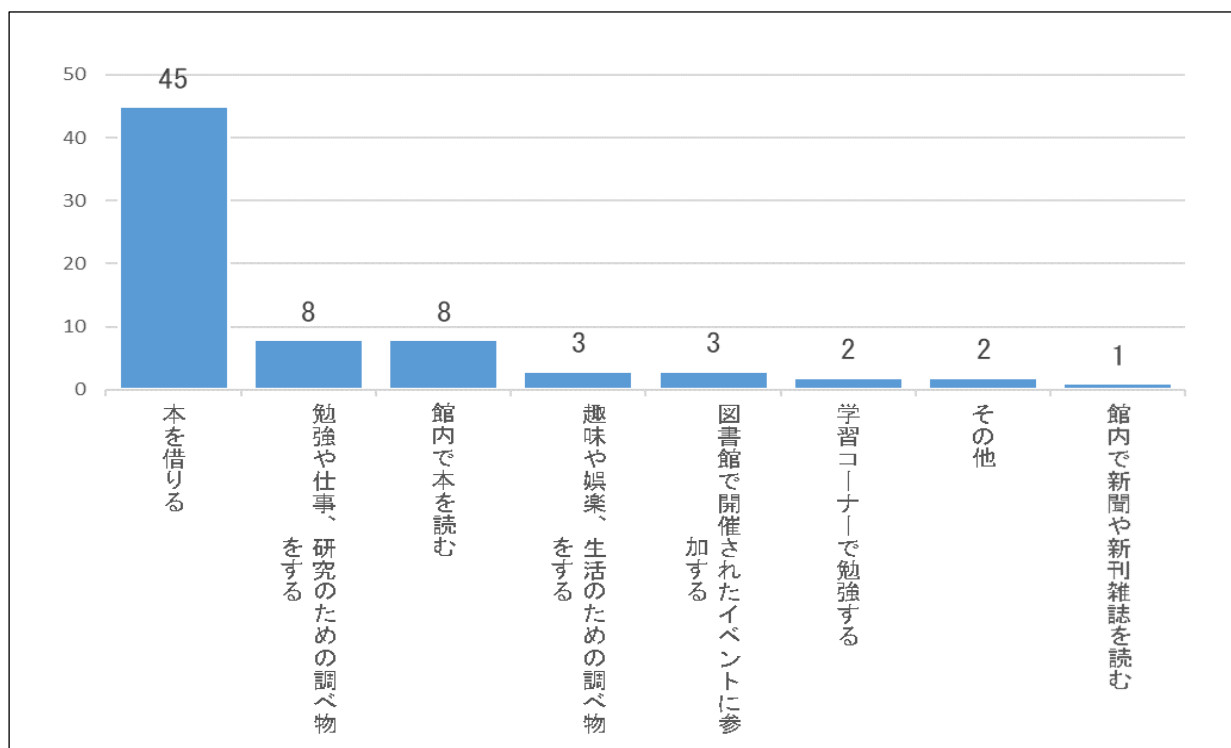
図表 5－9 中学校教職員が主に利用している図書館（所属する中学校地区別）

(4) 中学校教職員が図書館を利用した主な目的

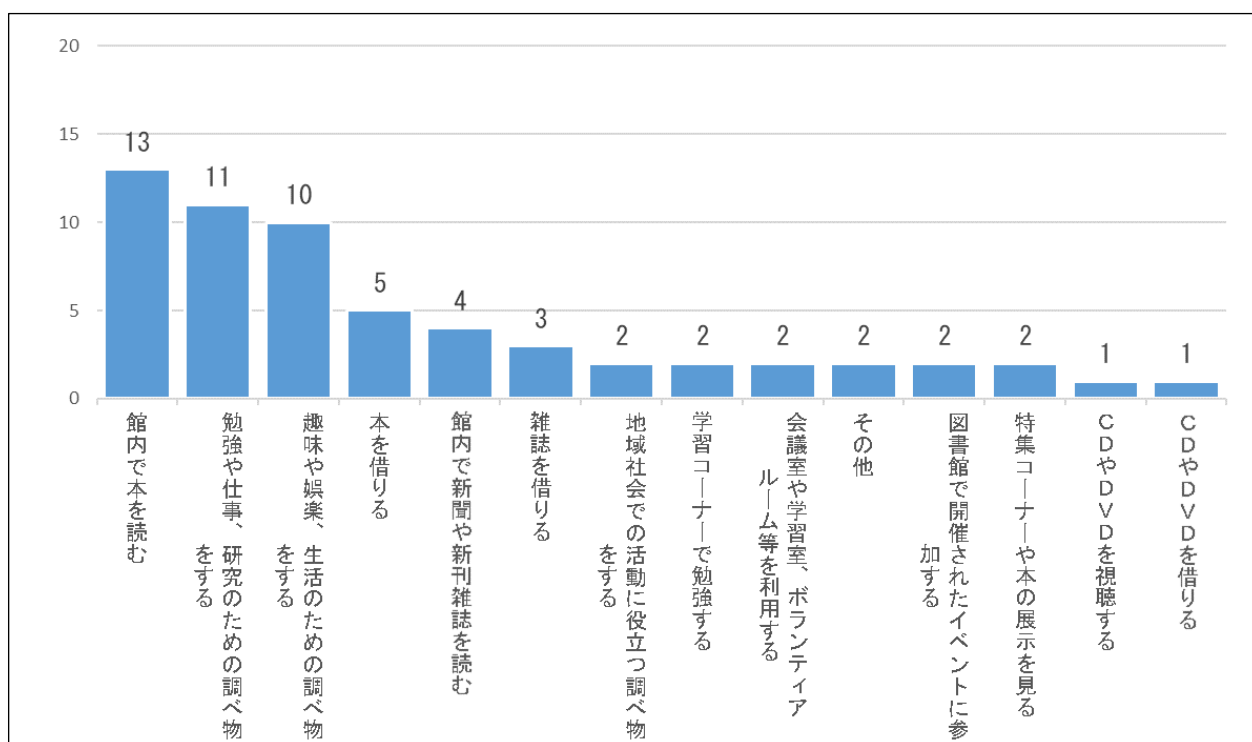
【結果概要】

- 図書館を利用した方の多くが、本を借りるために図書館を利用している傾向が見られました。（図表 5-10 参照）
- 図書館別にみると、すべての図書館で本を借りるために図書館を利用する割合が高いものの、西条図書館では一定数の方が他の目的をもって利用している傾向がみられました（図表 5-13 参照）

図表 5-10 によると、図書館を利用したと回答した中学校教職員のうち、「本を借りる」ために利用したと回答した方が最も多くなり、次いで「勉強や仕事、研究のための調べ物をする」「館内で本を読む」ために利用したと回答した方が多くなりました。また、図表 5-11 によると、第 2 選択についても、「館内で本を読む」「勉強や仕事、研究のための調べ物をする」ために利用したと回答した方が多くなりました。

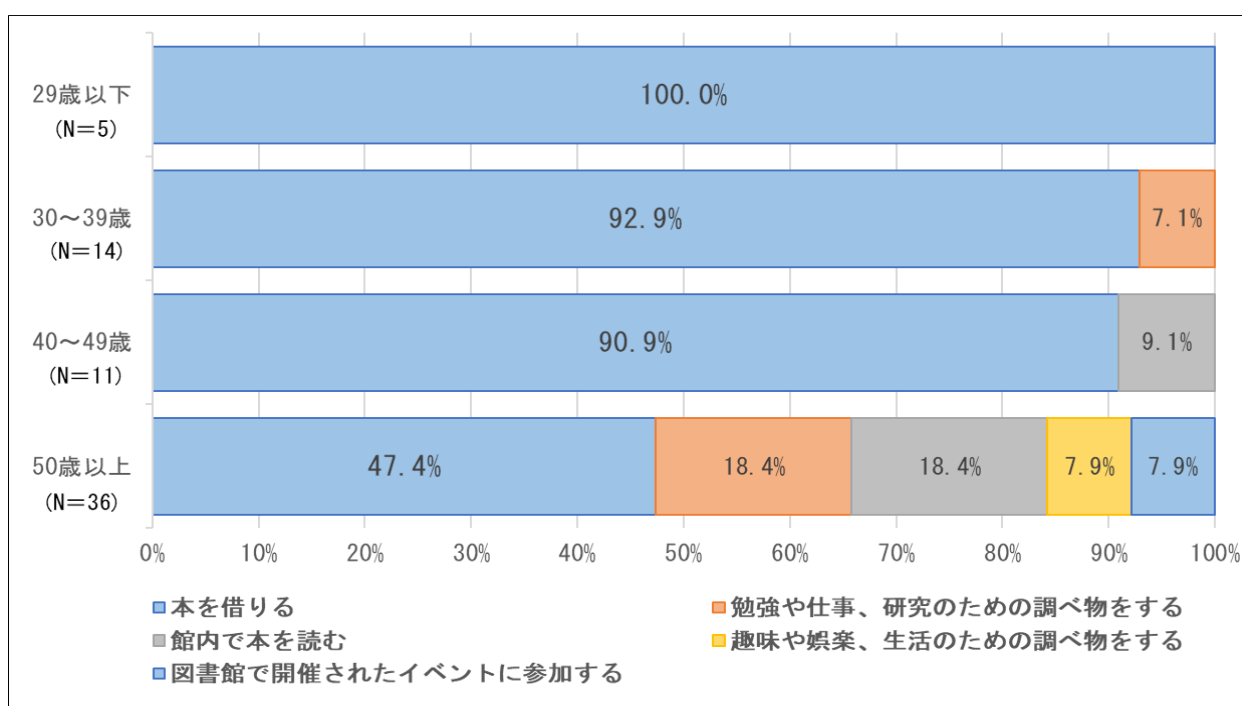


図表 5-10 図書館を利用した主な目的（第 1 選択・単純集計）（N = 72）



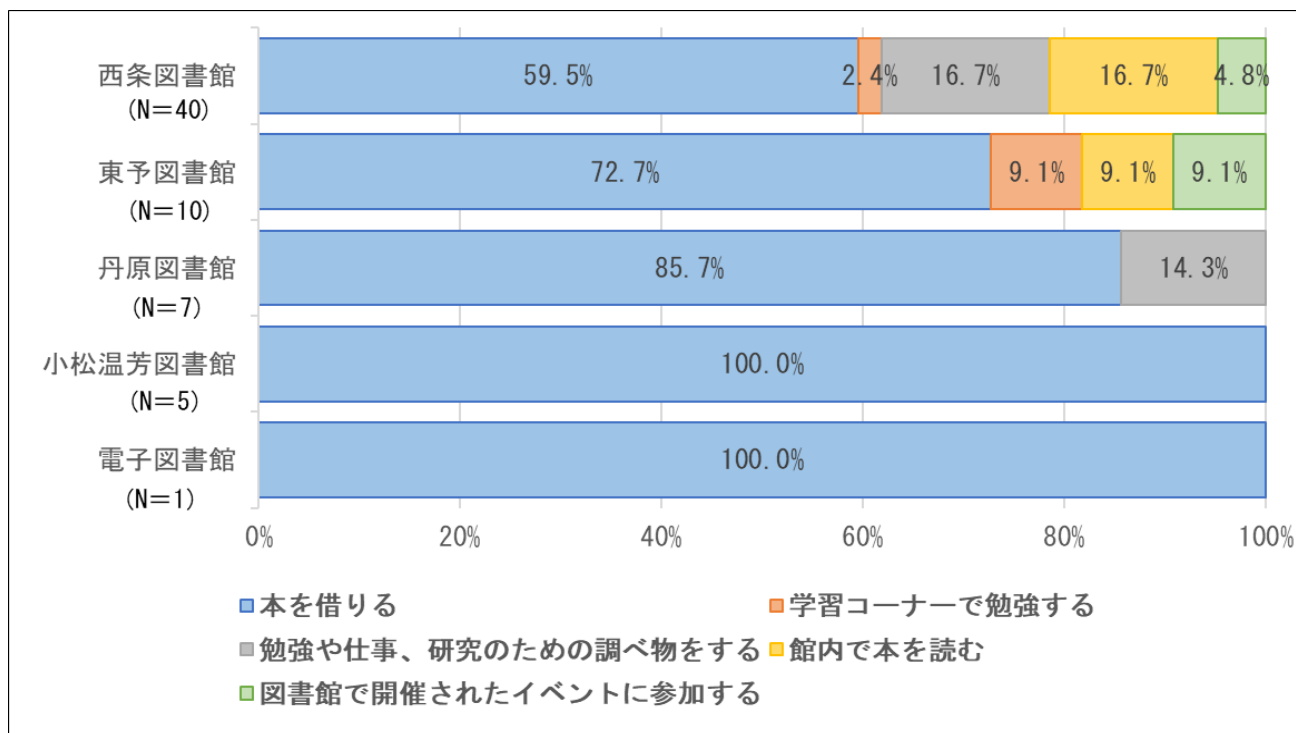
図表 5－11 図書館を利用した主な目的（第2選択・単純集計）（N＝60）

図表 5-12 によると、図書館を利用したと回答した中学校教職員のうち、すべての年代で「本を借りる」と回答した比率が最も高くなる一方で、50歳以上においては、他の利用目的を選択した比率が高くなりました。



図表 5－12 図書館を利用した主な目的（第1選択上位5項目・年齢別）

図表 5-13 によると、図書館を利用したと回答した中学校教職員のうち、すべての図書館において「本を借りる」ために図書館を利用したと回答した比率が最も高くなる一方で、西条図書館では他の利用目的を選択した比率が高くなりました。



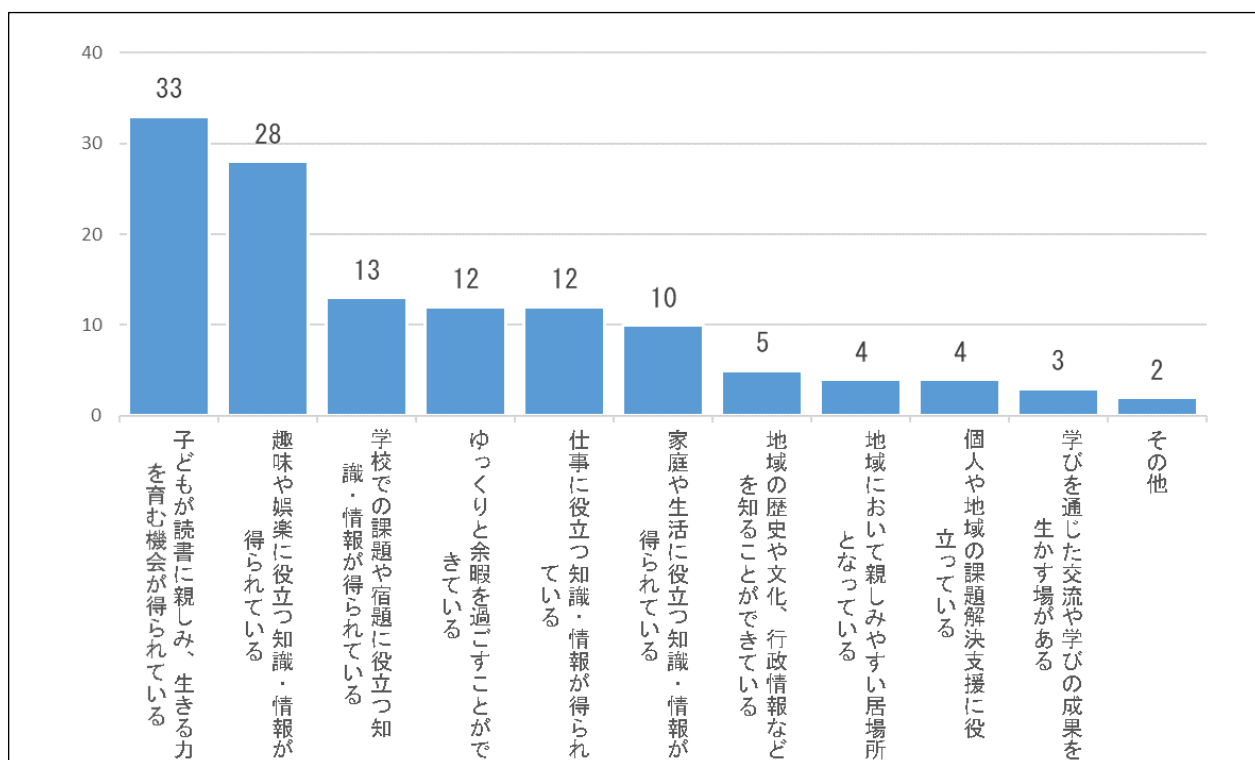
図表 5-13 図書館を利用した主な目的（第1選択上位5項目・主に利用している図書館別）

（5）図書館の利用が役立っていると感じる点

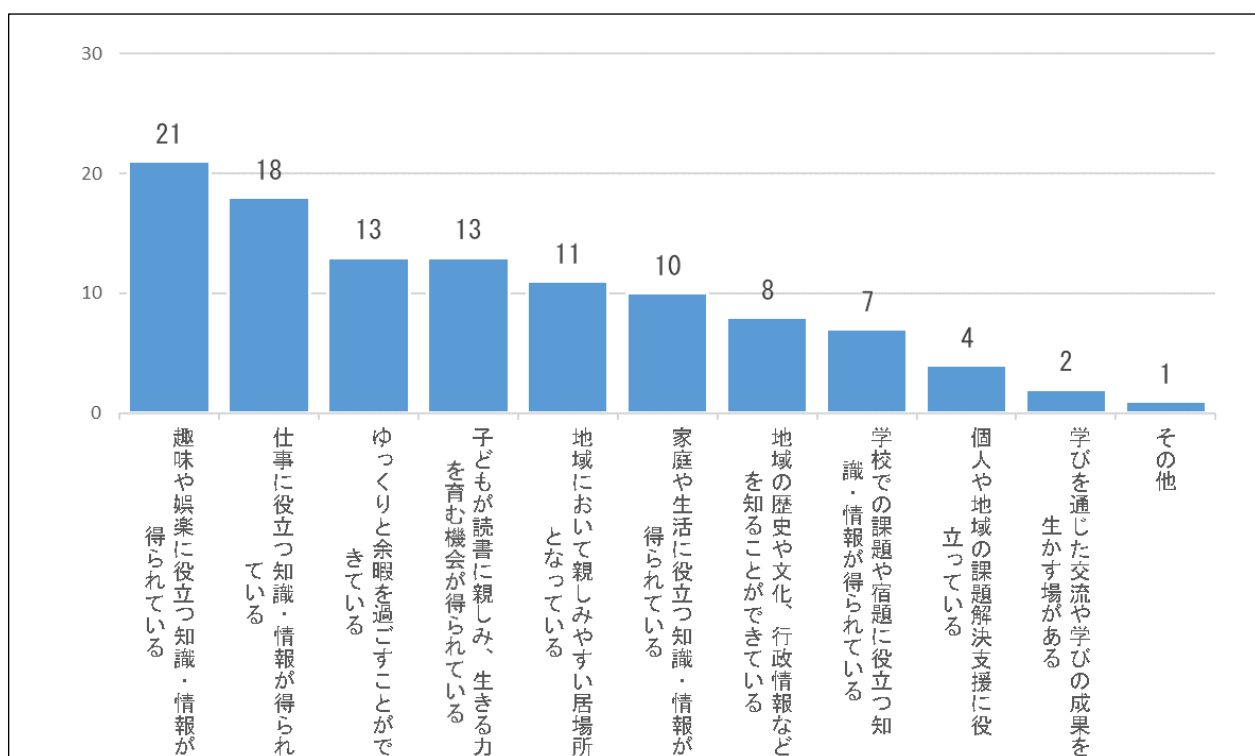
【結果概要】

- 多くの方が、子どもが読書に親しみ、生きる力を育む機会が得られている、趣味や娯楽に役立つ知識・情報が得られていると感じており、図書館が子どもの発達や教育、生活の中で必要な情報を得るための重要な役割を担っていると感じていることが読み取れます。（図表 5-14、5-15 参照）
- 年齢別にみると、30～40 歳代で子どもが読書に親しみ、生きる力を育む機会が得られていると感じている傾向があるなど、年齢によって感じ方に違いがみられました。（図表 5-16）
- 主に利用する図書館別にみると、それぞれの図書館によって役立っていると感じる点に差異がみられました。（図表 5-17 参照）

図表 5-14 によると、「子どもが読書に親しみ、生きる力を育む機会が得られている」と回答した方が最も多く、次いで「趣味や娯楽に役立つ知識・情報が得られている」と回答した方が多くなりました。図表 5-15 によると、第2選択でも「趣味や娯楽に役立つ知識・情報が得られている」と回答した方が最も多くなり、次いで「仕事に役立つ知識・情報が得られている」と回答した方が多くなりました。



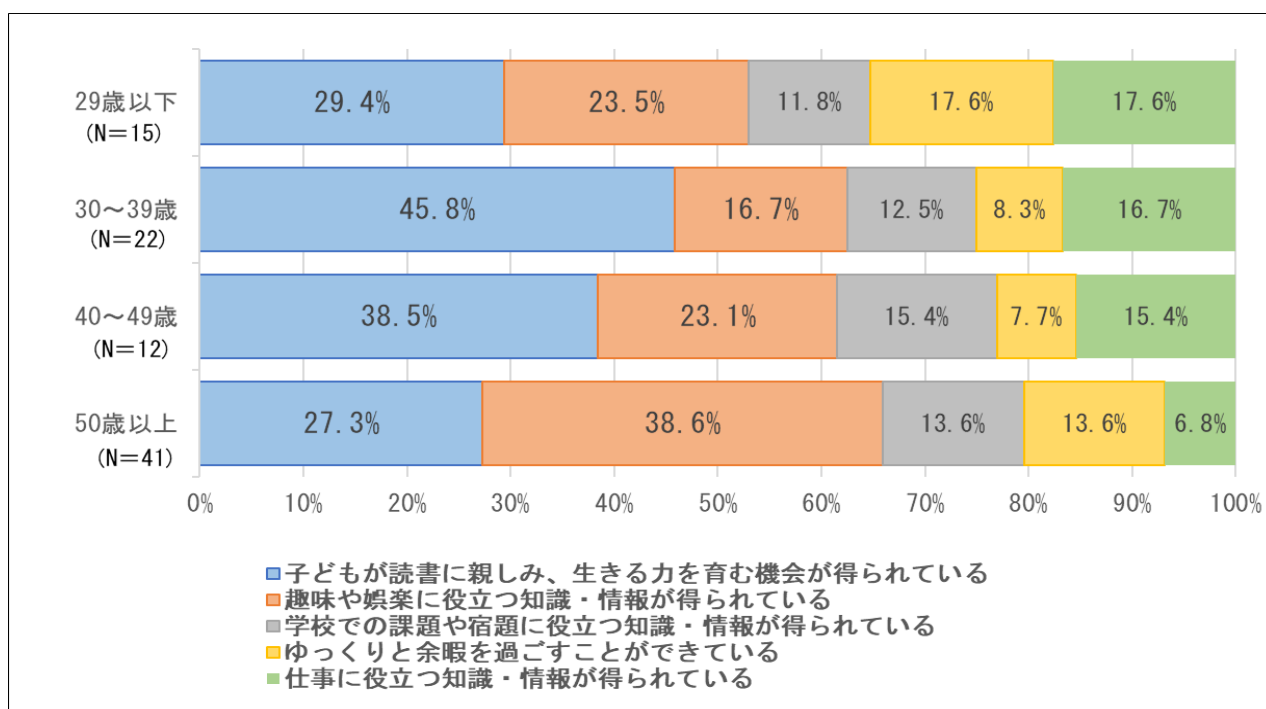
図表 5－14 図書館の利用が役立っていると感じる点（第1選択・単純集計）（N＝126）



図表 5－15 図書館の利用が役立っていると感じる点（第2選択・単純集計）（N＝108）

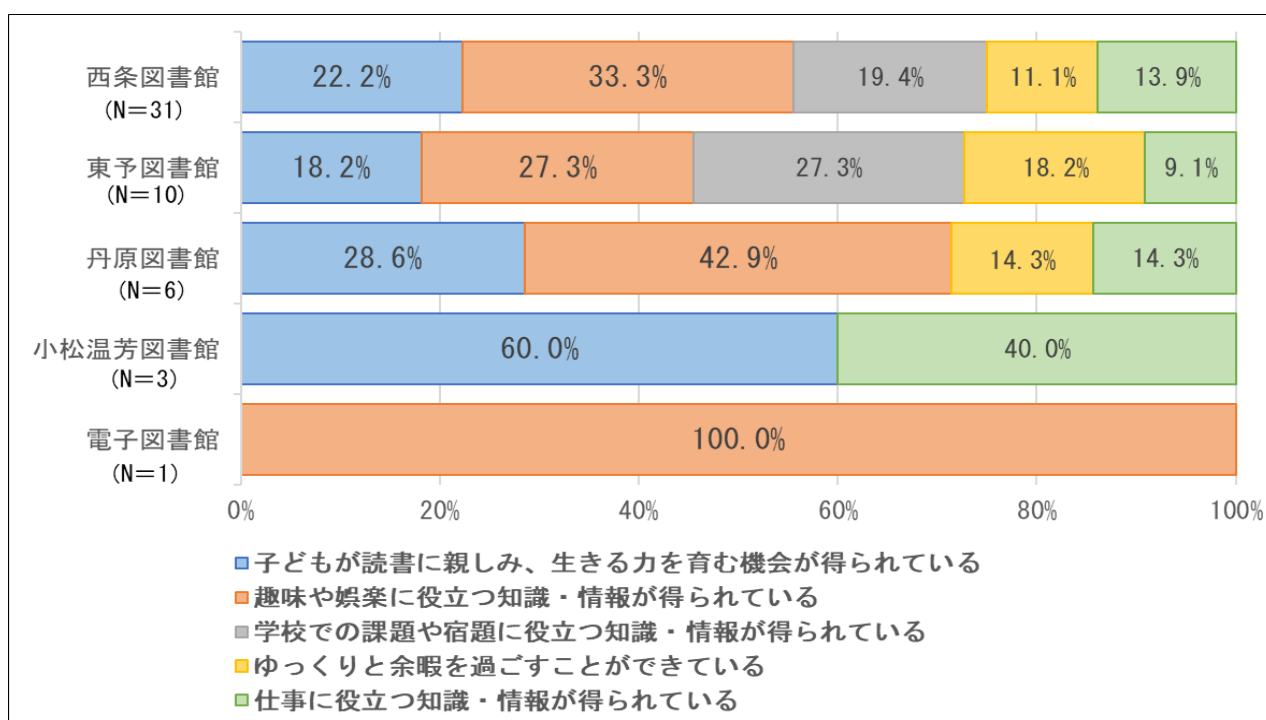
図表 5-16 によると、49 歳以下の年代で「子どもが読書に親しみ、生きる力を育む機会が得られている」と回答した比率が高くなり、特に 30～40 歳代が他の年代と比べて高くなる傾向がみられました。また、50 歳以上では「趣味や娯楽に役立つ知識・情報が得られている」と回答した比率が高くな

りました。



図表 5－16 図書館の利用が役立っていると感じる点（第1選択上位5項目・年齢別）

図表 5-17 によると、電子図書館を除き、西条図書館、東予図書館、丹原図書館で「趣味や娯楽に役立つ知識・情報が得られている」と回答した比率が最も高くなったのに対し、小松温芳図書館は「子どもが読書に親しみ、生きる力を育む機会が得られている」と回答した比率が最も高くなりました。



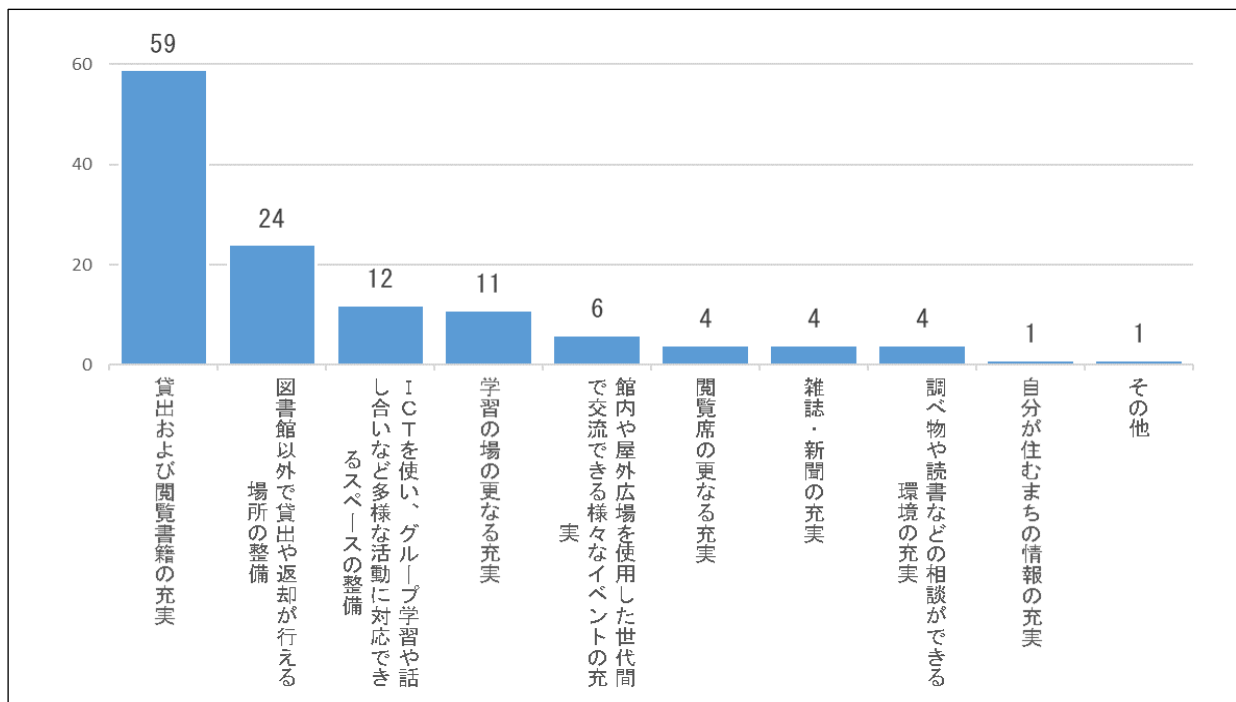
図表 5－17 図書館の利用が役立っていると感じる点
（第1選択上位5項目・主に利用した図書館別）

(6) 図書館に関連して今後期待する点

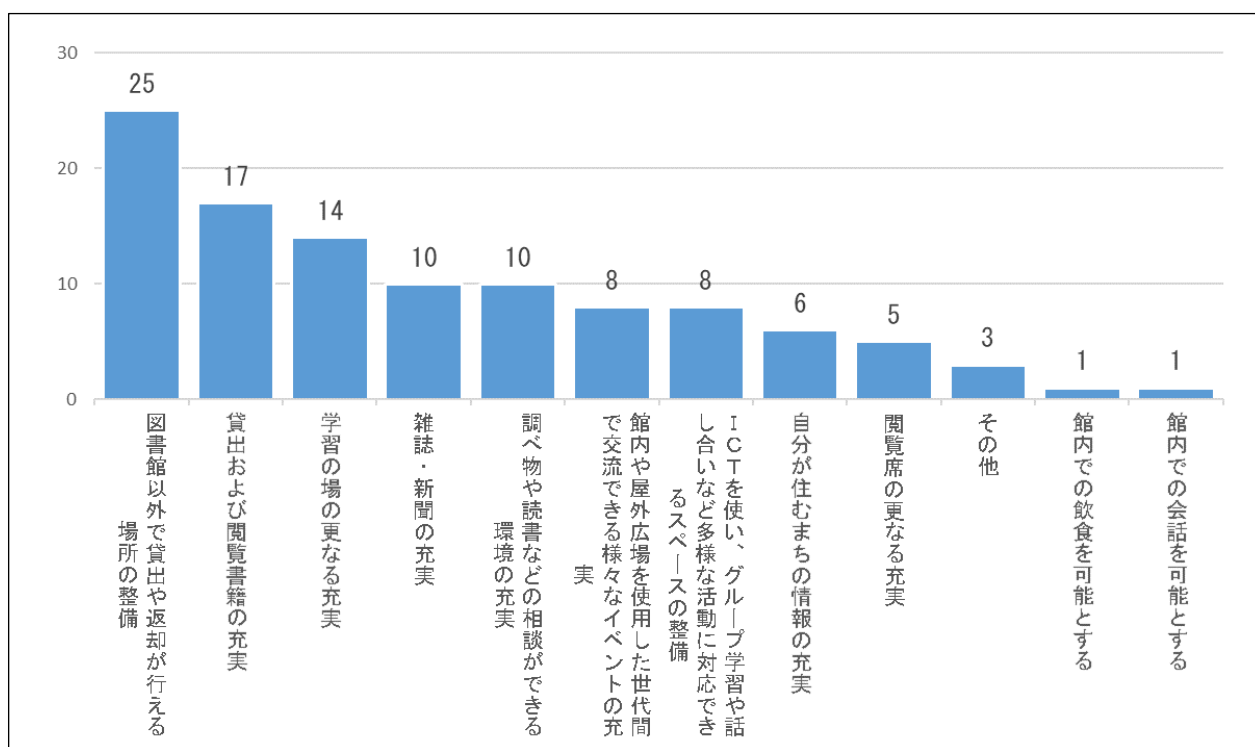
【結果概要】

- 貸出および閲覧書籍の充実、図書館以外で貸出や返却が行える場所の整備に力を入れるべきと回答する方が多くなりました。(図表 5-18、5-19 参照)
- 年齢別にみると、特に 29 歳以下においては、図書館以外で貸出や返却が行える場所の整備を期待する一方で、30 歳以上では書籍の充実を求める傾向がみられました。(図表 5-20 参照)
- 主に利用する図書館別かつ所属する中学校の地区別にみると、全体を通じて書籍の充実を求める傾向がみられます。(図表 5-22、5-23 参照)

図表 5-18、5-19 によると、第 1 選択、第 2 選択とも「貸出および閲覧書籍の充実」「図書館以外で貸出や返却が行える場所の整備」と回答した方が多くなりました。

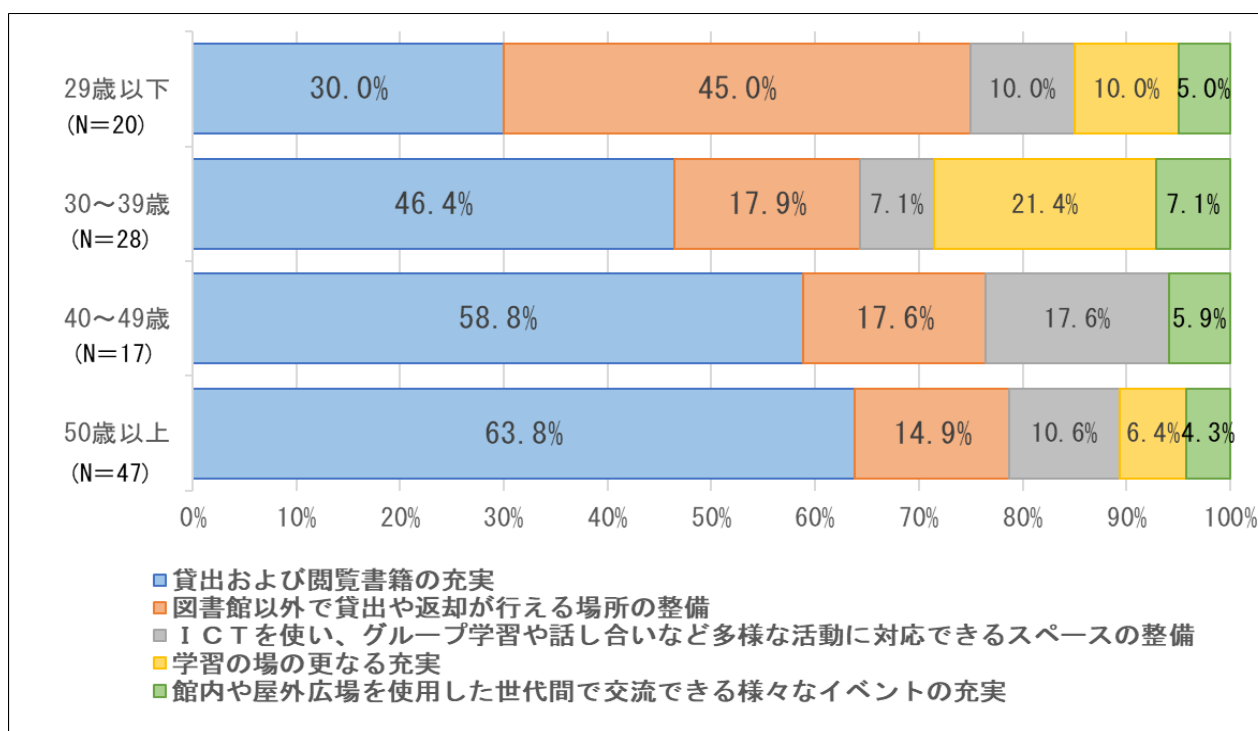


図表 5-18 図書館に関連して今後期待する点 (第 1 選択・単純集計) (N=126)



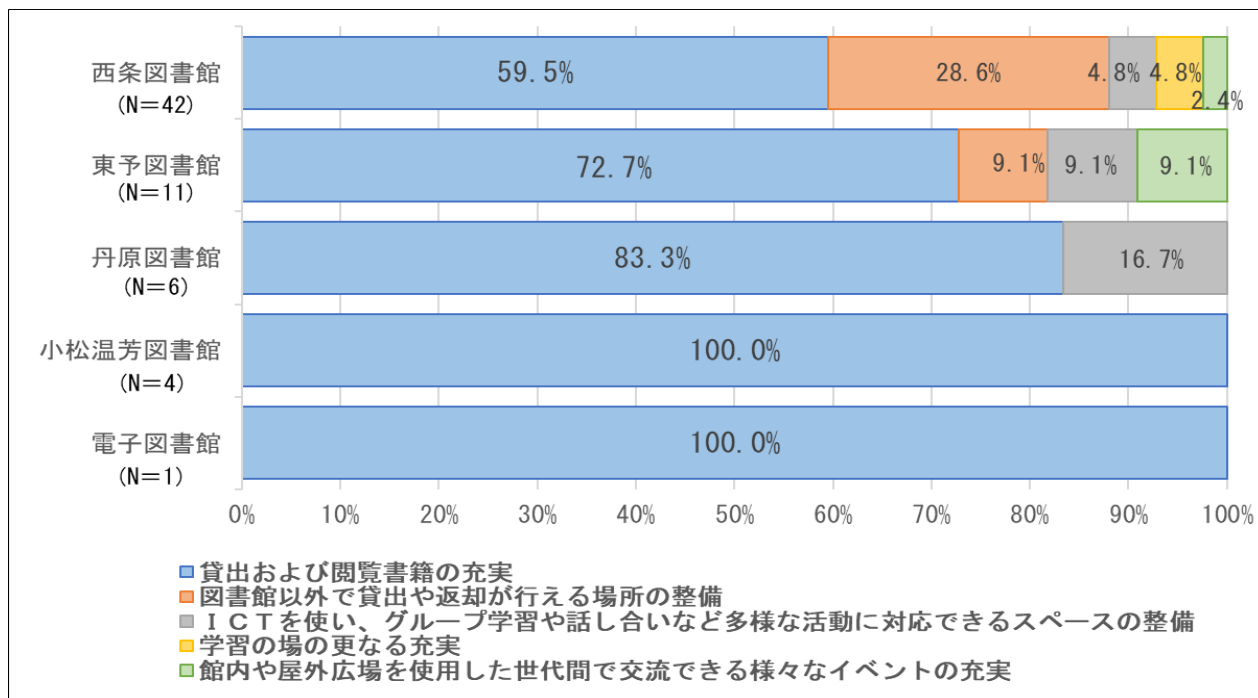
図表 5-19 図書館に関連して今後期待する点（第2選択・単純集計）（N=108）

図表 5-20 によると、30 歳以上の年代で「貸出および閲覧書籍の充実」と回答する比率が最も高くなる一方、29 歳以下では「図書館以外で貸出や返却が行える場所の整備」と回答する比率が最も高くなりました。



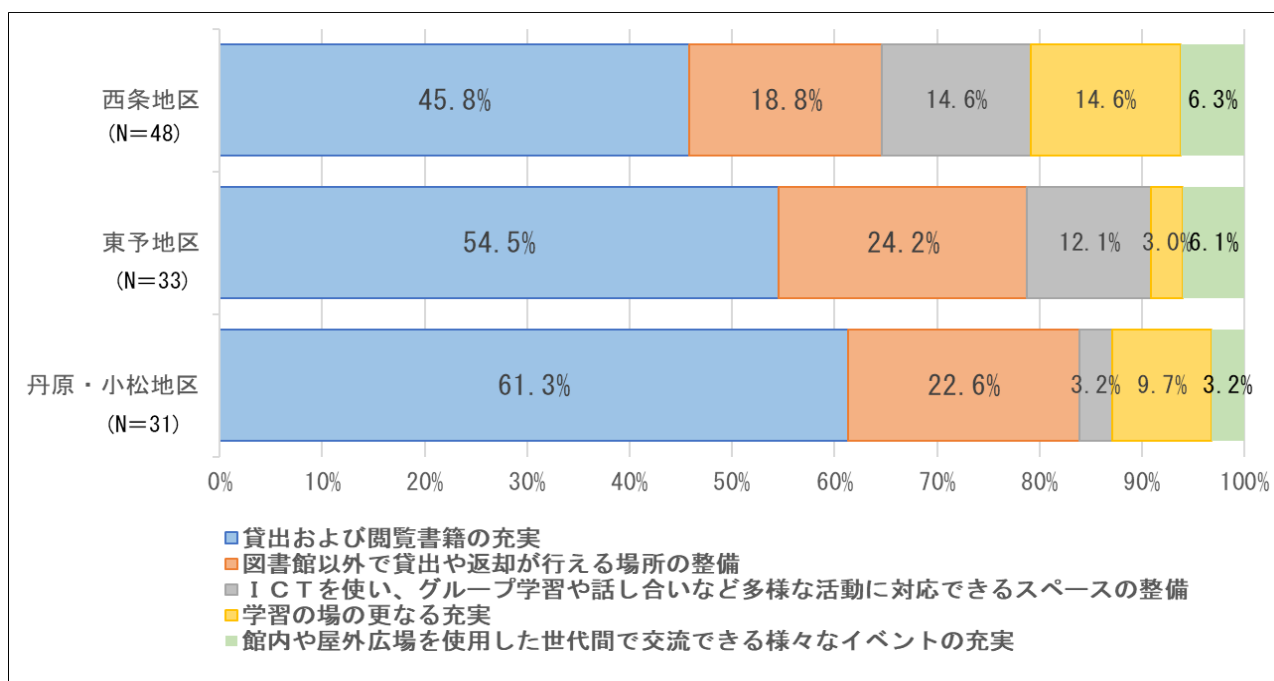
図表 5-20 図書館に関連して今後期待する点（第1選択上位5項目・年齢別）

図表 5-21 によると、主に利用した図書館別では「貸出および閲覧書籍の充実」が最も高くなり、次いで「図書館以外で貸出や返却が行える場所の整備」が高くなりました。西条図書館、東予図書館は「貸出および閲覧書籍の充実」以外を回答した方が一定数みられました。



図表 5-21 図書館に関連して今後期待する点
(第1選択上位5項目・主に利用している図書館別)

図表 5-22 によると、すべての地区を通じて緩やかな傾向の違いがあるものの、大きな差異はみられませんでした。



図表 5-22 図書館に関連して今後力を入れるべき点
(第1選択上位5項目・所属する中学校の地区別)

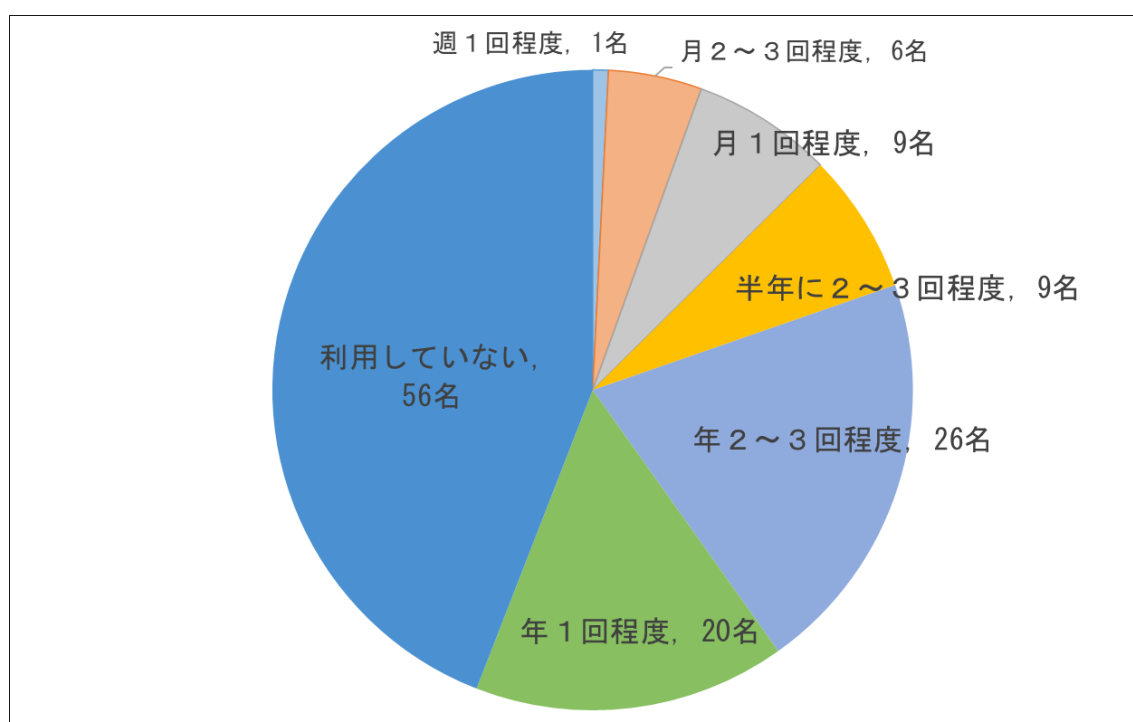
6 公民館について

(1) 中学校教職員における公民館の利用状況

【結果概要】

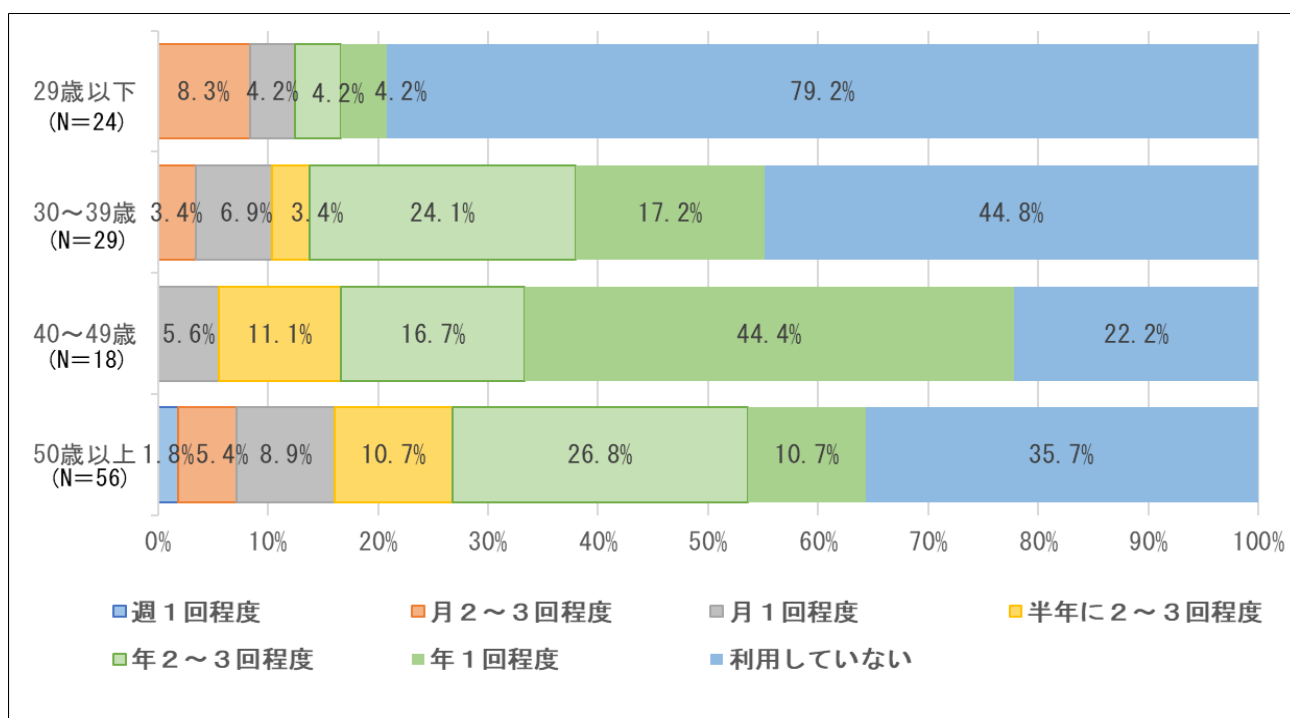
- 公民館を利用していないと回答した方が最も多くなりました。中学校と地域の連携を強化する観点から、いかに教職員にとって利用しやすい公民館としていくのかという点が課題になっていると推察されます。(図表 6-1 参照)
- 年齢別にみると、29 歳以下の方が公民館を利用する機会が少なくなっていることがわかります。また、所属する中学校の地区別にみると、地区によって公民館の利用頻度が異なることがわかります。(図表 6-2, 6-3 参照)
- 中学校の規模が小さいほど、教職員における公民館の利用頻度が高くなる傾向がみられます。地域とのつながりを有する業務が多いことが要因ではないかと推察されます。(図表 6-4 参照)

図表 6-1 によると、公民館を「利用していない」と回答した方が最も多く、次いで「年 2～3 回程度」「年 1 回程度」と回答した方が多くなりました。



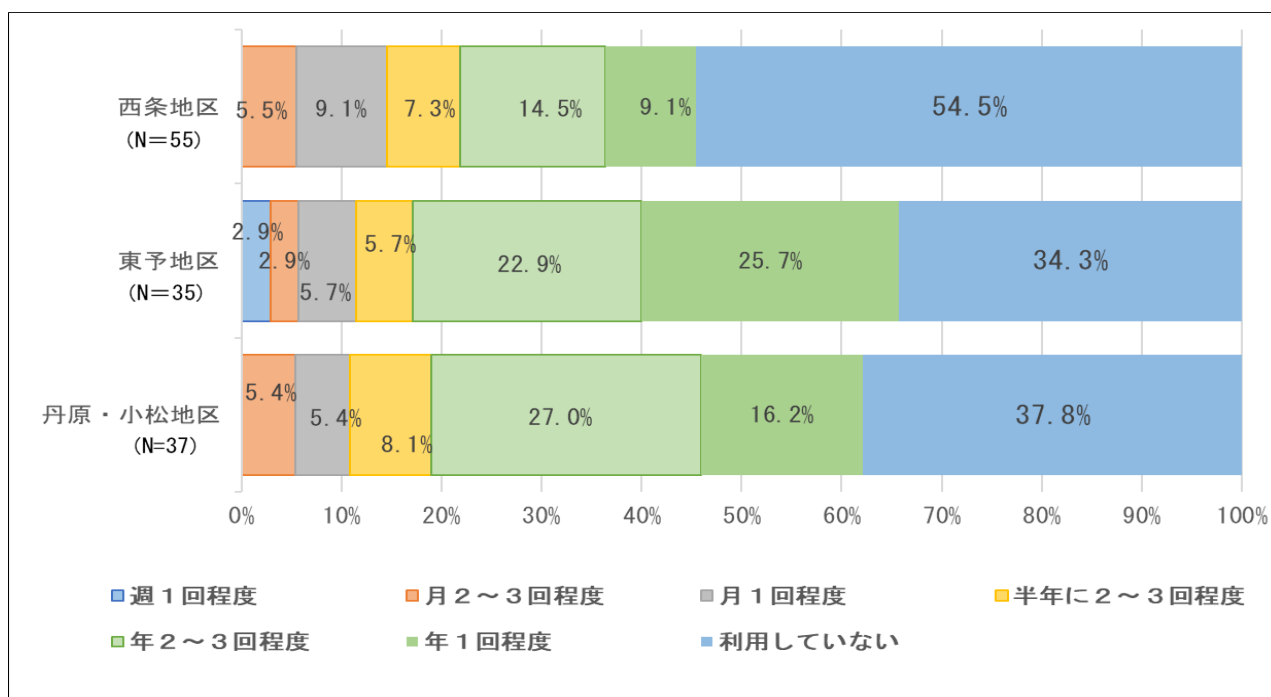
図表 6－1 公民館の利用状況（単純集計）（N＝127）

図表 6-2 によると、29 歳以下で極端に公民館を利用する頻度が少なくなる傾向がみられました。



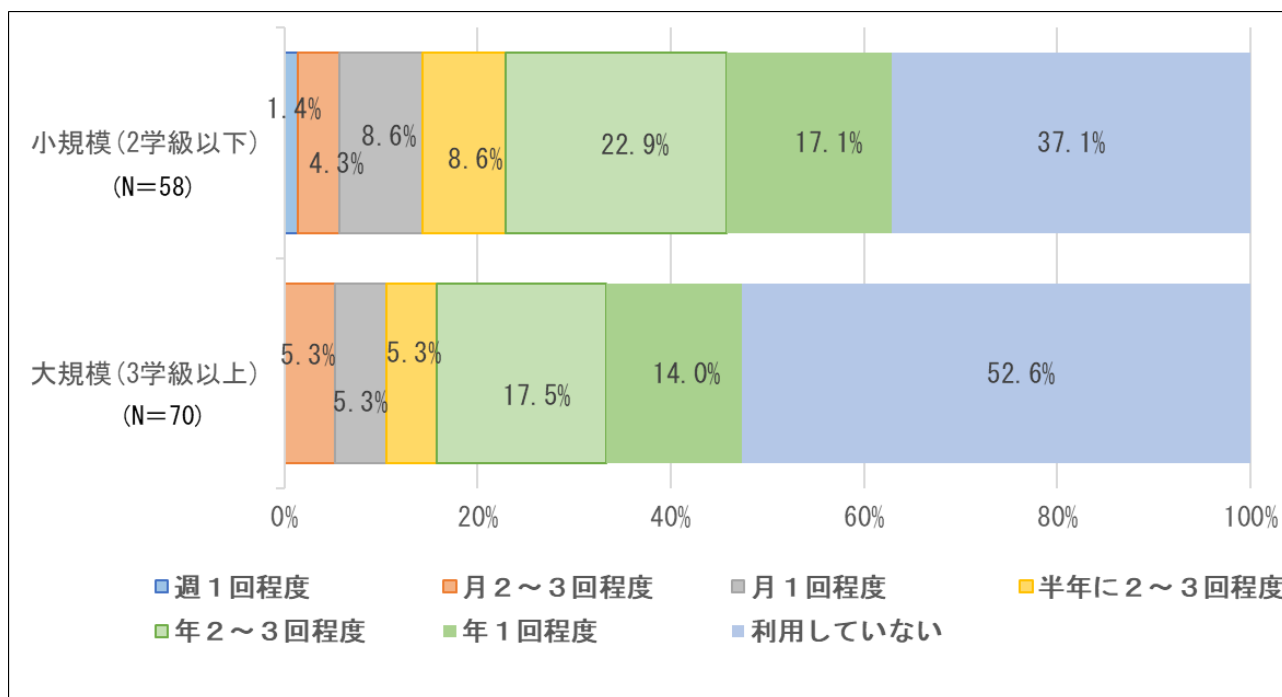
図表 6－2 公民館の利用状況（年齢別）

図表 6-3 によると、西条地区で公民館を利用していないと回答した比率が高くなりました。



図表 6－3 公民館の利用状況（所属する中学校の地区別）

図表 6-4 によると、中学校の規模が小さくなるにつれて、教職員における公民館の利用頻度が高くなる傾向がみられ、中学校の規模が大きくなるにつれて、公民館を利用していないと回答した比率が高くなりました。



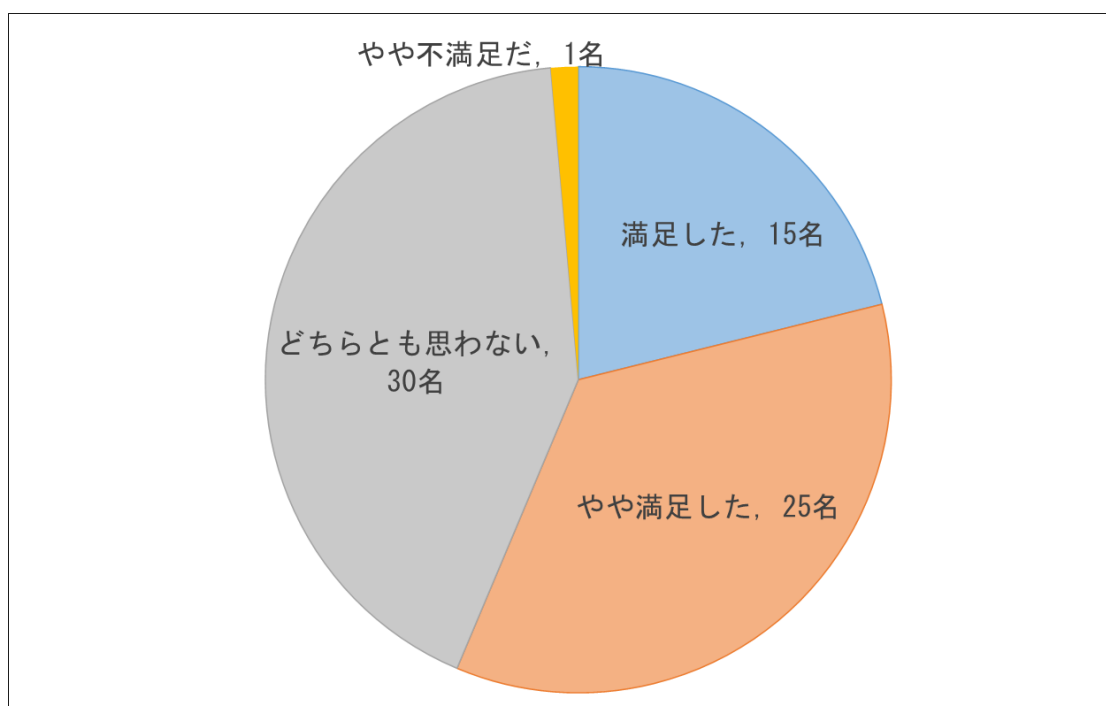
図表 6－4 公民館の利用状況（所属する中学校の3年生規模別）

（2）中学校教職員における公民館の利用環境に対する満足度

【結果概要】

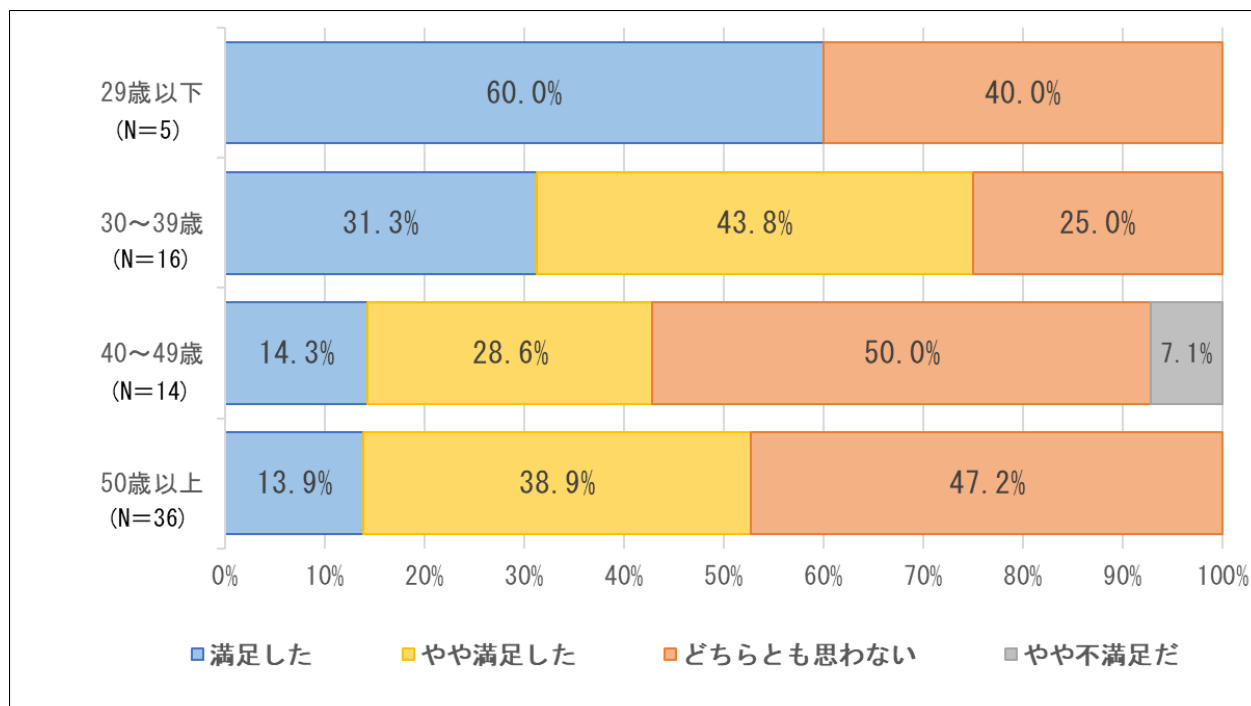
- 公民館を利用したと回答した半数以上の中学校教職員が、公民館の利用環境に「満足している」「やや満足している」結果となりました。（図表 6-5 参照）
- 地区別にみると、東予地区で公民館の利用環境に満足したと回答した比率が低くなる傾向がみられます。何が要因となっているのか分析する必要があると考えられます。（図表 6-7 参照）

図表 6-5 によると、公民館を利用したと回答した中学校教職員のうち、公民館の利用環境に「満足した」「やや満足した」と回答した方が多くなりました。なお、「不満足だ」と回答した方はいませんでした。



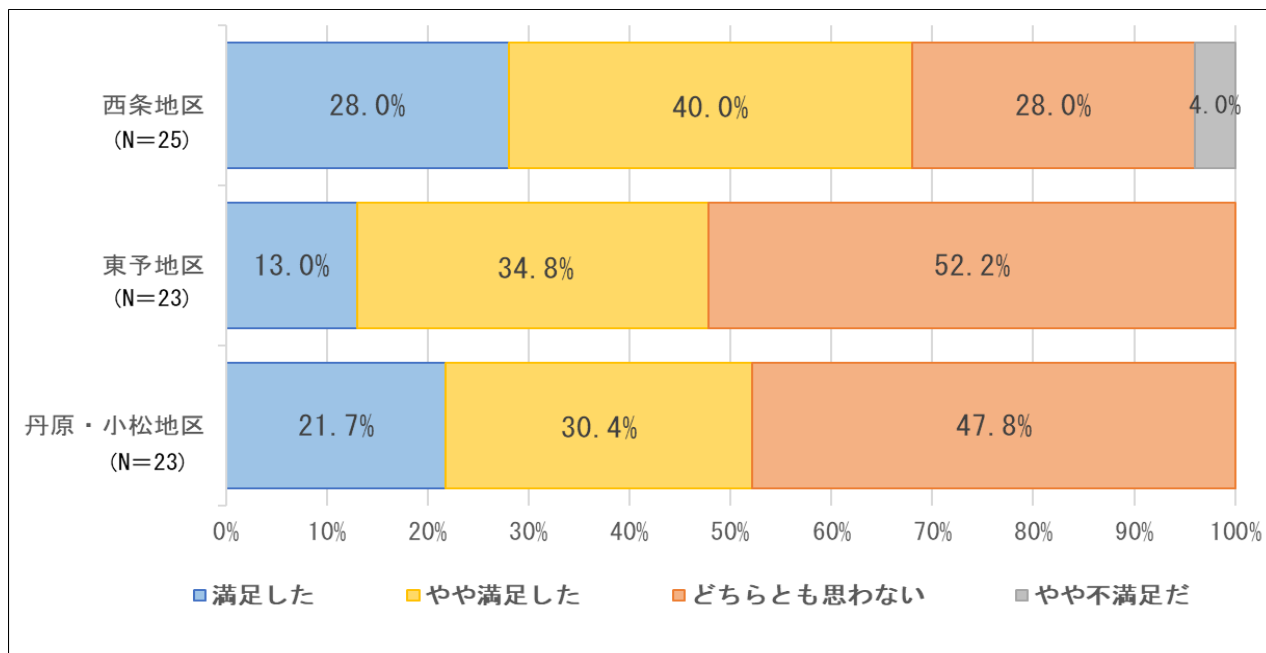
図表 6－5 公民館の利用環境に対する満足度（単純集計）（N＝71）

図表 6-6 によると、公民館を利用したと回答した中学校教職員のうち、29 歳以下と 30～39 歳において、公民館の利用環境に「満足した」「やや満足した」と回答した比率が高くなる傾向がみられました。



図表 6－6 公民館の利用環境に対する満足度（年齢別）

図 6-7 によると、公民館を利用したと回答した中学校教職員のうち、西条地区で「満足した」「やや満足した」と回答した比率が高くなる一方で、東予地区は「満足した」と回答した比率が低くなる傾向がみられました。



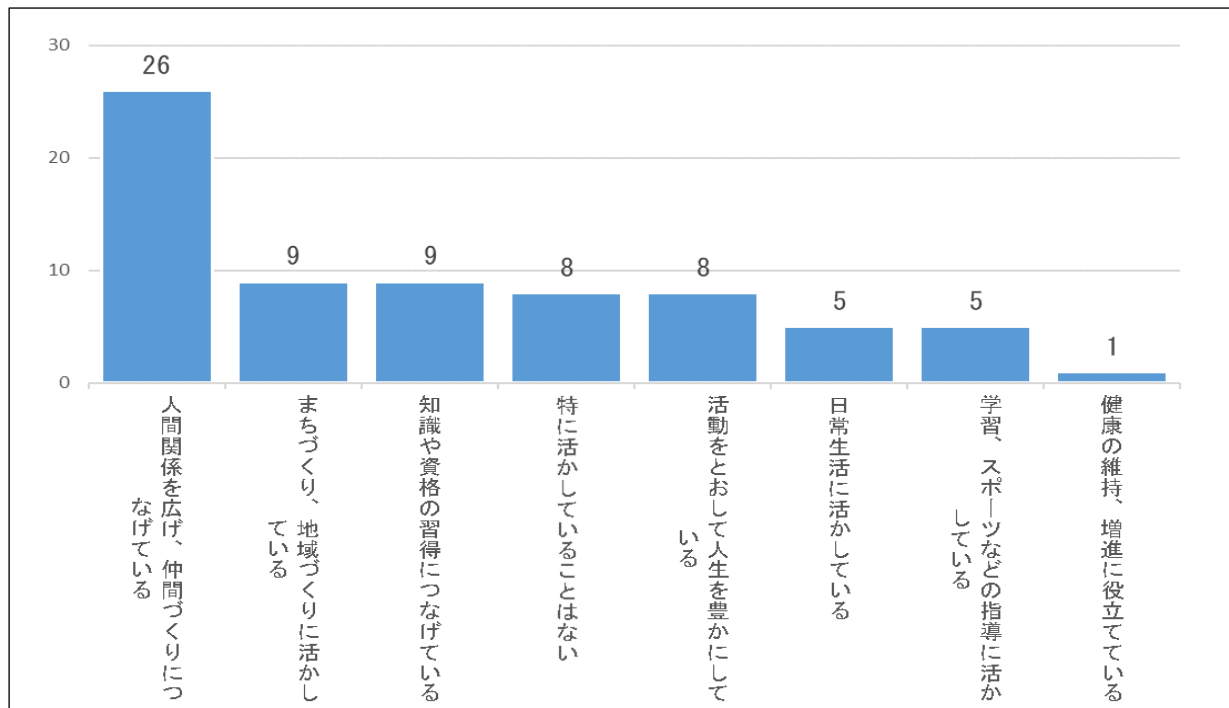
図表 6-7 公民館の利用環境に対する満足度（所属する中学校の地区別）

（３）中学校教職員が公民館活動を通じて身に付けた知識・技術

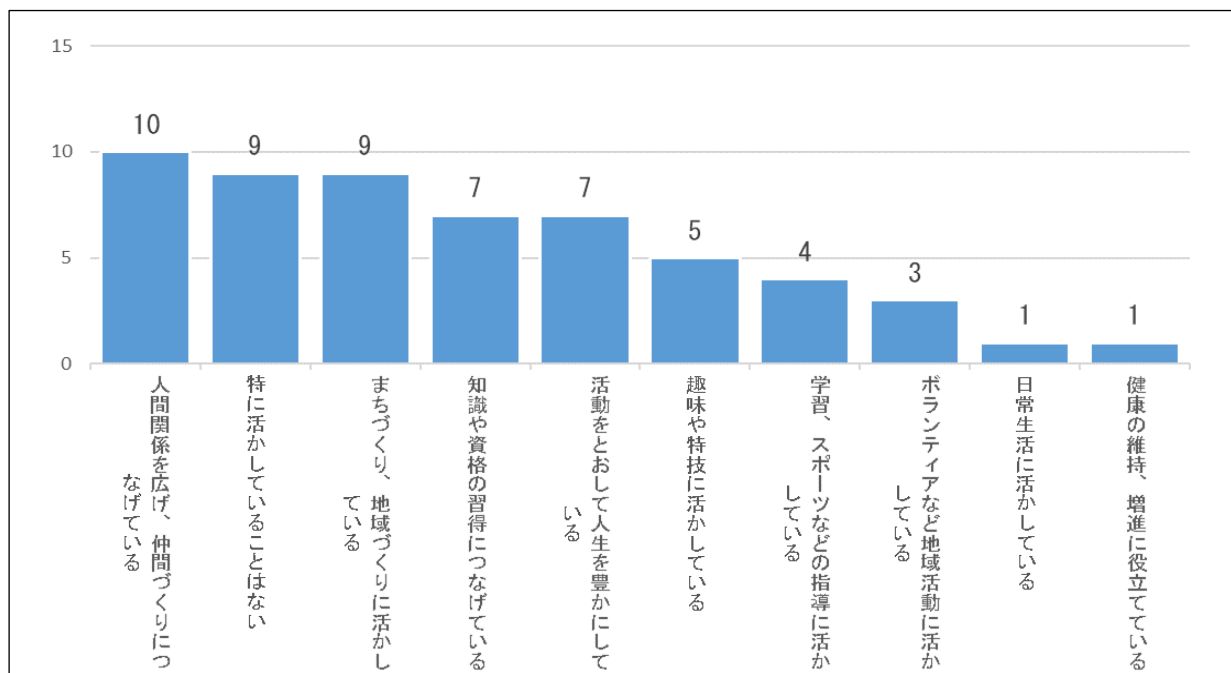
【結果概要】

- 公民館を利用した教職員は、公民館活動を通じて、人間関係を広げ、仲間づくりにつなげている、まちづくり、地域づくりに活かしていると回答した方が多くなりました。（図表 6-8、6-9 参照）
- 年齢や所属する中学校の地区によって、回答した比率にばらつきがありました。（図表 6-10、6-11 参照）

図表 6-8、6-9 によると、第 1 選択、第 2 選択とも「人間関係を広げ、仲間づくりにつなげている」と回答した方が多くなりました。



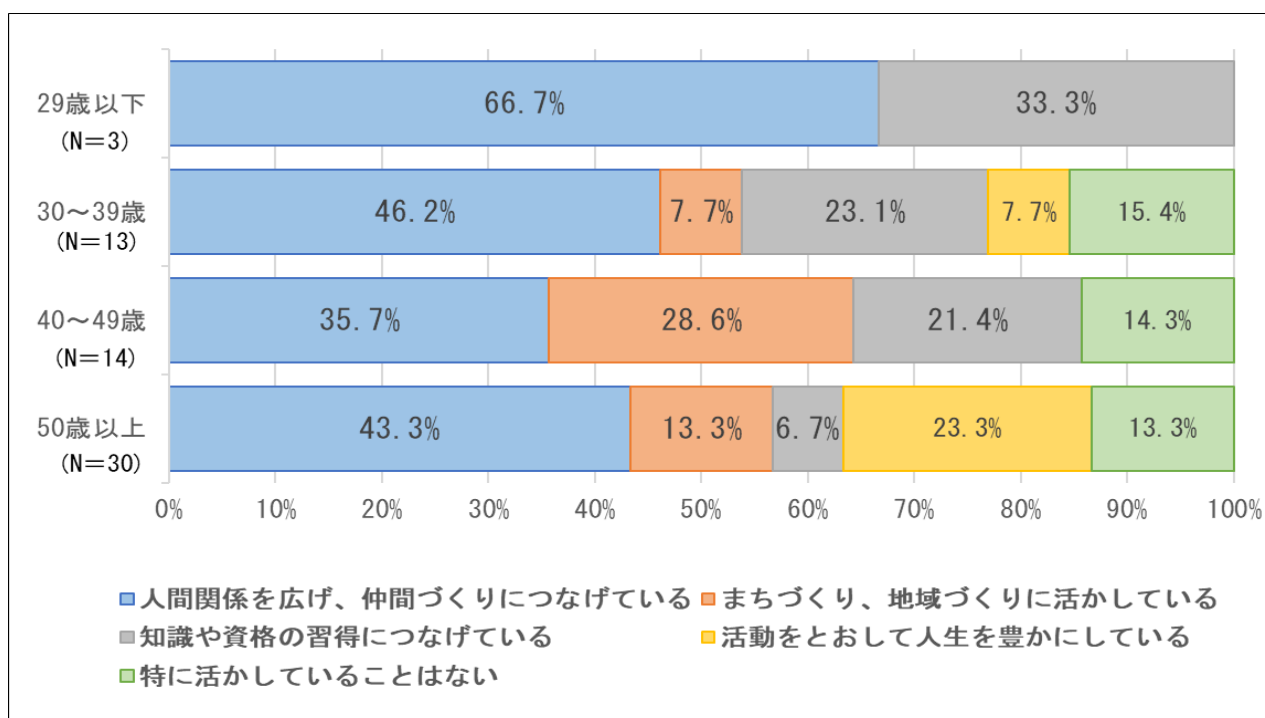
図表 6－8 中学校教職員が公民館活動を通じて身に付けた知識・技術
(第1選択・単純集計)(N＝71)



図表 6－9 中校教職員が公民館活動を通じて身に付けた知識・技術
(第2選択・単純集計)(N＝56)

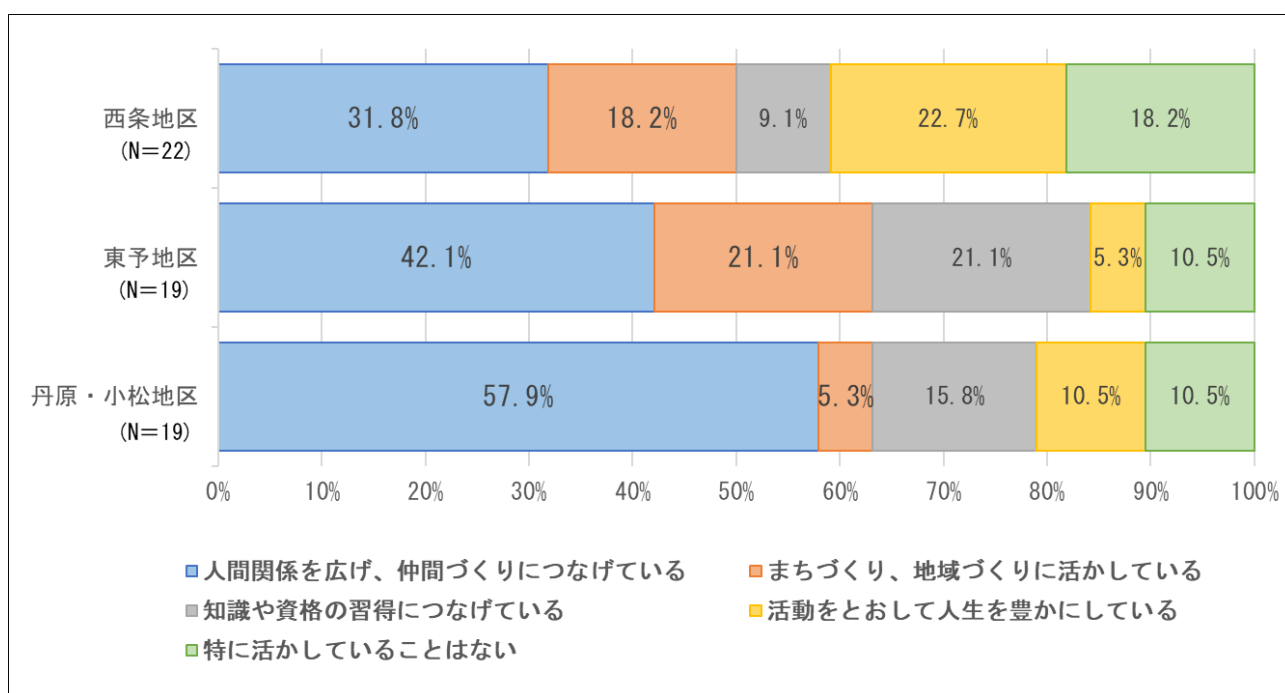
図表 6-10 よると、すべての年代で「人間関係を広げ、仲間づくりにつなげている」と回答した比率が最も高くなりました。次いで、39 歳以下は「知識や資格の習得につなげている」、40～49 歳は「ま

ちづくり、地域づくりに活かしている」、50 歳以上は「活動をとおして人生を豊かにしている」と回答した比率がそれぞれ高くなりました。



図表 6-10 中学校教職員が公民館活動を通じて身に付けた知識・技術
(第1選択上位5項目・年齢別)

図表 6-11 によると、すべての地区で「人間関係を広げ、仲間づくりにつなげている」と回答した比率が最も高くなりましたが、西条地区、東予地区では、それ以外の回答比率も高く、地区によりばらつきがありました。



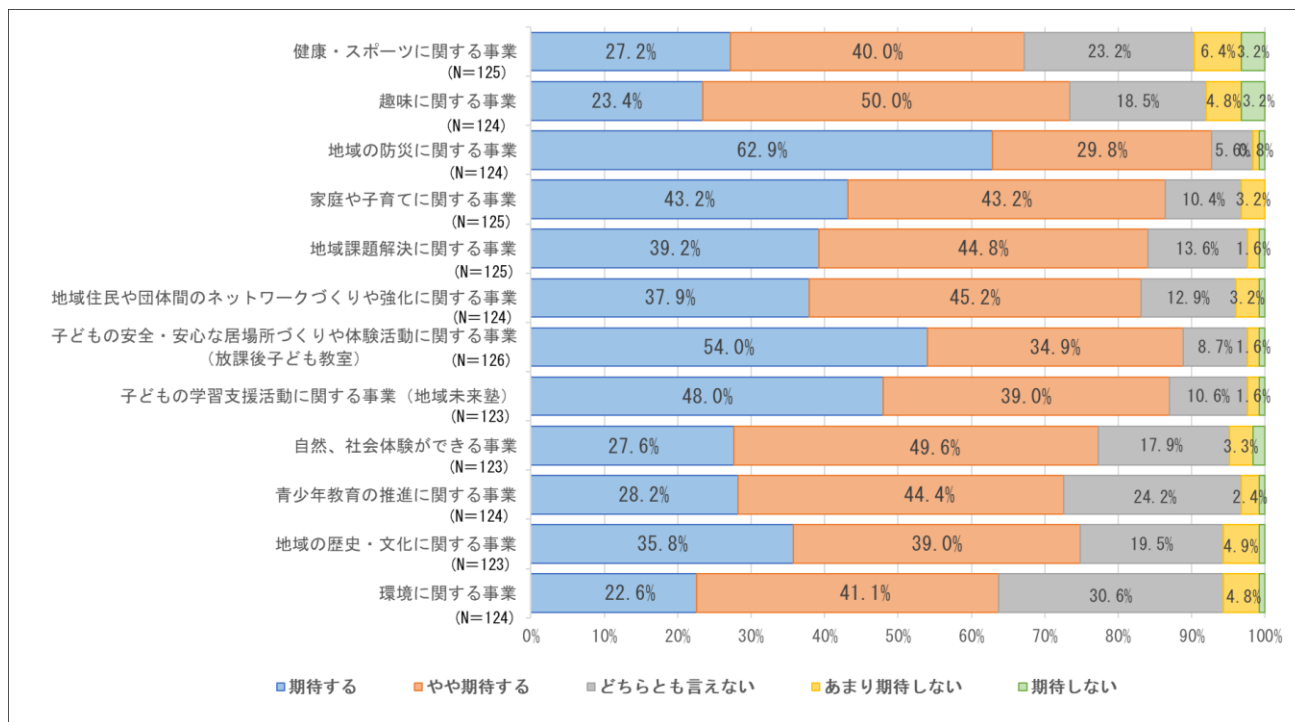
図表 6-11 中学校教職員が公民館活動を通じて身に付けた知識・技術
(第1選択上位5項目・所属する中学校の地区別)

(4) 中学校教職員が公民館に期待する事業

【結果概要】

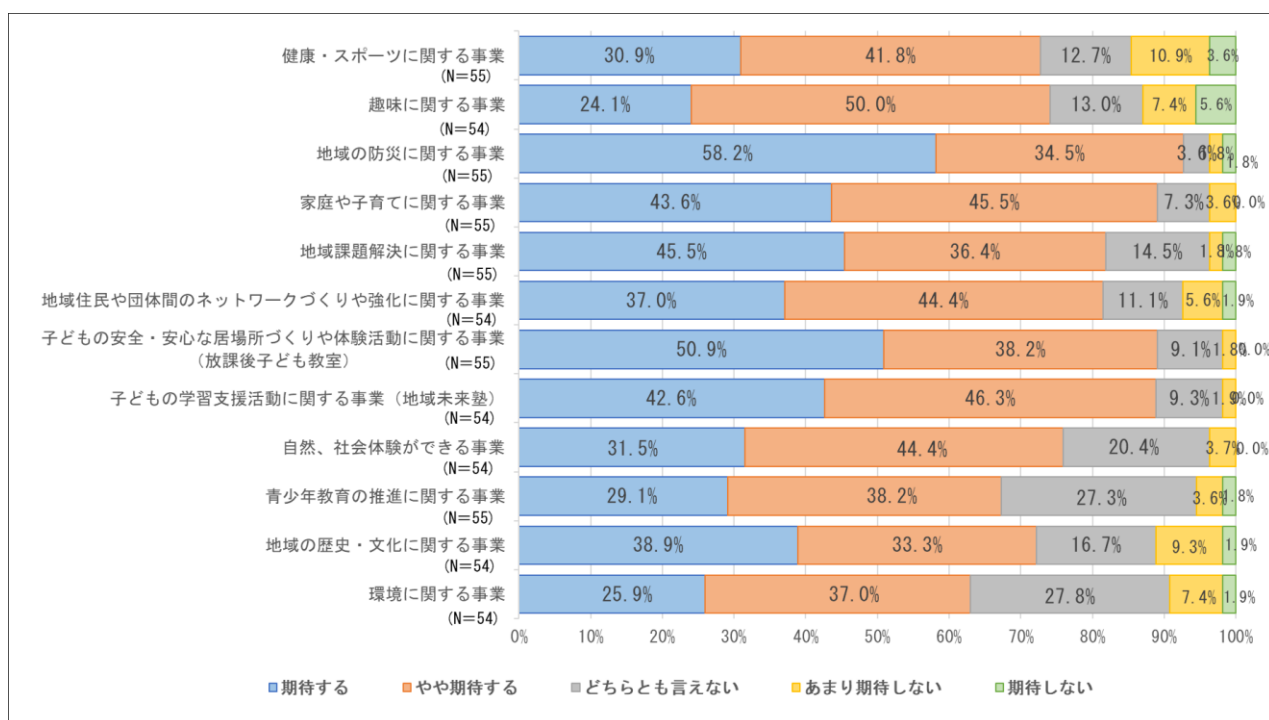
- 全体を通して、地域の防災に関する事業に対する期待が最も高くなりました。(図表 6-12、6-13、6-14、6-15 参照)
- 所属する中学校の地区別にみると、すべての地区で概ね同様の傾向がみられました。(図表 6-13、6-14、6-15 参照)

図表 6-12 によると、「地域の防災に関する事業」に対する期待が最も高くなり、次いで「子どもの安全・安心な場所づくりや体験活動に関する事業（放課後子ども教室）」「子どもの学習支援活動に関する事業（地域未来塾）」に対する期待が高くなりました。

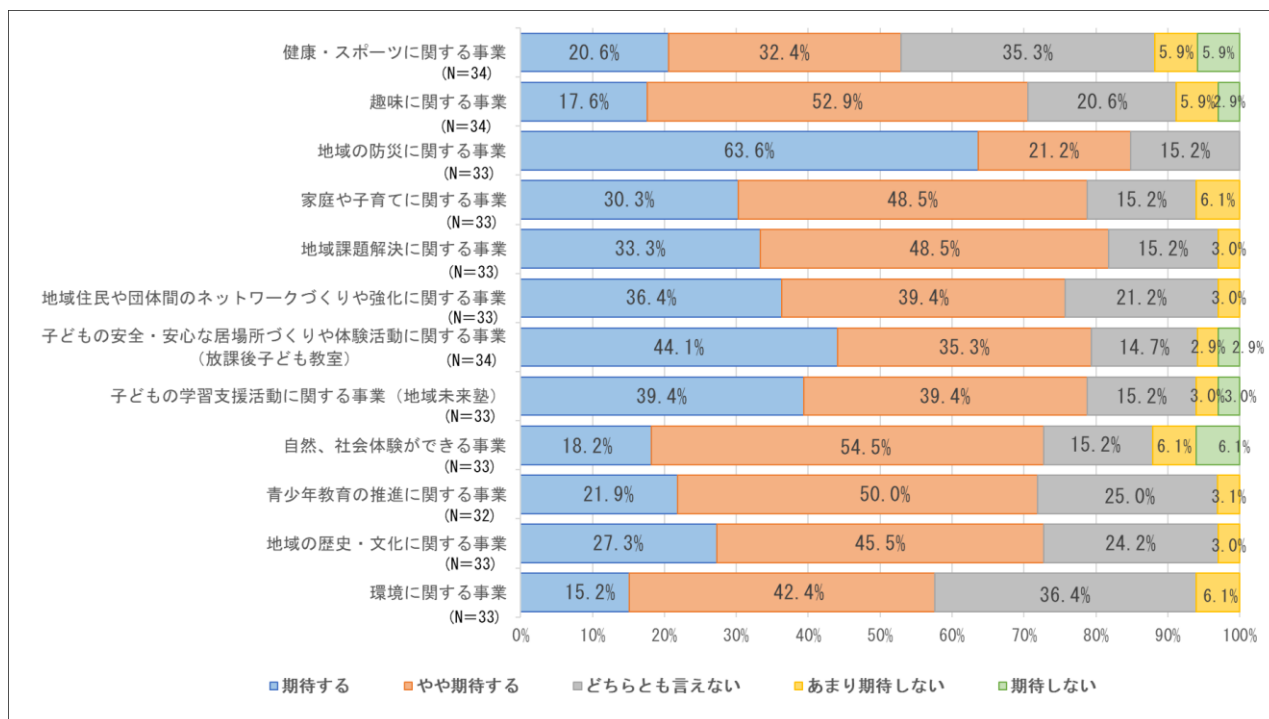


図表 6-12 公民館における事業別期待度（単純集計）

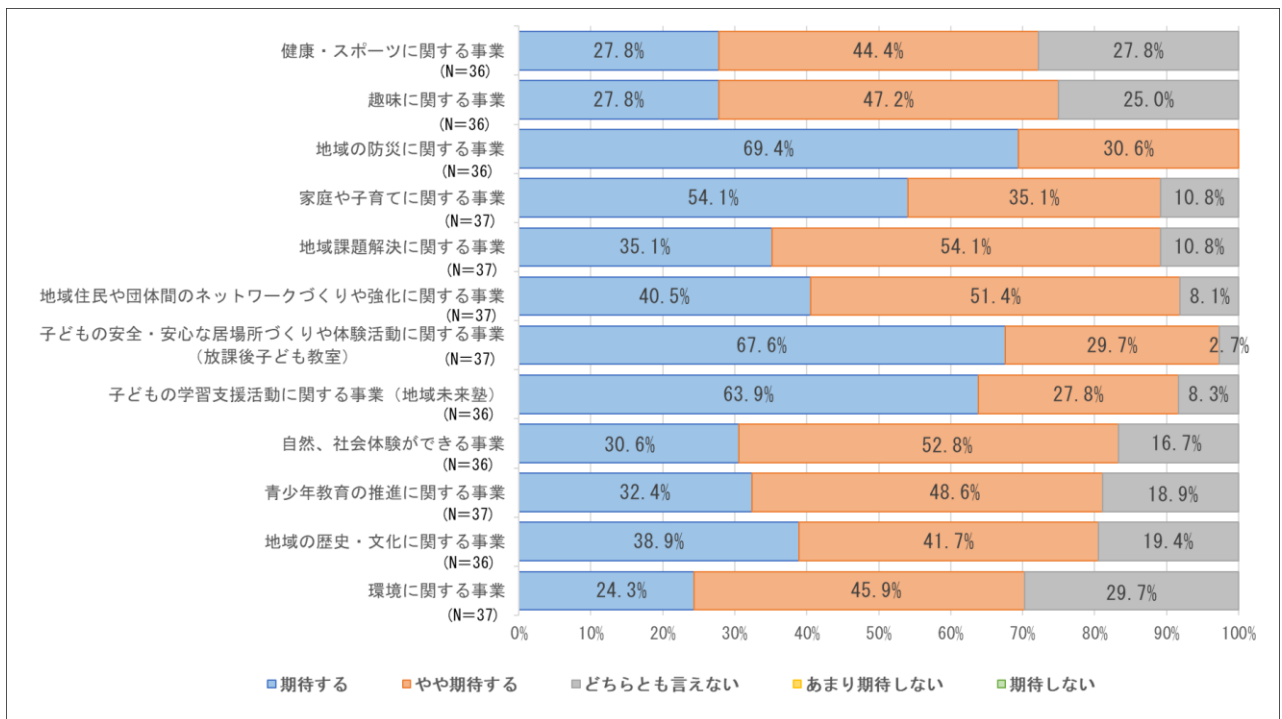
図表 6-13、6-14、6-15 によると、すべての地区を通じて概ね同様の傾向がみられました。



図表 6-13 公民館における事業別期待度（西条地区）



図表 6-14 公民館における事業別期待度（東予地区）



図表 6－15 公民館における事業別期待度（丹原・小松地区）

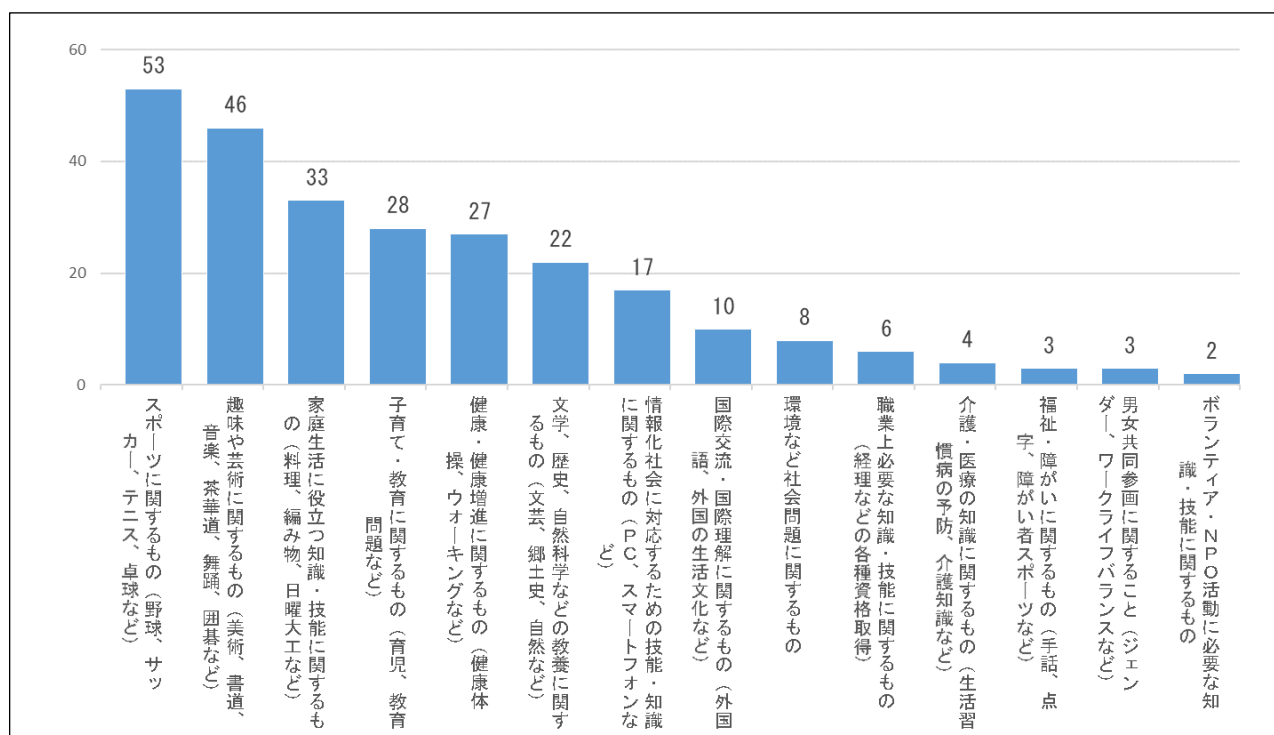
7 生涯学習・文化芸術・歴史文化について

【結果概要】

- 中学校教職員が取り組んでいる生涯学習としては、スポーツに関するもの（野球、サッカー、テニス、卓球など）が多く、また、今後取り組みたい生涯学習は、趣味や芸術、健康増進に関連するものが多くなりました。（図表 7-1、7-2 参照）
- 文化芸術に触れる機会について、所属する中学校の地区別で大きな差異はなく、全体として「映画や漫画・アニメなどのメディア芸術」「小説や詩などの文学」の充実度が高くなる一方、「歌舞伎などの芸術芸能」に触れる機会の充実度が低い傾向がみられました。（図表 7-4、7-5、7-6、7-7 参照）

（１）中学校教職員が取り組んでいる生涯学習の内容（３つまで選択可）

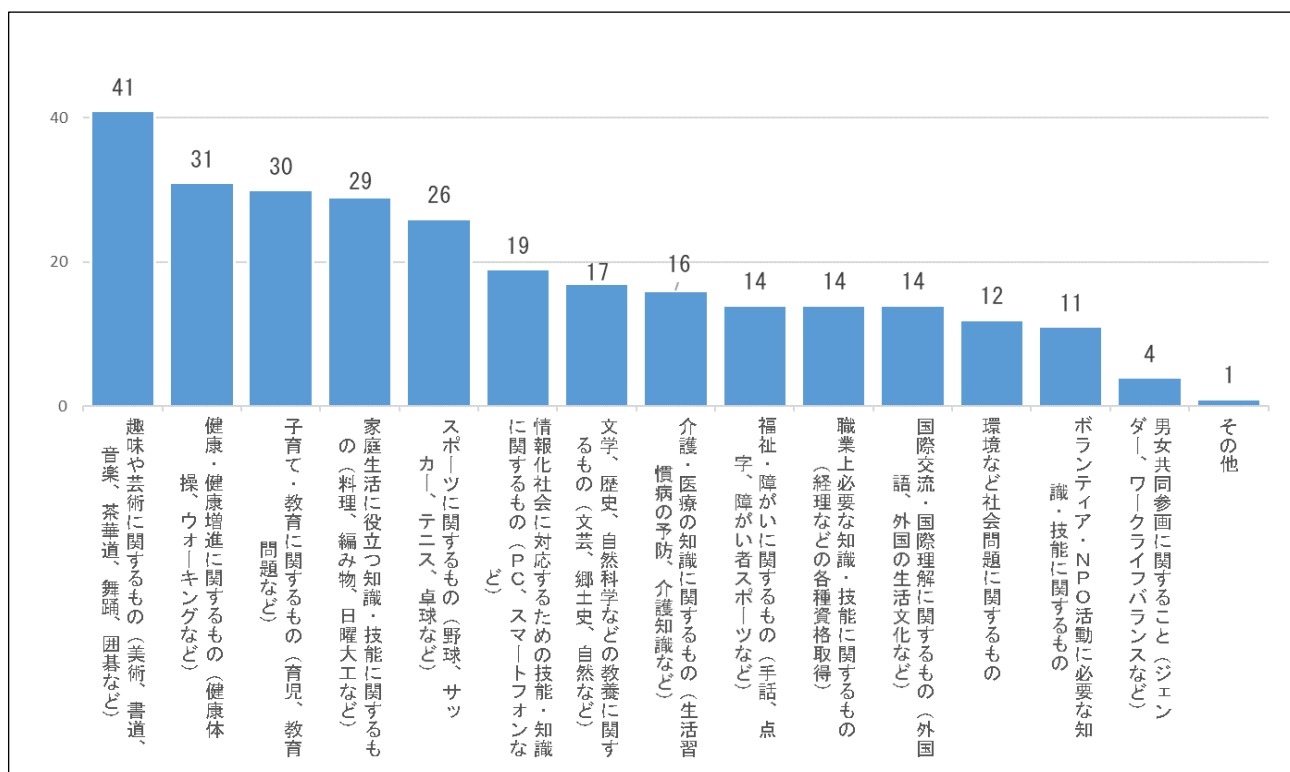
図表 7-1 によると、「スポーツに関するもの（野球、サッカー、テニス、卓球など）」と回答した方が最も多くなり、次いで「趣味や芸術に関するもの（美術、書道、音楽、茶華道、舞踊、囲碁など）」と回答した方が多くなりました。



図表 7-1 中学校教職員が取り組んでいる生涯学習の内容（単純集計）（N = 124）

（２）中学校教職員が今後取り組みたい生涯学習の内容（３つまで選択可）

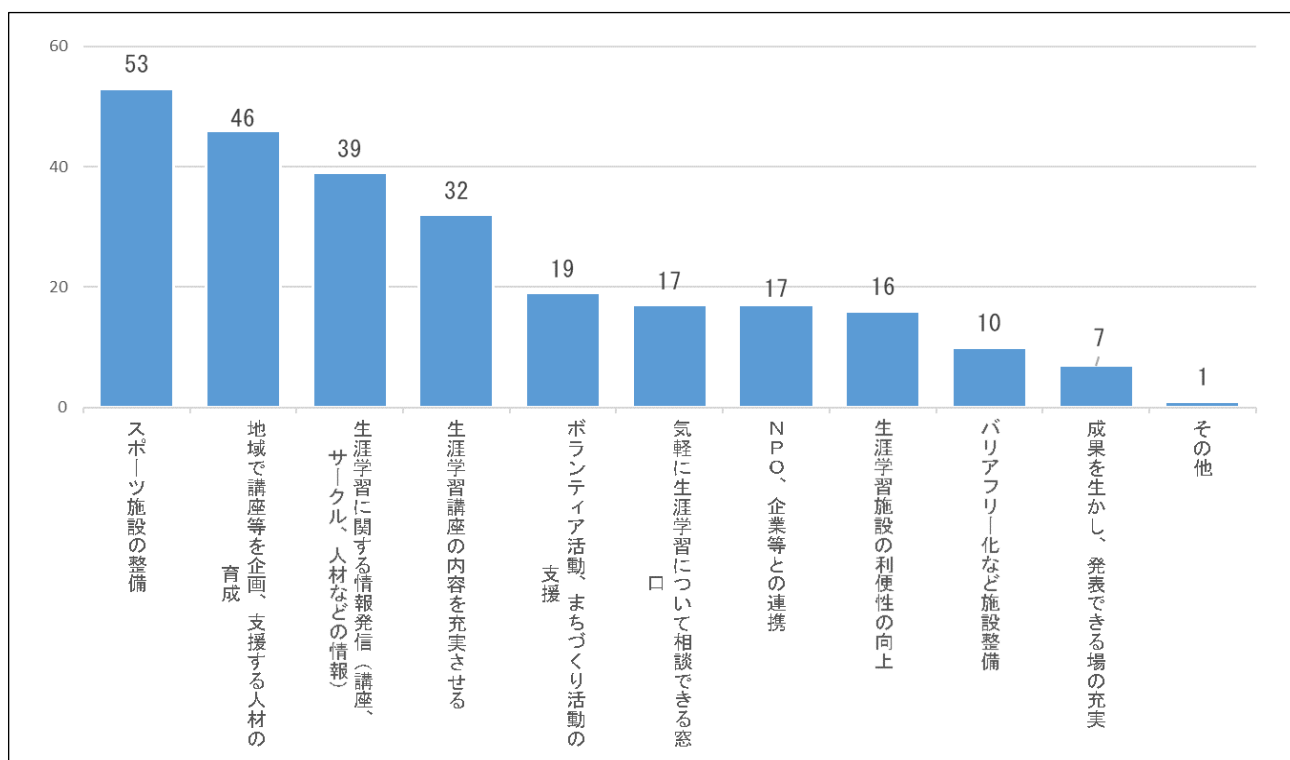
図表 7-2 によると、「趣味や芸術に関するもの（美術、書道、音楽、茶華道、舞踊、囲碁など）」と回答した方が最も多くなり、次いで「健康・健康増進に関するもの（健康体操、ウォーキングなど）」と回答した方が多くなりました。



図表 7-2 中学校教職員が今後取り組みたい生涯学習の内容（単純集計）（N = 123）

（3）中学校教職員が生涯学習を盛んにするために力を入れたらいいと思うこと（3つまで選択可）

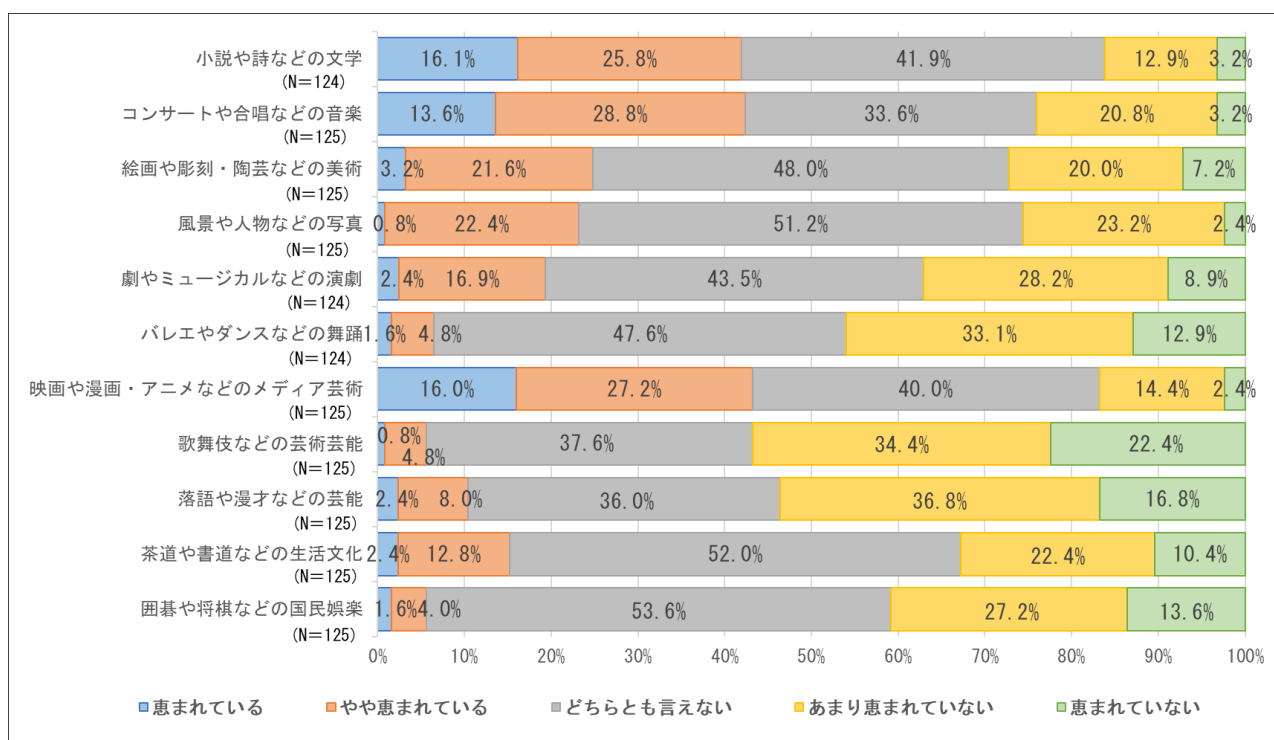
図表 7-3 によると、「スポーツ施設の整備」と回答した方が最も多くなり、次いで「地域で講座等を企画、支援する人材の育成」「生涯学習に関する情報発信（講座、サークル、人材などの情報）」と回答した方が多くなりました。



図表 7-3 中学校教職員が生涯学習を盛んにするために力を入れたらいいと思うこと
(単純集計) (N=124)

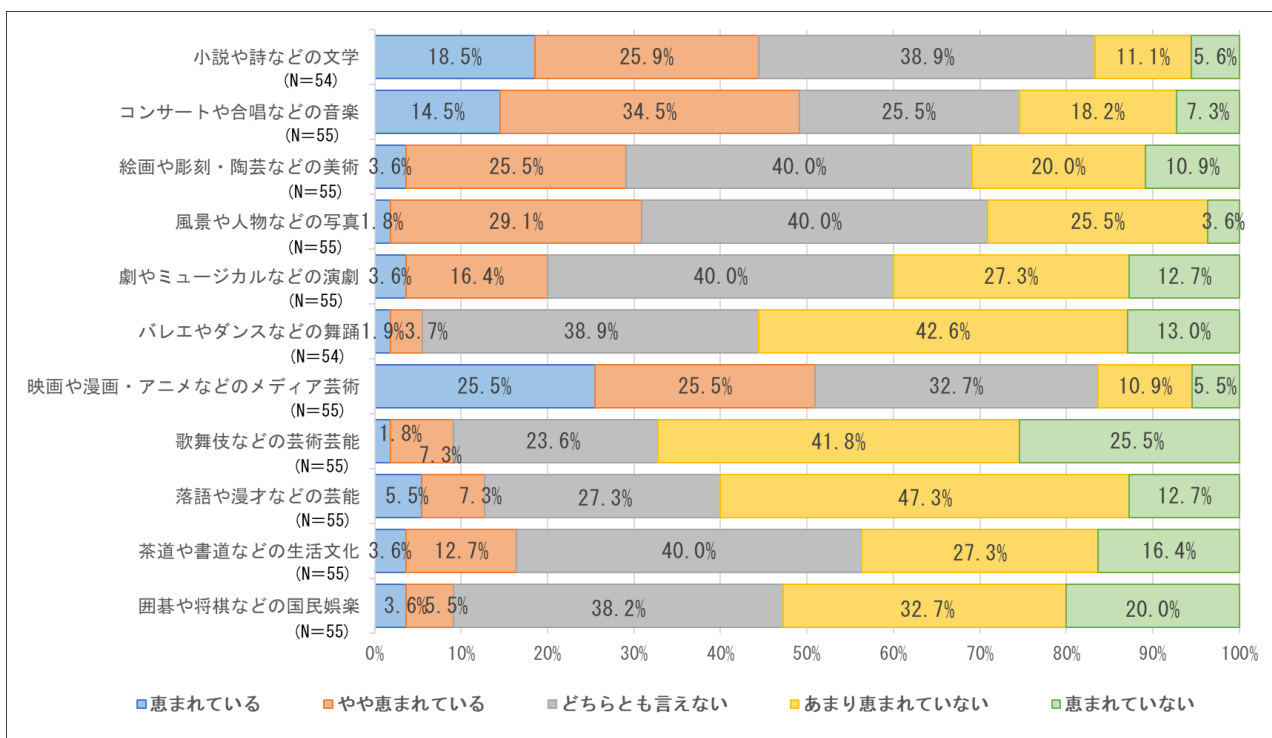
(4) 中学校教職員の文化芸術に触れる機会の充実度

図表 7-4 によると、「映画や漫画・アニメなどのメディア芸術」に触れる機会の充実度が最も高くなり、次いで「コンサートや合唱などの音楽」「小説や詩などの文学」に触れる機会の充実度が高くなりました。

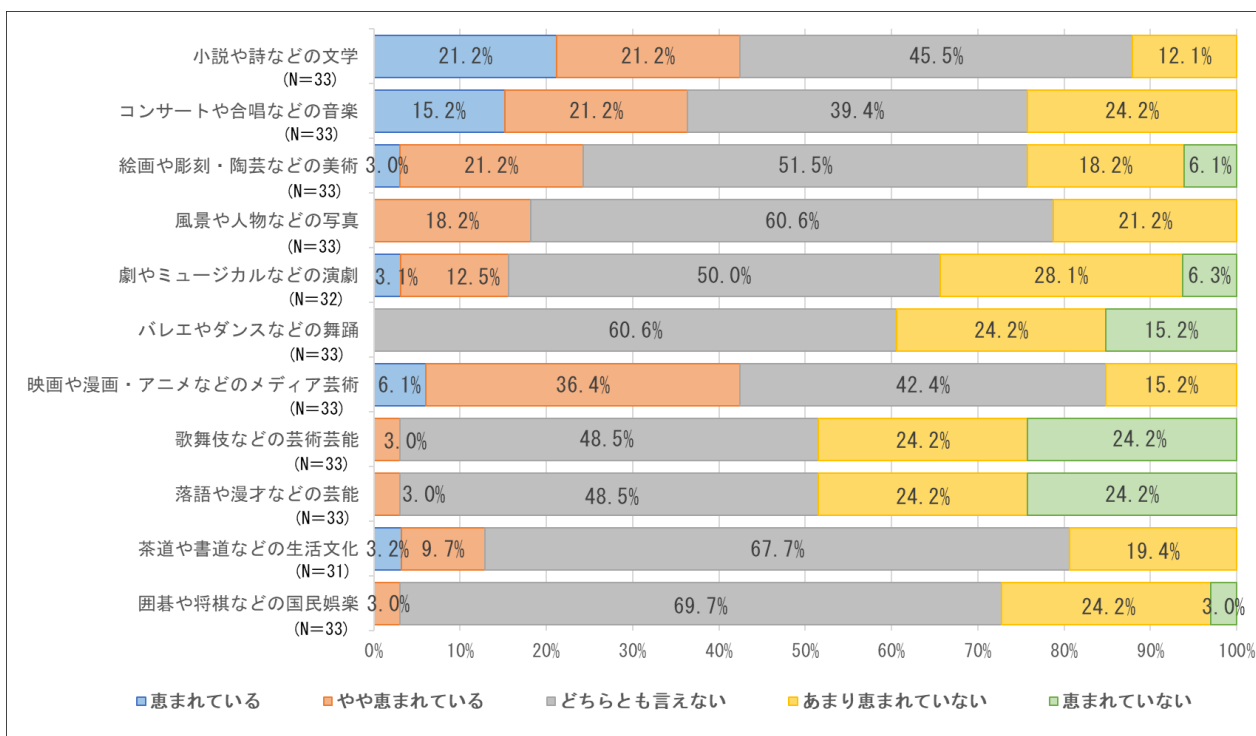


図表 7-4 中学校教職員の文化芸術に触れる機会の充実度 (単純集計)

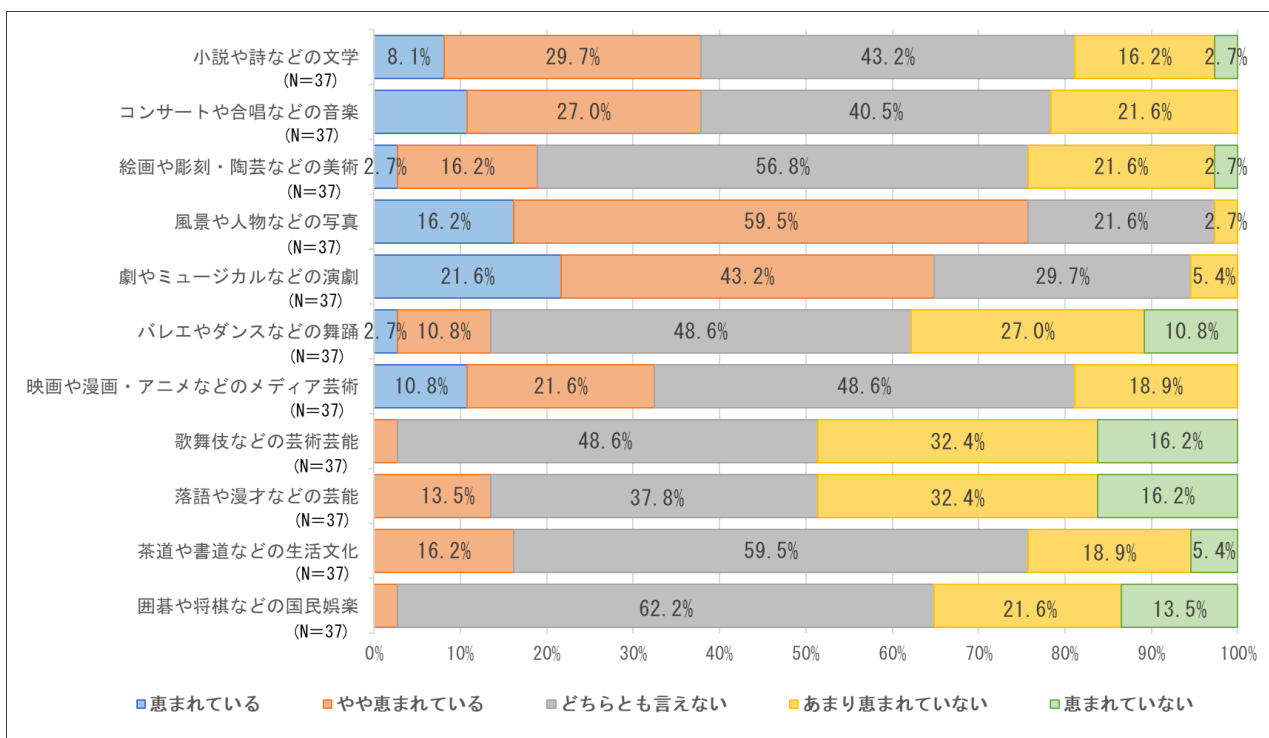
図表 7-5、図表 7-6、図表 7-7 によると、西条地区と東予地区で「映画や漫画・アニメなどのメディア芸術」に触れる機会の充実度が最も高くなりました。一方で、丹原・小松地区では、「風景や人物などの写真」「劇やミュージカルなどの演劇」に触れる機会の充実度が高くなりました。



図表 7-5 中学校教職員の文化芸術に触れる機会の充実度（西条地区）



図表 7-6 中学校教職員の芸術文化に触れる機会の充実度（東予地区）



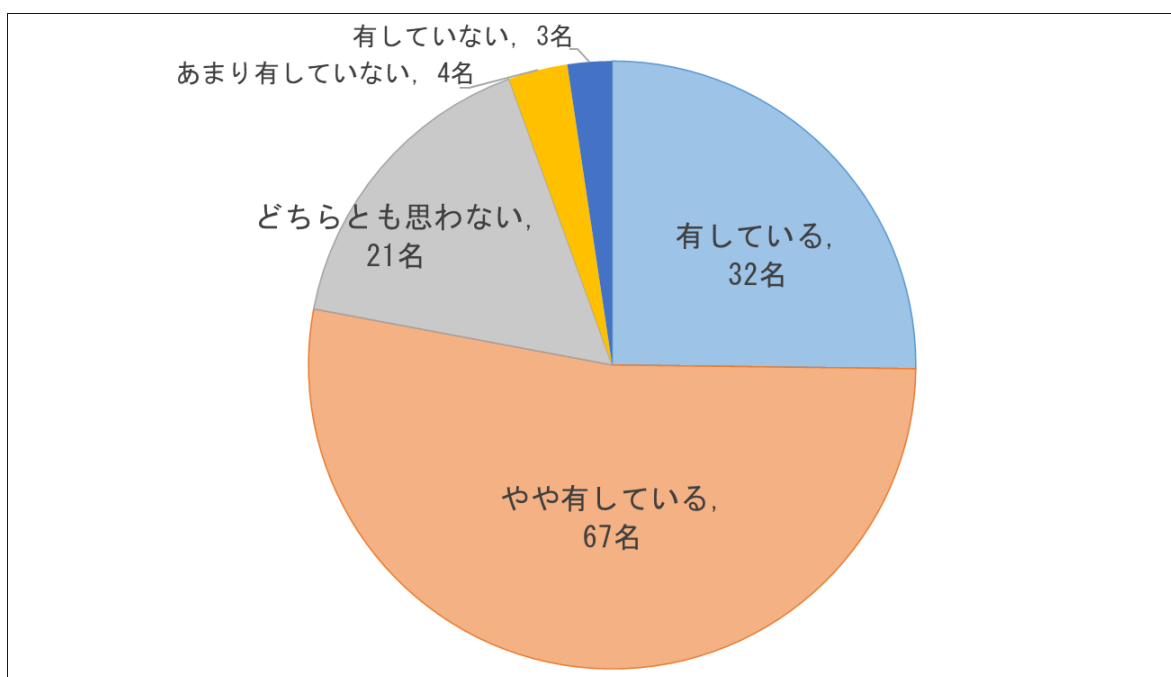
図表 7-7 中学校教職員の文化芸術に触れる機会の充実度（丹原・小松地区）

（５）中学校教職員におけるふるさとの歴史文化に対する誇りや愛着度

【結果概要】

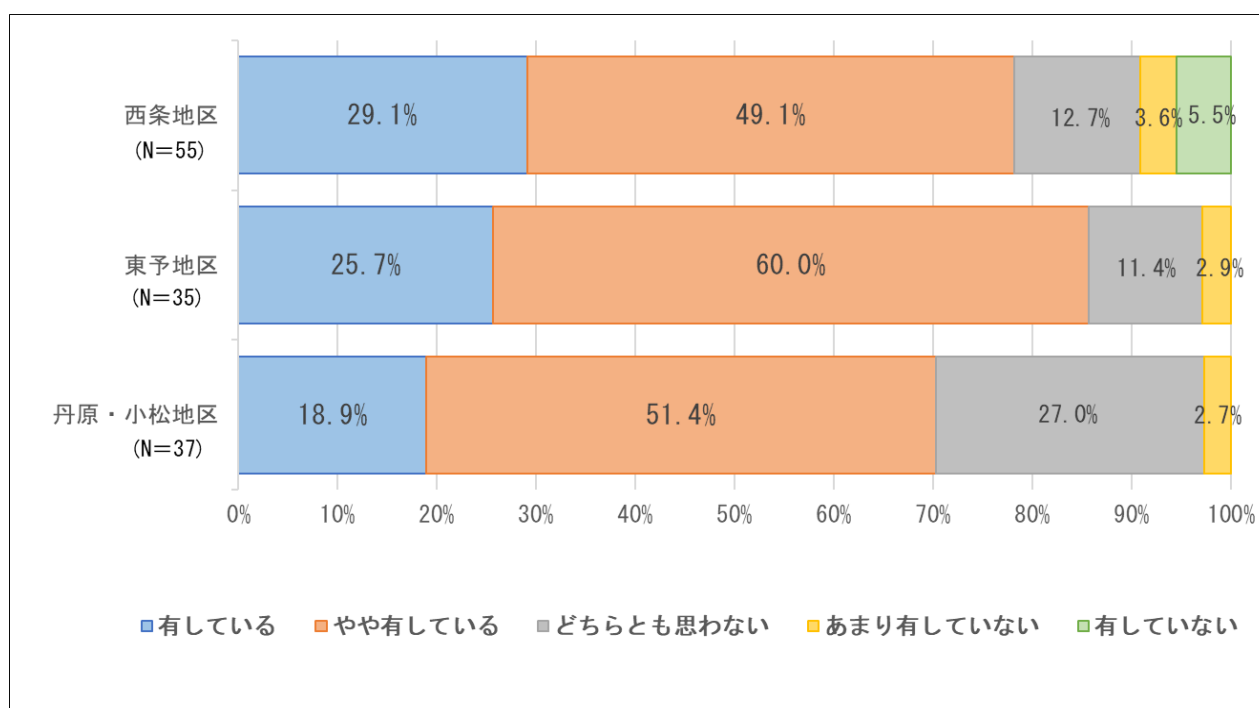
- ふるさとの歴史文化に対する誇りや愛着を「有している」「やや有している」と回答した方が全体の 7 割以上となり、中学校教職員におけるふるさとの歴史文化に対する誇りや愛着は高いものと推察されます。（図表 7-8 参照）
- 所属する中学校の地区別に、ふるさとの歴史文化に対する誇りや愛着に対する捉え方に差異がみられました。（図表 7-9 参照）

図表 7-8 によると、「有している」「やや有している」と回答した方が全体の 7 割を超え最も多くなりました。



図表 7－8 中学校教職員におけるふるさとの歴史文化に対する誇りや愛着度
(単純集計) (N=127)

図表 7-9 によると、西条市地区、東予地区で故郷の歴史文化に対する誇りや愛着を「有している」「やや有している」と回答した比率が高くなる一方で、丹原・小松地区では「有している」と回答した比率が他の地区と比べて低くなるなど、所属する中学校の地区によって差異がみられる結果となりました。



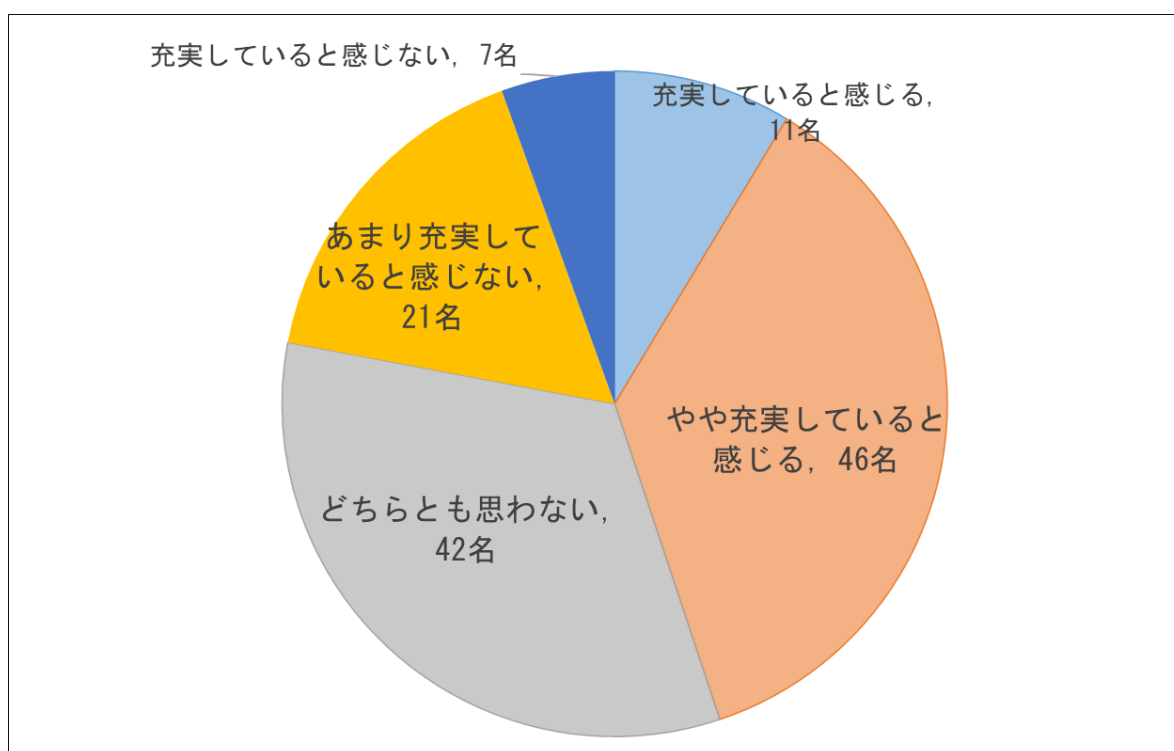
図表 7－9 中学校教職員におけるふるさとの歴史文化に対する誇りや愛着度
(所属する中学校の地区別)

(6) 中学校教職員におけるふるさとの先人の教えに学ぶ機会の充実度

【結果概要】

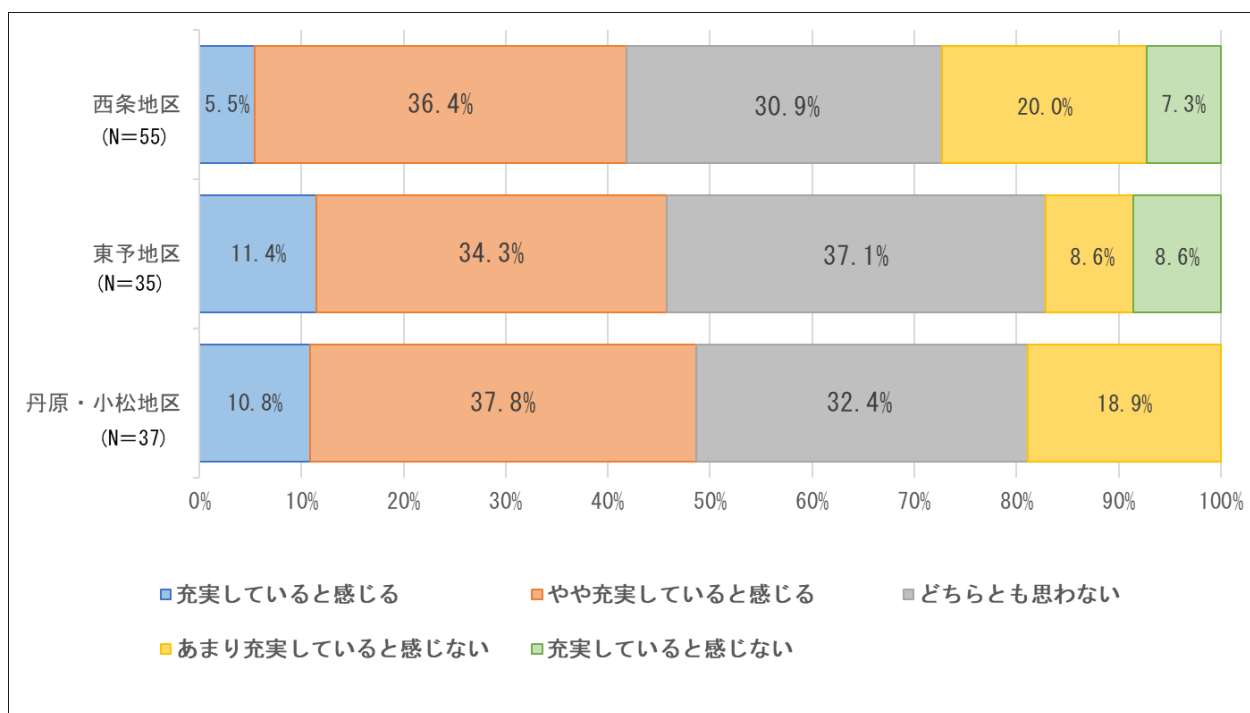
- 「充実していると感じる」「やや充実していると感じる」と回答した方が、「あまり充実していると感じない」「充実していると感じない」と回答した方を大きく上回りました。(図表 7-10 参照)
- 所属する中学校の地区別に、ふるさとの先人の教えに学ぶ機会の充実度が異なる傾向がみられました。今後、ふるさとの歴史文化に対する誇りや愛着を向上させていくためには、地区別の特徴を捉えておく必要があると考えます。(図表 7-11 参照)

図表 7-10 によると、ふるさとの先人の教えに学ぶ機会が「やや充実している」「どちらとも思わない」と回答した方が同数程度となりましたが、全体的にみると、「充実していると感じる」「やや充実していると感じる」と回答した方が、「あまり充実していると感じない」「充実していると感じない」と回答した方を大きく上回りました。



図表 7-10 中学校教職員におけるふるさとの先人の教えに学ぶ機会の充実度
(単純集計) (N = 127)

図表 7-11 によると、全体を通して、地区別で大きな差異はみられませんが、西条地区と東予地区で「充実していると感じない」と回答した比率が一定数みられました。



図表 7-11 中学校教職員におけるふるさとの先人の教えに学ぶ機会の充実度
(所属する中学校の地区別)

8 参考資料（アンケート用紙）

西条市の教育に関するアンケート調査へのご協力をお願い （中学校 教職員用） ～みなさまのご意見をお聞かせください～

西条市では、「人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市」の実現に向けて、国、県、関係団体等との連携のもと、豊かな心をはぐくむ教育・文化を実感できるまちづくりを進めています。

令和6年度は、西条市の教育行政における根本的な方針となる「西条市教育大綱」を改定する年度にあたるため、市民の皆さまのご意見を将来の西条市の教育行政の方向性に反映させることを目的に、本アンケート調査を実施することとしました。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、この調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年6月 西条市長 玉井 敏久 西条市教育長 伊藤 隆志

調 査 の 概 要

- 1 この調査は、西条市立の中学校に勤務されている全教職員（学校事務職員等含む）の方を対象としています。
- 2 この調査票は、個人を特定できないようになっており、調査終了後は速やかに廃棄いたします。
日ごろ、感じていることや思っていることをそのままご記入ください。
- 3 必ずご本人がご回答ください。
- 4 7月5日(金曜日)までに回答を送信してください。
- 5 ご不明な点などがありましたら、下記の担当へお問い合わせください。

※なお、本アンケートにつきましては、本市が策定する「第2期西条市総合計画」第5章「豊かな心を育む教育文化のまちづくり」の体系にもとづき実施いたしますが、そのうち人権・同和教育の内容については、令和6年度に「人権問題に関する市民意識調査」を実施するため、そちらのデータを活用することとしています。

〒793-8601

西条市明屋敷164番地

西条市経営戦略部政策企画課（担当：三村・篠原）

TEL：（0897）56-5151（内線2179）

西条市の教育に関するアンケート調査票

質問 1 最初に、回答されるあなたご自身についておたずねします。

※ あてはまるものを1つ選び数字を○で囲んでください。

① あなたの性別を教えてください。(※性別に関する設問の回答は任意です。)

1 男性	2 女性	3 その他
------	------	-------

② あなたの年齢を教えてください。

1 29歳以下	2 30～34歳	3 35～39歳	4 40～44歳
5 45～49歳	6 50～54歳	7 55～59歳	8 60～64歳
9 65～69歳	10 70歳以上		

③ あなたが勤務されている中学校を教えてください。

1 西条東	2 西条西	3 西条南	4 西条北	5 東予東
6 東予西	7 河北	8 丹原東	9 丹原西	10 小松

質問 2 現在の学校現場についてあてはまるものを順番に選択してください。

① あなたは、学校施設や設備に対して満足していますか。

1 とても満足している	2 やや満足している
3 どちらともいえない	4 やや不満だ
5 不満だ	

② 個々の学習指導や学校の取組に対して満足していますか。

1 とても満足している	2 やや満足している
3 どちらともいえない	4 やや不満だ
5 不満だ	

- 1 教科の基礎的な指導内容
- 2 いじめや不登校に対する対応
- 3 運動会などのスポーツ活動
- 4 文化祭などの文化芸術活動
- 5 道徳や体験活動などの心の教育
- 6 学校と地域の連携（コミュニティ・スクール）による活動
- 7 外国語の指導（ＡＬＴ）
- 8 タブレット端末を使ったＩＣＴ教育
- 9 特別支援教育の充実
- 10 学校の施設や設備の充実
- 11 その他（ ）

- 1 教科の基礎的な指導内容
- 2 いじめや不登校に対する対応
- 3 運動会などのスポーツ活動
- 4 文化祭などの文化芸術活動
- 5 道徳や体験活動などの心の教育
- 6 学校と地域の連携（コミュニティ・スクール）による活動
- 7 外国語の指導（ＡＬＴ）
- 8 タブレット端末を使ったＩＣＴ教育
- 9 特別支援教育の充実
- 10 学校の施設や設備の充実
- 11 その他（ ）

※ 第二選択欄は該当する回答がある場合のみ記載してください。

- 1 子どもが基礎的な学力を身に付けるところ
- 2 子どもが多様な考えに触れ、資質や能力を伸ばしていくところ
- 3 子どもが社会のルールやマナーを身に付けるところ
- 4 子どもが人間関係を学ぶところ
- 5 地域コミュニティの核となるところ
- 6 避難所や体育施設としての機能のあるところ
- 7 その他（ ）

② あなたは、中学校で身に付けることが大切だと思う能力や態度は何だと思いますか。

- 1 英語を聞いたり話したりする力
- 2 環境やエネルギーを大切にすること意識
- 3 健康や安全を自己管理する力
- 4 生き方や進路について考える力
- 5 教科の基礎学力
- 6 自ら学び、考え、主体的に行動する力
- 7 他者と協力しチームで問題を解決する力
- 8 新しいものを生み出す創造力
- 9 表現力やコミュニケーション力
- 10 社会生活に必要な常識やマナー
- 11 社会に役立つ心とする心や公共心
- 12 地域の伝統や文化を大切に国や郷土を愛する心
- 13 体力や運動能力
- 14 人間関係を築く力
- 15 その他（ ）

③ ②で選択した能力や態度を育むため、今後期待する施策は何ですか。

- 1 英語教育の推進
- 2 環境やエネルギーを大切にすること教育の推進
- 3 体力向上や健康教育の推進
- 4 道徳教育の推進
- 5 食育の推進
- 6 コミュニケーション能力を高める教育の推進
- 7 主体性を高める教育の推進
- 8 いじめ・不登校対策の推進
- 9 こどもの貧困対策
- 10 教員の資質向上
- 11 ICT教育の更なる推進（タブレット導入、プログラミング教育の推進など）
- 12 教員の事務量軽減による子どもと向き合う時間の確保
- 13 学校の施設や設備の充実
- 14 学校配置の見直しや適正な学級数の確保
- 15 学校・家庭・地域の連携・協働の推進による地域の教育力向上
- 16 学校の教育活動や運営状況に関する情報発信
- 17 その他（ ）

④ あなたは、中学校の学習環境を考える上で何を重視したらいと思いますか。

- 1 クラス内の仲間意識が生まれやすい
- 2 異学年間の交流が生まれやすい
- 3 学校の教員の人数や質が充実し、生徒一人ひとりに行き届いた教育が受けられる
- 4 集団の中でコミュニケーション能力を身に付けやすい
- 5 運動場や体育館、特別教室などが余裕を持って使える
- 6 地域の協力が得られやすく、地域の自然・文化・伝統を生かした教育が受けられる
- 7 クラス替えができる
- 8 クラス同士が切磋琢磨する環境をつくることのできる
- 9 合唱、団体競技などの集団での学習や体験活動の機会が確保しやすい
- 10 男女比の偏りが生じにくい
- 11 その他 ()

質問 4 図書館についてあてはまるものを順番に選択してください。

※ 第二選択欄は該当する回答がある場合のみ記載してください。

① あなたは、平均して1年間でどの程度、市内図書館を利用していますか。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 ほぼ毎日 | 2 週2～3回程度 |
| 3 週1回程度 | 4 月2～3回程度 |
| 5 月1回程度 | 6 半年に2～3回程度 |
| 7 年2～3回程度 | 8 年1回程度 |
| 9 利用していない | |

矢印の部分は①で1回でも市内の図書館を利用したことがあると回答した方にお聞きます。

② あなたは、図書館の利用環境に満足されましたか。

- | | | |
|----------|----------|-------------|
| 1 満足した | 2 やや満足した | 3 どちらとも思わない |
| 4 やや不満足だ | 5 不満足だ | |

③ あなたは、主にどちらの図書館を利用しましたか。

- | | | |
|-----------|---------|----------|
| 1 西条図書館 | 2 東予図書館 | 3 丹原図書館 |
| 4 小松温芳図書館 | 5 移動図書館 | 6 電子図書館※ |

※電子図書館とは、インターネットに接続したスマートフォン、パソコン、タブレット端末等を使って貸出しや返却を行い、電子書籍を読むことができるサービスです。

図書館に来館しなくても、24時間どこにいても読書を楽しむことができます。

URL : <https://web.d-library.jp/saijo/g0101/top/>

次のページへ続く

矢印の部分は①で1回でも市内の図書館を利用したことがあると回答した方にお聞きます。

④ あなたは、主に何を目的に図書館を利用しましたか。

- | | |
|----------------------------|-----------|
| 1 本を借りる | 2 雑誌を借りる |
| 3 CDやDVDを借りる | 4 館内で本を読む |
| 5 館内で新聞や新刊雑誌を読む | |
| 6 CDやDVDを視聴する | |
| 7 予約やリクエスト、読書相談をする | |
| 8 趣味や娯楽、生活のための調べ物をする | |
| 9 勉強や仕事、研究のための調べ物をする | |
| 10 地域社会での活動に役立つ調べ物をする | |
| 11 特集コーナーや本の展示を見る | |
| 12 学習コーナーで勉強する | |
| 13 図書館で開催されたイベントに参加する | |
| 14 会議室や学習室、ボランティアルーム等を利用する | |
| ここまで 15 その他（ | ） |

⑤ あなたが図書館の利用が役立っていると思うのはどのようなところですか。

- 1 趣味や娯楽に役立つ知識・情報が得られている
- 2 家庭や生活に役立つ知識・情報が得られている
- 3 仕事に役立つ知識・情報が得られている
- 4 学校での課題や宿題に役立つ知識・情報が得られている
- 5 地域の歴史や文化、行政情報などを知ることができている
- 6 個人や地域の課題解決支援に役立っている
- 7 子どもが読書に親しみ、生きる力を育む機会が得られている
- 8 ゆっくりと余暇を過ごすことができている
- 9 学びを通じた交流や学びの成果を生かす場がある
- 10 地域において親しみやすい居場所となっている
- 11 その他（

）

⑥ あなたは、図書館に関連して、今後期待するのはどのようなことですか。

- 1 貸出および閲覧書籍の充実
- 2 雑誌・新聞の充実
- 3 図書館以外で貸出や返却が行える場所の整備
- 4 館内や屋外広場を使用した世代間で交流できる様々なイベントの充実
- 5 ICTを使い、グループ学習や話し合いなど多様な活動に対応できるスペースの整備
- 6 館内での飲食を可能とする
- 7 館内での会話を可能とする
- 8 自分が住むまちの情報の充実
- 9 調べ物や読書などの相談ができる環境の充実
- 10 閲覧席の更なる充実
- 11 学習の場の更なる充実
- 12 その他（

）

質問 5 公民館についてあてはまるものを順番に選択してください。

※ 第二選択欄は該当する回答がある場合のみ記載してください。

① あなたは、平均して1年間でどの程度、地区の公民館を利用していますか。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 ほぼ毎日 | 2 週2～3回程度 |
| 3 週1回程度 | 4 月2～3回程度 |
| 5 月1回程度 | 6 半年に2～3回程度 |
| 7 年2～3回程度 | 8 年1回程度 |
| 9 利用していない | |

矢印の部分は①で1回でも地区の公民館を利用したことがあると回答した方にお聞きます。

② あなたは、地区の公民館の利用環境に満足されましたか。

- | | |
|-------------|----------|
| 1 満足した | 2 やや満足した |
| 3 どちらとも思わない | 4 やや不満足だ |
| 5 不満足だ | |

③ あなたは、公民館活動を通じて身に付けた知識・技術をどのような形で活かしていますか。

- 1 人間関係を広げ、仲間づくりにつなげている
- 2 趣味や特技に活かしている
- 3 健康の維持、増進に役立てている
- 4 活動をとおして人生を豊かにしている
- 5 日常生活に活かしている
- 6 まちづくり、地域づくりに活かしている
- 7 ボランティアなど地域活動に活かしている
- 8 知識や資格の習得につなげている
- 9 学習、スポーツなどの指導に活かしている
- 10 特に活かしていることはない

ここまで 11 その他（ ）

④ あなたは、公民館にどのような事業を期待しますか。以下の1から12までのすべての項目について、該当するところに○を付けてください。

項 目	期待度				
	期待する	やや期待する	どちらとも言えない	あまり期待しない	期待しない
(記入例) ○○○の○○○○○○○○事業	5	4	3	2	1

ここから下が質問です						
1	健康・スポーツに関する事業	5	4	3	2	1
2	趣味に関する事業	5	4	3	2	1
3	地域の防災に関する事業	5	4	3	2	1
4	家庭や子育てに関する事業	5	4	3	2	1
5	地域課題解決に関する事業	5	4	3	2	1
6	地域住民や団体間のネットワークづくりや強化に関する事業	5	4	3	2	1
7	子どもの安全・安心な居場所づくりや体験活動に関する事業 (放課後子ども教室)	5	4	3	2	1
8	子どもの学習支援活動に関する事業(地域未来塾)	5	4	3	2	1
9	自然、社会体験ができる事業	5	4	3	2	1
10	青少年教育の推進に関する事業	5	4	3	2	1
11	地域の歴史・文化に関する事業	5	4	3	2	1
12	環境に関する事業	5	4	3	2	1

質問 6 生涯学習・文化芸術・歴史文化についてあてはまるものを選択してください。

- ① あなたが、学校以外で取り組んでいる生涯学習の内容は何ですか。
(あてはまるものを3つまで選択してください。)
- 1 文学、歴史、自然科学などの教養に関するもの(文芸、郷土史、自然など)
 - 2 趣味や芸術に関するもの(美術、書道、音楽、茶華道、舞踊、囲碁など)
 - 3 家庭生活に役立つ知識・技能に関するもの(料理、編み物、日曜大工など)
 - 4 子育て・教育に関するもの(育児、教育問題など)
 - 5 福祉・障がいに関するもの(手話、点字、障がい者スポーツなど)
 - 6 男女共同参画に関すること(ジェンダー、ワークライフバランスなど)
 - 7 環境など社会問題に関するもの
 - 8 ボランティア・NPO活動に必要な知識・技能に関するもの
 - 9 介護・医療の知識に関するもの(生活習慣病の予防、介護知識など)
 - 10 健康・健康増進に関するもの(健康体操、ウォーキングなど)
 - 11 スポーツに関するもの(野球、サッカー、テニス、卓球など)
 - 12 職業上必要な知識・技能に関するもの(経理などの各種資格取得)
 - 13 情報化社会に対応するための技能・知識に関するもの(PC、スマートフォンなど)
 - 14 国際交流・国際理解に関するもの(外国語、外国の生活文化など)
 - 15 その他(具体的に：)

② あなたは、今後どのような内容の生涯学習の機会を増やしたいと思いますか。

(あてはまるものを3つまで選択してください)

- 1 文学、歴史、自然科学などの教養に関するもの(文芸、郷土史、自然など)
- 2 趣味や芸術に関するもの(美術、書道、音楽、茶華道、舞踊、囲碁など)
- 3 家庭生活に役立つ知識・技能に関するもの(料理、編み物、日曜大工など)
- 4 子育て・教育に関するもの(育児、教育問題など)
- 5 福祉・障がいに関するもの(手話、点字、障がい者スポーツなど)
- 6 男女共同参画に関するもの(ジェンダー、ワークライフバランスなど)
- 7 環境など社会問題に関するもの
- 8 ボランティア・NPO活動に必要な知識・技能に関するもの
- 9 介護・医療の知識に関するもの(生活習慣病の予防、介護知識など)
- 10 健康・健康増進に関するもの(健康体操、ウォーキングなど)
- 11 スポーツに関するもの(野球、サッカー、テニス、卓球など)
- 12 職業上必要な知識・技能に関するもの(経理などの各種資格取得)
- 13 情報化社会に対応するための技能知識に関するもの(PC、スマートフォンなど)
- 14 国際交流・国際理解に関するもの(外国語、外国の生活文化など)
- 15 その他(具体的に：)

③ 今後、生涯学習をもっと盛んにしていくためには、どのようなことに力を入れたらいいと思いますか。(あてはまるものを3つまで選択してください)

- 1 生涯学習講座の内容を充実させる
- 2 地域で講座等を企画、支援する人材の育成
- 3 気軽に生涯学習について相談できる窓口
- 4 生涯学習に関する情報発信(講座、サークル、人材などの情報)
- 5 ボランティア活動、まちづくり活動の支援
- 6 NPO、企業等との連携
- 7 成果を生かし、発表できる場の充実
- 8 生涯学習施設の利便性の向上
- 9 スポーツ施設の整備
- 10 バリアフリー化など施設整備
- 11 その他(具体的に：)

- ④ あなたは、次のジャンルの文化芸術について、どの程度触れる機会（鑑賞や参加など）に恵まれていると感じますか。以下の1から11までのすべての項目について、該当するところに○を付けてください。

項 目		恵まれている	やや恵まれている	どちらとも言えない	あまり恵まれていない	恵まれていない
1	小説や詩などの文学	5	4	3	2	1
2	コンサートや合唱などの音楽	5	4	3	2	1
3	絵画や彫刻・陶芸などの美術	5	4	3	2	1
4	風景や人物などの写真	5	4	3	2	1
5	劇やミュージカルなどの演劇	5	4	3	2	1
6	バレエやダンスなどの舞踊	5	4	3	2	1
7	映画や漫画・アニメなどのメディア芸術	5	4	3	2	1
8	歌舞伎などの芸術芸能	5	4	3	2	1
9	落語や漫才などの芸能	5	4	3	2	1
10	茶道や書道などの生活文化	5	4	3	2	1
11	囲碁や将棋などの国民娯楽	5	4	3	2	1

- ⑤ あなたは、ふるさとの歴史文化に誇りや愛着を有していますか。

- 1 有している 2 やや有している
3 どちらとも思わない 4 あまり有していない
5 有していない

- ⑥ あなたは、ふるさとの先人の教えに学ぶ機会が充実していると感じますか。

- 1 充実していると感じる 2 やや充実していると感じる
3 どちらとも思わない 4 あまり充実していると感じない
5 充実していると感じない

アンケートは以上です。

ご協力ありがとうございました。